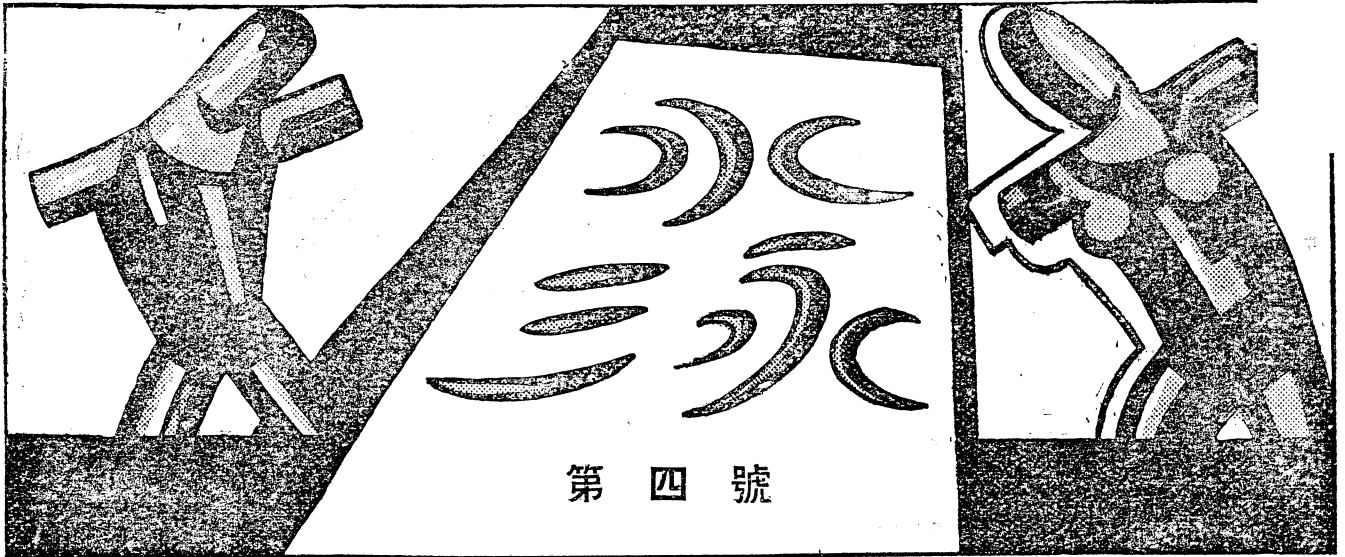




1931

FEBRUARY



日本水上競技聯盟機關雜誌

目 次

□思ひ出づるまゝ……………小野田一雄……(3)

昭和五年度全國水上競技概觀……………(6)

| | |
|----------|------|
| 濱名灣…………… | 堀江耕造 |
| 京都…………… | 吉田四朗 |
| 臺灣…………… | 藤本秀松 |
| 滿洲…………… | 林田學 |
| 九州…………… | 大村收 |
| 北陸…………… | 堀井榮藏 |

□ワイスミユラー「アメリカンクロール泳法」……………神戸商大水泳部……(17)

□水泳と呼吸作用……………醫學博士 太田正隆……(22)

□水術奉納拜見記……………石川芳雄……(25)

□インターカレデ水球戦に付いて……………杉田忠治……(28)

昭和五年度水上競技十傑……………(34)

聯盟會報……………(2)

海外ニュース(飯田光太郎)……………(14)

水泳ゴシツブ(深山泉)……………(27)

- | | |
|--------|-----------------------|
| 寫 眞 | (1) 神宮プール新設スタンド前景及飛込臺 |
| | (2) 完成後の新設プール鳥瞰圖 |
| | (3) 來襲を期待さるる米軍主力 |

日本水上競技聯盟

1. 日米對抗開催決定

兼ねて交渉中であつた日米對抗水上競技大會につき米國體育協會より別項の如く正式に應諾の旨通知ありたり。

2. 日米對抗の日取、種目等

上の通知に接し一月二十八日(水)定例聯盟協議會に於て決定米國體育協會宛通知したる事項次の如し

(1) 全米選手權大會(ホノルルにて舉行)は八月五、六、七、九の四日間なることハワイ體育協會より通知ありたるを以て其後來航すべき選手の便船等を考慮する時は日米對抗は八月二十八、二十九、三十の三日間(夜間)と定むるの外なきこと

(2) 種目は

自由型 100米 200米 400米 800米
1500米

背泳 100米 200米

平泳 100米 200米

リレー 400米 800米 300米メドレー

以上12種目とす

(3) 一種目兩國三名宛 總選手兩國12名とする

(4) 一等三點 二等二點 三等一點とし總得點大なるものを優勝國とす

(5) 監督一名 女子選手二名(内一名は平泳選手)を招聘したき希望を有す

(6) 本聯盟に於てはハワイより日本へ日本より米國への旅費及び日本内地に於ける滞在費を負擔すべく乗船は當方にて交渉す

3. 昭和六年度選手權大會、其他

日米對抗との關係上八月十五、十六日の兩日夜間神宮プールに於て舉行と決定、日米對抗の豫選とし選手詮衡の上直ちに合宿練習に入る。

インターミドル東西對抗の日取に差支あれ共適當に考慮せられんことを望むこととす。

4. 春期練習會

春期合宿練習に就き談合したれ共細目の決定を見ず三月末昨年度ベストテンを標準として選手の東上を求め東京に於て練習會を催すことに大體の方針を定む。

5. フキリツピンよりの招聘

昨年末フキリツピン體育協會名譽主事イラン博士より聯盟宛、本年一月三十一日より二月十五日までマニラに於て行はるゝカーニバル祭に、牧野、片山、高橋三選手を招聘したしとの申出ありたれども即時理事會を開き協議の結果シーズン外なると學校試験の都合等により参加不可能なる旨回答した。

6. ハワイよりの招聘

ハワイに於て本年八月五、六、七、九の四日間行はるゝ全米選手權大會には、コヂヤック、クラブ、カリリ、スペンス等が出場するから、日本からも牧野、横山、片山、入江、鶴田、及びリレーメンバーを派遣されたしとの申出ありたれ共、全日本選手權、インターミドル等に差支ふるべきを以て之を拒絶することに決定。

米國體育協會よりの正式回答全文

日本水上競技聯盟總務理事 田畑政治 殿

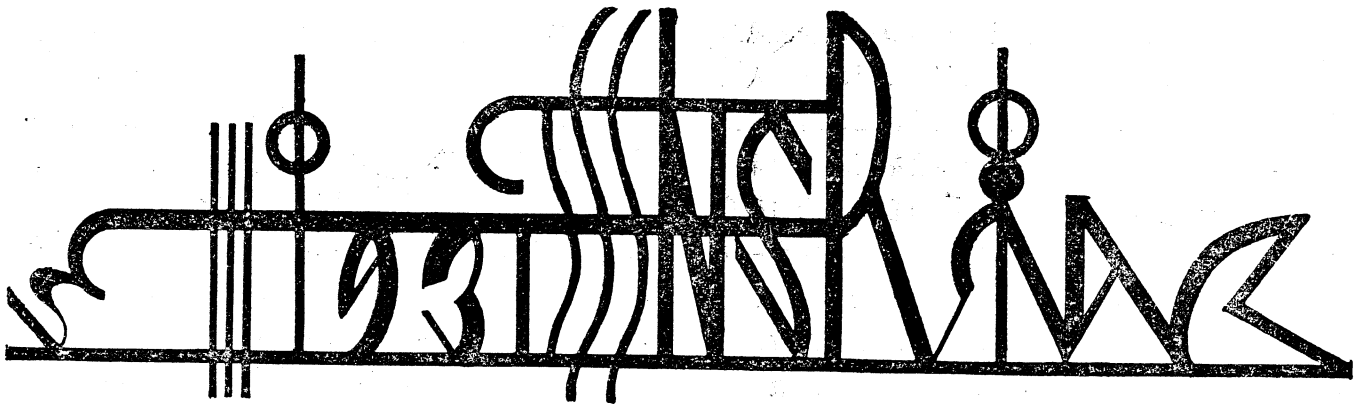
拜啓 去る十一月三日附弊狀を以て、來夏東京に於て舉行せらるゝ、日米對抗水上競技に米國チーム御招待の貴信拜受の旨申述置候處、其後本年度總會開催の上、茲許、左の如く御回答申上候

當方對外委員會並に右年度總會は來る八月貴國に吾が水泳チームを派遣致すべき儀を可決仕り候、尤も期日は來夏ホノルルに開催せらるゝ全米水上選手權大會に支障無之様御取決被下度願上候、就而早速ハワイに對し全米大會期日は既に決定せられしや否や照會仕る可く右回答を待て當協會水上競技委員會は之を承認仕る可く候、依つて右期日確定の上はホノルルに派遣の米國選手團は同地より直ちに貴國に向ふ可く適宜大會期日御選定願上候。猶詳細に渡る貴方御計劃拜承仕度併せて右大會に於て貴國選手をも拾貳名に限る御意向なりや否や御一報煩度此段得貴意候

敬具

一九三〇年一月二六日

米國體育協會理事兼會計 ダニエル、ジュー、フェリス



思ひ出づるまゝ

小野田 一雄

書け書けと云はれないうちに、何とかまとまつたものを書いて置かなくては、無責任の様に思ひながら、材料が時のマネージャーの所へ行つて送くつて戴けなかつた事も手傳つて、とうとう書け書けと云はれてしまいました。こうなつては、まとまつた事を書くにはあまりに時がたちすぎ、材料はなし、思ひ出しても、之れ等と連絡づける事がむづかしくなる。遂ひハヂを書かなければならなくなる。と云つて書かなければ、尙更無責任になる。尊い紙面のいくばくかを汚すうちにたとへほんの少しでも、今後の参考になる事もあらねば幸いと、コーチとしての立場から、又第三者としての立場から、又選手の身にもなつて見たつもりで、今度の極東大會の合宿練習を骨として、思ひ出るまゝに、あれや之やと書かしてもらひます。前後左右四分五裂、新舊収まぜ、矛盾重複はあらかじめ御許しを願ひます。

五月の合宿の前部一週間は實に變體であつた。現在日本の状態としてある。まだ極東大會選手として決定したメンバーでない合宿であつたから。之が爲めに選手各人としては實に苦しいものであつたにちがひない。マネージャー・コーチの言のまゝに彼等を信用しきる事の出来ない現在選手に於て殊に苦しかつたにちがひない。

自分の技倆を上げるとか、研究するとか、そんな事は少しもかんがへる餘地がない人々が多かつた事と思ふ。ただ不安のみが、いやが上にも増して居たのである。

こんな状態を知りながら、いくらかの手心はしつ

ゝも、此の變體の合宿が、遂には常態であると云ふ様に一日も早くしたいために、選手の苦しみ、不安を見ながらそのまゝ推して行くマネージャー・コーチもつらいものだ。要するにこの合宿の不完全なる内容と、不備なる準備とを以て完全なるものを造らうとした所に此れだけの苦しみがあつたのである。變體と云はねばならなくなつたのである。されば今後は此の如き合宿が常態であり合理的なものであらしめるために、十分な準備が必要であり完全な内容であらねばならぬと云ふ事になる。準備の完全は立所に来様様が、内容の良好となる事は……此れはお互の自覺と修養によつてゝなくては、二三の人が如何に努力してもだめなものではなからうか。

選手がいやに偉らすぎる。選手と決定すると、まるで聯盟なり協會なりから頭をさげて頼みに來たから出てやるんだと云つた様子が見える事がある。すでに聯盟なり協會なりが豫選會を行ふ時に於てすら選手にならうと云ふ氣はあつても、自分が進んで選出して戴きたいと云ふ氣を持つて出るものが何人あらうか。ましてもし自分が今日まで修得した力で、國家のために盡くす事が出来るならば國家の名譽のために骨身をおしまぬ等と云ふ氣持で出かけるものはおそらくなからうと思ふ。自分等でもそこまでは確信を持つて居なかつたらう。がしかし選手となつた以上、自分の我儘が勝手にとほる身であるとは思はなかつた。然しどうも此の頃は時世のしからしむる所かはしらないが、代表選手でありながら、チームの一員でありながら我と云ふやつが強よすぎる様

に思はれる。自然と不平不服が多いのだらうと思ふ理想を云へば不平などあり得ないはずである。人格と技術とを以て代表となつた以上は、之に對して全力をつくせばよいのである。たゞ之を同時にマネージャー、コーチャー等が選手が心おきなく全力を盡くし得る様努力すればよいのである。此のマネージャー、コーチャーの努力と云ふものは決して理想には到達し得ないのである。理想は永遠なるが故に。然し現在に於てマネージャー、コーチャーが最善をつくして居たならば、選手は我をすてゝ、不平不服もすてるべきである。之は平靜な時にはよく理解のいく事と思ふが、代表としての名譽を得て少し鼻の高い時は仲々落ちついて考へられないものであるから、常々の修養が必要であらう。

又今度の合宿でこんな事があつた。今度の大會は勝つ事は明かであるから如何にして勝つべきか問題でなく、合宿練習と云ふものがどんなものか、今度の合宿の方法がよいか悪るいか、合宿練習と云ふ事に主眼を置いて居るのであるから、合宿の方針を變へず、善かれ悪しかれやり通して見よと云ふ事があつた。合宿練習の統制がどこまで立派に行くか？然し然しフィリッピンが來た。イルデホンゾが來た。ウルカが來た。高石の調子は出たか？鶴田は大丈夫かてな事が四方八方で語られる様になると、合宿はどんな気分か、選手はよくまとまつて居るか、マネージャー、コーチャーとよく連絡は取れて居るかと云ふ様な事は聞こえなくなつてくる。かてゝ加へて或る大問題の爲めに出来るだけの大勝をして、或る氣運を造る事が最大仕事となつたと云ふ様になつて來た。而し合宿の方針をかえるなど云ふ事はつけ加へられてあつたが、こうなつては二兎を追ふものとなる。

この事があつた爲めに微力であつた統制委員はとうとう一兎をも得ずにしまつた。

さなきだにナーバスになつて行く選手の氣持を、平靜に平静にと心掛け、勝負けと云ふ事にさほど氣苦勞をせずすゝむべきレースをひかえて、合宿の氣運を造り上げるに好適の場合と思つて居る所へ、一點でも敵にあたへまいと云ふ氣持が入り込んだ爲めに、やつと落ちつきかけた氣持が一變に打ちこわれてしまつた。でも何とかして一方には氣持を落ちつかせようとしたのが何のかたもなく、あぶはちとらずになつてしまつた。

レースには最後まで、メンバーの氣持をだらけさすまい、途中で氣のぬけた人間を造つてチーム全體の氣分に惡影響をあたへさすまいと思ふ爲めに、みすみす敵に一點二點をあたへた事もあつた。

全勝の必要問題が起きた時に、直ちに合宿の全方針を變へて、全てをすてゝたゞ戦ひへ、勝ちへ、と進めばよかつたとも云へよう。而しそれはあの時に出來たであらうか、あの時まででそれが出来る程チームが統制されて居たであらうか。私しには自信がなかつた。

そして最後に吾々は、祝勝會、慰勞會をなすべきめでたかるべき日に、有り得べからざるものにぶつかつてしまつた。尊い得難い經驗とも云へない、悲しみと云つてもまだ力がたらん。苦しみは通り越した。わけのわからぬ偉大な事だか物だかにぶつかつた。一生かゝつても償ひ得ないだらう所のものに、統制の任にあつた私しは遂に生ける屍となつてしまつた。最後の五分、否一分、否最後まで統制しきれなかつた爲めに。

これからの人と、統制する人は最後まで、殊に亂れやすい最後に一段の努力をして下さい。チームの各分子は最後まで完全な連絡をたもち、最後まで自分の立場を忘れず一致協力して下さい。

チームを形成し合宿する時マネージャーとしては、

- 一、方針確定(目的=ヨリテ)
 - 一、メンバー各人の性質を知る事
 - 一、メンバー各人の感受性の強弱を知る事
 - 一、メンバー各人の日常の生活を知る事
 - 一、メンバー各人の心配事の有無を知り之が對策をなす事
 - 一、メンバー各人の食物其他のすききらひを知る事
 - 一、メンバー各人の長所短所を知る事
 - 一、メンバー各人の弱點を知り之をつねに被護する事
- 等を一丸となしメンバーの父母としての心持であるべしコーチャーは兄であるべきだ師であるべきだ。
- 一、確固たる信念を以てコーチすべし。
 - 一、長所を早く見出して之を常に増長せしめ、短所の表れたる時は、斷然之をなほすべし。之が爲一時は或る犠牲を拂ふとも。
 - 一、補修するにあらず練磨すべし。
 - 一、精神状態に於ける變化が如何に彼の技に變化を來すか身體上の變化が如何に彼に影響するかを知

るべし。

一、彼の通常のコンディションに於ける、力の波を早く知るべし。

一、通常コンディションに於けるベストレコードと不得止泳いだ時のレコードとを知り置く事。

一、如何なる時にても、少くとも通常のコンディションに有ると云ふ觀念をいだしむる様練磨する事。

メンバーの一人としての競技者は、

一、コーチャー、マネヂャーに全てをまかす事。一、技術の鍛錬に全精力をそそぎ、氣苦勞せざる事。一、常に心の平靜を保ち、練習も仕合も常に同じ氣分にあり得る様心掛ける事。

極東大會に於て心の持様一つで非常に表はれる力の上に影響があると云ふ例として丁度よいと思ふ事が一つあつた。高石が百米に勝つた事と、佐田が惨敗した事とである。高石が五十米で破れた。之れは高石に如何に負けぎらいの強氣があつたとしても、あの練習不足と、調子の悪さと、ウルカ又は高橋、宮本

の新進を思ふては、自分の今までの名に對して硬くならざるを得なかつた。

どうかして勝とう勝とうと思つたにちがひない。之の氣持が高石の何くそと思ふ強氣より大きかつたのだ。

それが爲めに高石は五十米を泳ぐ間、敵をおさえる氣持はなく、しがみつく氣持が多く、(之を意識して居なくとも)遂に終りまで苦しい泳ぎをして破れたのである。

然らば百米に於て勝つたは何か？ 五十米と百米とでは高石の氣持に雲泥の差がある。小さな懇望にとらはれなかつた落ちついた高石の氣持、之れが百米に於て、其の前日まで、百米に於てはどうしても調子の出なかつた高石に、心地よい快心の泳ぎを以て勝を得せしめたのである。佐田の惨敗は？ 彼は其の前何回となく注意されても、自分のどうしても

も……と思ふ強氣が禍ひして、或る小さな懇望の爲めに、非常な氣苦勞をし精神的のオーバーワークをし、遂に身體的のオーバーワークをして居るのも氣づかず、今まで氣苦勞のなかつた時の自分の體力を標準として、あせりにあせつて居たのである。如何に面と向つて注意しても、あせつて居る自分自身をどうともし得なかつた爲めあの惨敗をしたのである。彼が之の經驗に目ざめて、一努力したならば、彼が此の時考へて居た様な小さな目的は期せずして果せるものと思ふ。

唯々外面から見るとでは、高石も老いたるか？ 佐田はどうしたのか？ と云ふにとど

まるであらうがあの時の彼等の状態はこんなであつたのだ。 精神的オーバーワークの恐しさよ。

私しはバリーで、リレーに於て、前の三人が泳いで居る間に於て、スタートする前すでに、オーバーワークしてしまつて居た。そして惨敗した。

二三年見ぬ間に泳ぎが皆、美しい泳ぎでなく、力強い泳ぎになつた事は實に嬉しい。最初から最後迄一かきかきが全力だ。實に氣持がよい。あの力を失なはずは無理が取れた時が覇權を握る時であらう。

種 の 噂

○ 阪神電車は愈々甲子園球場スタンド下に室内プールを造ることとなり着工した。二十五米、同社の石田恒信君視察とあつて技師連を引つれ上京、プールを見て歩いた。

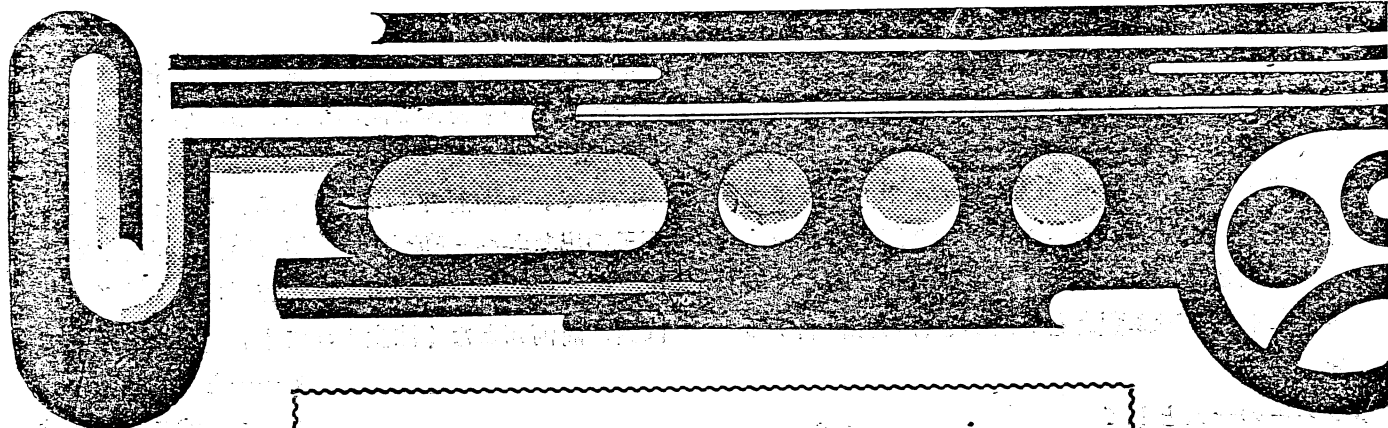
○ 神宮は工事を急いで居る。愈々米國から承諾の通知が來た。一月二十八日の聯盟委員會は盆と正月が一度に來た様な騒ぎ。田畑君と來たら其上議會の方の本職が書入れと來て居るのでその忙しそうなこと。

○ 西本の亮さんが退營して元氣な姿を聯盟の會に見せて居る。併し頭の髪の方が又少しうすくなつた様だと心配して居る人がある。

○ 今年各學校で相當選手の卒業、入學がある筈。どんな變化があるのか楽しみだ。横山君は早大に入り磨をかけるのであらうと思ふ。其他の人々は？

○ 高石君は三菱商事に勤務、スマートなビヂネスマンとなつて居たが、去る二月一日近歩二聯隊へ入營した。所が耳で翌年廻しになつた。

○ 同じく南海電車では濱寺に五十米と二十五米神宮プールと同大の大プールを作ることゝなつたそうだ。出來れば關西の一大偉觀であらう。



昭和五年度全國水上競技概観

茲に年々盛大に赴く全國水上競技會大觀をなさむとしたのであるが十九加盟團體中六加盟團體の報告だけしか集まらなかつたことは非常に残念である。併し大體の狀勢を知ることが出来ると思ふ。之等と中央に行われた數個の大會が昨年度の吾が水泳界活躍の大體である。

濱名灣を中心として

堀 江 耕 造

當地方のものが中央に於いてなした活躍の跡についてはすでに各種の新聞雑誌に報道されて居るから、茲にこれを再報することはないで、たゞ本縣内に於て行はれたものについて少しく書いて見たいのである。

中等學校方面 わが地方に於いて相變らず頭角をあらはして居るのは中等學校である。野田、野寄の光つて居た頃の密商は今日では影が薄くなつたが、濱一中は片山を中心として宮崎、太田其他が依然として重きをして居る。これと對抗するものはやはり中農で、これにも鳥居、刑部、鈴木等の猛者があり、これと軒を並べて居る見中は牧野によ

つて世人の視聽を集めて居る。これに島によつて水泳界に望を抱きかけた濱師は中農出身の宮崎を加へて益氣を吐かうとした。然し何と云つても本年の水泳界に於いて淋しく思つたのは袴田と野寄とが顔を出さなかつた事である。野寄は近年病魔のため昔日の意氣なく、競技場に彼の姿を見る事が却ていぢらしい思を惹起せしめる程度のものであり彼が此世を辭し去つた事が或は彼が去年の聲價を益失墜せしむる事なく、彼としても其内の生活に於いて如何に鞭をあたへても思ふこまかせぬ、其體軀に思ひなやむ事を要しなくなつたといふ點に於いて幸福ともいへやう。けれど

- K、大體に於て今日は古い選手米山、佐田、野田の諸君の意氣は賞讃に値するものですネ。「ロスマンゼルス」は牧野、横山、高橋、宮本の新時代を造つてもらひたい氣がする。
- M、これからは各種目によつて超人的スターの新時代が出来なければ嘘だ。往年の如く一人のスターが各種目の覇權を握ると云ふことは一寸水泳界の内容及發達程度を疑ひたくなる氣がする、例へば「小野田時代」「高石時代」とか云つた様に。
- M、では今年度の各々競技會を話したから女子競技、ダイヴィング、ウオタマーポローを話さう。
- N、競泳の方は見物人も主として見るが他の競技はどうも餘興でも見る氣である様ですが如何です。
- K、決してそんな譯ではないのですが競泳は直に勝負が判りますが他の競技は充分未だ「ルール」を解さない爲めではないでせうか。
- M、實際その點はあるがダイブは競技精神と同時に藝術的フォームを心に置いて研究してもらひたい。ライレー選手のフォームを思ひ出して羨しい。我々も規則を一般に宣傳する様努力しませう。
- K、ダイビング臺の側の大樹は實際ダイブ臺の背景として競技をして、やわらかいよい感じを與へますネ。
- S、如何にもものびのびした氣持がします

も袴田の方は近年益調子がよくなり、本年度に於いては濱一中の主將として中學時代最後の思い出に一大活躍をなすべく自他共に期待して居たのであるから、彼が本年のシーズン中全く薬餌に親んで居たといふ事はまことに遺憾な事であつた。

中央にあつては時給も極東大會の眞最中、五月下旬に聖上陛下には本縣下へ行幸遊ばされ、二十九日靜中プールに於いて中等學校の水上競技を天覽に供することになつた當日の競技種目は 200m. Relay. 100m. Breast stroke. 50 m. Back Stroke 50m. Free Style. 150m. medley Reley の五種目で所要時間が十分間といふのであつた。これに参加したのは靜中、中農、見中、濱一中の水泳部員で、私は當日審判長として列席したのであるが、競技が開始されるや御側近く召されて競技に關する御説明を申上げる榮に浴したのである。私は現在御覽に供して居る種目に關する事項に關して其當時極東大會で活躍して居た諸選手の事を言上した。なほ木下行李主務官を通じてかの芝浦に行はれた極東大會に内田正練、鈴木忠藏の兩君が出席して以來今日にいたるまでの濱名灣游泳會を背景として各種の國際競技會に出場した選手名を言上する機会を得た事は無上の光榮であり多年これらの事に深い關係と興味とを有する私として實に嬉しい事であつた。

八月初旬に三保プールに於いて靜岡縣體育協會の主催で行はれた水上競技大會に於いては前記諸技の外に沼商が小池を出して本縣に於ける平泳界に一大警鐘をならしてくれたそれから高木を主將とする靜中の本年の躍進もすばらしいものであつた。

小學校方面 此方面では本年小學校だけの水上競技聯盟を成立させた。片山、野寄の母校舞阪小學校、野田、高崎(正)の母校雄踏小學校、水野の母校入野小學校、牧野、宮崎(庫)の母校吉津小學校、袴田の母校新居小學校、刑部の母校篠原小學校の外に新所、入出等の小學校がこれに加盟し一大水泳聯邦を組織した。この濱名を中心とした一大勢力に對抗するものが伊豆方面に徐々に出來た事は大に人意を

強うするものである。縣の大會に於ける宇田知見小學校の奮闘は明にこれを物語るものである。

教育會及び青年團方面 中等學校卒業生がこれに加はる傾向を有つに至つた事、従つて從來に比して一段と競技會をして氣分が出て來たやうに見受けられる。ことに教育會の方面は養師在學中に地方的に相當名を知られた田中、原田其の他が居る事、これらが小學校に在勤して小學生の實地指導をする事が、從來動もすれば暗中摸索的になり易かつた小學校水上競技を合理的指導法に進ませる事になりはしないかと思はれる。全日本選手權大會の直後在京の諸君が座談會を開かれた時に年少選手の體力の事が話題に上つたやうに思ふが、これは指導者が當然考へなければならぬ事であるが從來の指導者は競技能力を伸ばす方面のみに力の大部分を注ぎ、この方面にまで注意を向ける餘裕がなかつたのである。將來指導者は大に此方面に留意しなければならぬ事はいふまでもない。然しこれは單に水泳だけの問題でなく、わが國に於けるあらゆるスポーツに關する問題である。かの少年野球の如きも著しい一例であるが、他人の畑の中はまづ措いて、自分に關係のある所からはじめる必要がある。まづさういつた意味から私は師範學校が此方面に覺醒して優良な指導者を小學校へ多數に送り得る様にして欲しいと思ふのである。

(原稿を引受けてから締切までに日がなかつたのと雜務がたまつて居て思ふやうに筆を取る暇がなかつたのとで甚だ内容の空虚な事を十分に考へる暇もなく書いたので讀者諸君には御迷惑であると思ひますが、今後の總會に於いて埋合せをしたいと思ひます)

謹 賀 新 年

日本水上競技聯盟

河童漫談會 (二)

本 井 功

M 運動記者
 K 水泳ファン
 S 水泳選手
 N 水泳役員
 N、これからの競技會は見物の人々、選手、主催者の意見の一致した氣分が競技場に溢れて始めて競技會の目的が達せられたと云われるのだ。其點に於ても午後か又は夜間が適當と思ふのです
 S、我々選手としても同感です。
 M、次は「インター、カレッヂ」を話しませう。
 K、「インター、カレッヂ」は大體「チャンピオンシップ」と違つて愛校熱の下に行はれる對抗勝負だが全然目的が違つて來ます。従つて見物人も新記録よりも總點勝負ですから學校の色彩が濃厚です只優勝すればよいと云ふ氣分一杯らしいですネ。
 S、大學選手でも中等學校選手でも對抗勝負は全然目的をかへてやる様です。我々でも一年の身心練磨の腕を此時見せんと思ふため學校チームとしての作戦上どうしても充分の記録は出ない様な氣がします。
 M、大學選手は水泳全般から見ても堅選手として充分の實力はあるが第一線の選手は中學選手に多くを發見する様になりましたネ。

京都體育協會區 1930 水泳界の概觀

吉 田 四 朗

京都體育協會は京都府滋賀縣を統管する。それ故に地理的には必然的に兩府縣に分けて概觀さるべきであるが、水泳の發生的見地又現今の状態より見るとき兩府縣を區分と見出さない。

しかし最近の發達にはその地理的行政的區分を明瞭ならしめる傾向がある。故にそれを考慮して本年度に於ける泳界を概觀して見よう。

數學は n 個の因子の凡ての結合の數を $n!$ によつて示してゐる。泳界に於てもその如くに諸因子たる團體の成立によつて複雑を極めて諸種の大會を主催される。それは進歩への過渡期に於ける喜ばしき現象ではあるが、又半面に進歩への反作用を示す。此れを具體的に京都體育協會區内たる京都滋賀兩府縣に就て見るに、地理的行政的に中等學校に於て分れてゐる。流派の上に於ては滋賀縣の觀海流及京都武德會の小堀踏水術に、分れて各々その完成に努めてゐるのである。而して、明治文化の一大特徴である教育制度に就ても、大學専門學校中學校と分れ、各々横斷的な團體を形成し、更に發達程度に従つて京都學生聯盟中に藥專立大等よりなる四校聯盟を生じて複雑な姿を呈してゐる。又性別により、新聞社教育會府市の公共團體による諸會合、及び對抗的會合を生じてゐる。尙又兩府縣を超越する諸大會が各有力團體に主催され、更に夫等を全國的、國際的總合せる N. S. R の Branch として K. A. A (京都體育協會) が、存在して、滋賀京都兩府縣の水泳可能期たる六月より十月まで約五ヶ月は完全に消化されるのである。しかし此の外諸團體の外對的の會合は交通の中心にあるだけ大阪、兵庫、和歌山の近畿諸縣より更に東京、九州にその翼を伸べてゐるのであるからよく此の期間を消化せしめられてゐるか云ふ問題に逢着する時に私は直ちに肯定を與へ得ざ

るものである。

今試みに京都帝國大學水泳部の事業報告につきて、その關係する大會のみを列擧して見るに、

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 6月15日 | 第四回對同志社定期戰 |
| 2. 6月18日 | 學内水泳大會 |
| 3. 6月22日 | 第六回京都學生水上競技大會 |
| 4. 7月24日…25日 | 第三回全國高校中部豫選大會 |
| 5. 7月26日…27日 | 第六回全國高專大會 |
| 6. 8月2…3日 | 全國高校大會 |
| 7. 8月10日 | 洲本サンマーハウス水泳大會 |
| 8. 8月 | 琵琶湖中等學校水上大會 |
| 9. 9月5日 | 第三回對慶應定期水球戰 |
| 10. 9月14日 | 第六回對東大定期水上大會 |
| 11. 9月24日 | 第八回關西學生水上競技大會 |
| 12. 9月28日 | 京都學生水球競技大會 |

六月十六日より九月廿八日まで大會のみで十二回行つてゐるのである。京都は東京に次ぎて高等専門學校が多數である故に、實に甚だしい競技會の數字を示すのである。而して尙又増加せんとする傾向を示すのである。此の状態は確かに水泳の進歩を物語るものであるが、俚諺に云ふク貧乏の子澤山クを示すものでなからうか？ 此等の諸大會が統制さる事によつて初めて健全な發達を見られると思ふのである。各大會の主催の言は確かにその開催さるべき正當の理由の存すと見るものであるが、暫くその言を止め、既存大會に合流して援助されたいと思ふ。又既存大會に於ても外部の體面上或は傳統に壓されて餘議なく繼續せしめくる如き大會を見受けるが、夫等は宜敷しく此の際ク眞實に Sports を愛するならク廢止され、小節を全ふするに姑息なるより、寧ろ大節を全ふする意氣を示されん事を要求してや

M、女子の競泳も進歩したのは結構です

併しも一歩努力してオリンピック迄に行ける丈の成績を造りたいですネ。

N、まだまだ練習する必要はあると思ひ

ます、それに女子だけにコーチのよいのが居ないためと、體格の偉大の人が出ないためよいレコードが出ない。體

格では前畑嬢位のものです。それでも脂肪が多い様な氣がする、結局或程度

迄は體格の問題ですからナ。

M、ウオターポロも大分盛んになつて

來ました。が未だ未だ見物に多大の興味をもたない様ですが如何です。

N、それは前に云つた通り規則が理解出來ない爲めです。

尤も現在の様に競泳選手がやるのなら冬期に室内プールで夜間リーグ戰をやると良い方法と思ひます。競泳許り強くなつてもダイブやポロに敗れる様

では理想的水泳國として第一位とはいはれないですナ。大いに之等競技に便

利を興へて發達せしめなければなりませんヨ。

M、同感です。 K、結構です。 S、是非實行願ひます。

M、ではこれ位にして又來年遇ひませう

K、元氣で來年遇ひませう。 S、我々選手も日米對抗戦には頑張りますよ。

N、我々もオリンピック第一主義の下に精進させよう。日米對抗戦はよい意味の前哨戦ですからネ。左様なら皆さん

まないのである。

私は以上の主張をもつて本年度に於て私がK. A. A管下に於て舉行されたる諸大會を檢討して忌憚なき批評を下して行き度いと思ふ。私がかく態度をとること眞實にSportsを愛する事により、又健全なる泳界の發達に資すると信ずるによるものであつて、些かの他意なき次第である故に、讀者諸子に於ても、此の意を察知し筆者の意のある所に御賛同あらん事を願ふ次第である。

1 第四回、京都帝國大學對同志社對抗水上競技大會 6月15日

本年度は第九回極東選手權大會が神宮に於て季節の最初として舉行された關係上、本大會に出場の選手中の該大會に出場を見たる故に、その選手等にとつては最初のものでないが、當地方に於ては最初の而も最も注目さるべき大會である。尙本大會は當地方のみならず關西に於て關西學院を加へて三つの鼎足である故に、此の結果は關西水泳界の大體の標準を示すものである。

例年より見れば、帝大側としては新部員を集合して第一期の練習を開始し、帝大の唯一目的たる對東京帝國大學との戦への第一の策戦の根據を與へる大會にて、單に戦蹟を問題とされ、その勝負は寧ろ第二義的と考へられてゐる傾向がある。しかし、京大と同人は京都に於ては歴史的に相對峙するもので、蹴球に陸上競技、劇に音楽、京洛にその羈絆を争つてゐるのである。此の状態は東京に於て見るを得な

いものである。故に京大側としその態度をとるも夫は許されないと思ふ、同大としても關東の雄明治大學との定期戦が約束されてゐるのでよき試金石である。此等の意味によつて成立したのであるが、私としては、存續せしむべきなれば、現在以上に Frank に行はるべきもので、現在の如き意味に於てならば廢止さるべきと思ふのである。唯此の意味のみならず、次に來る大會は、京都學生聯盟競技大會で、然も僅か一週間の後に行はれる關係から云ふのである。僅かに一週間の後に、此の Big two が、更に一段と Level の低い諸専門學校を加へて行はるのであるからである。本大會の結果は 體に次の大會の結果で、時間的經過が少ないだけにその結果は火を見るより明である。然もその大會當事者の顔振れもその儘と云ふ状態で、此の二大會を列挙するのは如何と思はれる。

然し、その結果に就て見る時、兩大學は二次的の態度をとりはするも、地方大會として堂々たる成績である。京大は上田主將を ぬ大西、高山の諸君と新臺灣の雄神保君を加へたるに對し同大は十年一月の如き入谷君、小杉君、横田君、土井君である。クロールの元祖入谷君の泳法を今尙見得る唯一の大會である。極東大會に小杉、横田、土井の三君は出場した關係上練習に於て同大優勢を占め結局⁵⁵對78にて同志社勝ち昨年の敗を雪いだ。横田君の進歩を嬉ぶが、平泳岡島君なきを淋しく感ずる。(續く)

臺灣水泳界を語る

藤 本 秀 松

臺灣の水泳界は其スタートに於て内地のそれに較べて甚だしく遅れて居り本年の全島選手權大會も第五回と云ふ若人である。然し乍ら其進歩は實に著しきもので一兩年の間にはプール數も全島を通じて十は増して居ると思ふ。従つて競泳も各地で盛に開催されて居る。特に本年度の進境は持筆す可きもので更に來年度は現在の臺灣記録は一新される事は勿論信じて疑わない。

本年度の水上競技會中全島的のものは四月下旬極東大會豫選會に派遣選手豫選會に口を切り、霜三雄(平泳)、松村元義(背泳)、生田美代子(背泳)の三選手を送り、七月下旬第二回全島男女中等學校水上競技大會を行ひて、藤本頼廣(平泳)、横林紀久夫(二百、四百)、廣瀬清(背泳)の三人を兩部豫選に派遣し、八月下旬第五回全島水上選手權大會、九月下旬第二回實業、青年團水上大會を催して居る。

本年度の競技會を通じて見るに昨年邊り迄各種目に於て只一人だけが飛離れて群を抜いて居たのに反し今年などは

各選手の技倆甚だ接近し、所謂の獨り舞臺を許さなくなつた事である。且其技倆伯仲せる者が殆んど皆臺灣記録に接近して居る。其上昨年迄本島の中部にある臺中地方の選手が出場せなかつたのに本年は多數の選手を出場せしめて南部北部の先輩に對立して鼎立の形を造り初めた事は最も喜ばしい現象の一と云わねばならぬ。

選手の多くは未だ臺灣記録を目標としホンの一部の選手のみが全日本を目標として居る觀あつて、オリンピックを第一主義とする内地水泳界に比して甚だしい遜色と云わねばならぬ。不思議にもオールジャパンを目標とする者は男女中等學校の選手で、臺灣での一流選手を多數擁する高等學校は所謂インターハイを第一義とする關係ではあるまいかと思ふ。臺灣の水泳界の發達は中等學校選手による事多く今後も尙續く者と見ねばならぬ。萬一インターハイの入賞者をインターミドルと同様に地方豫選の入賞者と同等に扱はる時機來れば本島水泳界も一段と進歩の度を増す事と

思ふ。

本島に於けるインターカレッジも回を重ねる事五度に及ぶも、學校數の少ない悲しさ熱上らず調布多摩川頃のインターカレッジの域を脱せない有様である。

本年度に於ける男子選手中横林兄弟、大橋至、小林次郎西尾善行、田崎尙一、磯崎信男、富樫定次郎、吉本明、山口彰(以上自由型)、藤本頼廣、霜三雄、横井輝美治、池上兄弟(以上平泳)金子正久、松村元義、廣瀬清、米重勇、阪井英一(以上背泳)女子に於ては松宮シゲ子、黒萩瑞枝、糸井碧璃子、江副安子、田中敬子、渡邊和子、芝原ユリ子、(自由型)生田美代子、遠藤キミ、桑原セイ、酒井喜眞子、(背泳)、伴菊代、中村テル、石田澄江、小原美江(平泳)以上の選手等が其主なる者で來年の活躍を期待されて居る。

臺灣は人口四百萬人と稱され、内地人二十萬人、生蕃十四萬人の外は支那人を先祖に持つた本島人で、目下の處は競泳界に出て來る者は内地人のみで全く獨占(陸上競技、其他一般競技は然らず)の型である 本年も本島人の参加唯二人と云ふ小數で%には表はせない數である。其原因は種々あるが要するに恐怖、習慣、迷信等で泳いでもまだ競技界に参加するに至らぬ。乍然プール數も増し、其多くは學校プールなるが爲、熱帯體育としての水泳を重大視され利用される傾向盛なれば數年を出でずして本島人選手の輩出も當然の結果と思ふ。聞く所によると東部に於ける生蕃中ヤミ族は水邊にあつて常に水に親み又良く游、と云ふ事で、ヒリッピン選手中のウルカ、タヒル、タンシ等と種族が同じ様に思はれる點の數々がある。一度は調べて見たいと思つて居る。

スタートが遅れては居たが臺灣は常夏の國、此恵まれたる氣候を利用して所謂晝夜兼行休む事なく努力を重ねて居た。事實一番寒い臺北邊の昨今の氣候が晴なれば氣温二六度C 水温二四度C 位で練習にはお誂向、一、二月の頃でも平均水温は一九度を降らぬ位故無理をせなくとも平氣なものである。

來年は昨年催した對ヒリッピンの水上競技の第二回目をやり度いと思つて居るが、良い機會のないので一頓座の形なれど、之とても今年の冬期練習の結果臺灣の選手の技術次第で關係者方面の了解もつくものと見られる。

水泳界の關係者は常に「如何にせば内地水泳界のレベルに到達する？」との事に對して熱心に且つ忠實に研究をし又選手の激勵に餘念がない。

練習を終へて水着片手に、椰子の葉影に腰を下して談笑して居る様は詩的なもので若人臺灣水泳界を背負つて立つ者達として相應しい情景だ。明日の臺灣!! 只進歩のみである。

左表は臺灣記録である。参考の爲に

臺灣記録

(昭和五年十一月一日現在)

| 種目 | 分秒 | 氏名 | プール長 | 年次 |
|---------|---------|------------|------|------|
| 男子ノ部 | | | | |
| 50m自由型 | 28.4 | 山口 章(南臺) | m | 1930 |
| 100 | 1:05.0 | 神保 幸雄(高校) | 25 | 1929 |
| 200 | 2:29.2 | 横林紀久夫(北一中) | 50 | 1930 |
| 400 | 5:20.7 | 神保 幸雄(高校) | 25 | 1929 |
| 800 | 11:50.0 | 吉本 明(嘉商工) | 50 | 1930 |
| 1500 | 23:07.0 | 田崎 尙一(北一中) | 50 | 1930 |
| 100 平泳 | 1:19.4 | 藤本 頼廣(南二中) | 25 | 1930 |
| 200 | 2:55.6 | 藤本 頼廣(南二中) | 25 | 1930 |
| 400 | 6:47.7 | 霜 三雄(臺灣) | 50 | 1929 |
| 50 背泳 | 35.8 | 廣瀬 清(北一中) | 50 | 1930 |
| 100 | 1:15.6 | 松村 元義(南泳) | 25 | 1930 |
| 200 | 2:55.4 | 松村 元義(臺灣) | 50 | 1929 |
| 200 リレー | 1:57.3 | 臺北支部チーム | 50 | 1929 |
| 400 | 4:29.6 | 臺灣チーム | 50 | 1929 |
| 800 | 10:34.5 | 臺灣チーム | 50 | 1929 |
| 300メドレー | 3:43.8 | 南泳クラブ | 25 | 1930 |
| 女子ノ部 | | | | |
| 50m自由型 | 37.0 | 栗山 綾子(北一女) | 50 | 1928 |
| 100 | 1:24.0 | 松宮 シゲ(北二女) | 50 | 1930 |
| 200 | 3:18.2 | 松宮 シゲ(北二女) | 50 | 1930 |
| 400 | 7:22.4 | 黒萩 瑞子(南一女) | 50 | 1930 |
| 100 平泳 | 1:47.3 | 伴 菊代(南一女) | 50 | 1930 |
| 200 | 3:44.4 | 伴 菊代(南一女) | 25 | 1930 |
| 100 背泳 | 1:37.3 | 生田美代子(北一女) | 50 | 1930 |
| 200 | 3:38.3 | 生田美代子(北一女) | 50 | 1930 |
| 200 リレー | 2:35.3 | 南一女チーム | 25 | 1930 |
| 300メドレー | 4:57.0 | 嘉義女チーム | 25 | 1930 |

謹 賀 新 年

編輯部同人

昭和五年度の満洲水泳界

満洲體育協會 主事 林 田 學

日本内地では到る處に河川があり、池があり、又は海があつて水泳には恵まれてゐるが、満洲では河川があつても水が無く、水泳には全く恵まれない。僅かに旅順、大連の兩地に海がある位で、其他の全満洲を通じての各地には個々にプールを設けて初歩から、練習するので他の運動競技に比して其進歩發達は非常に遅い、而も水泳のシーズンは七月初旬より八月一杯、或は六月中旬より九月中旬に到る位が最も永い期間で三ヶ月間泳げる事はない。此の點より見て満洲の水泳界は恵まれざる事夥だしく、今日室内プールの建設を高調するも當然の歸結である。

昭和五年度の満洲水泳界は、大體に於て平凡な歩みを續けたと云ふ外なく、超人の出現も見ず、全日本の選手権大會にも派遣する様な選手を見出し得なかつた事は残念であつた。昨年は女流選手の内地派遣も敢行して相當の成績を収めたが、本年は男子にも女子にも之が望めなかつた事は満洲水泳界の不振と云ふよりも寧ろ内地水泳界の長足の進歩發達に追隨し得ないと云ふ状態であつた。斯かる場合に於ても練習期間の短い事を悩み悩み遺憾に思はれる。

水泳界の概観にしても短期間であり範圍狭少な爲め持筆大書して記述するだけの會もない有様で、全満洲を通じて最も甚大を誇る可き、一二の大會記録を叙して其一班を報道する事にする。

州外水泳大會

州外水泳大會と云ふのは、關東州に對する所謂日本の租借地外の大會で旅順、大連を含まざる普蘭店以北の大會で鞍山、遼陽、營口、奉天、撫順、安東、鐵嶺、開原、四平街、公主嶺、長春等の各地を網羅するものであるが、本年度の大會は各地よりの出場者なく、恰も奉撫對抗競技の如き觀があつた。七月二十七日午後一時から奉天高等女學校プールに於て舉行された記録次の如し

| | | |
|--------|---------|-------|
| △四百米 | 六分 一秒九 | 一着 堀 |
| | 二着 川野 | 三着 高木 |
| △百米背泳 | 一分二 三秒六 | 一着 岩本 |
| | 二着 宮原 | 三着 平林 |
| △百米 | 一分 一秒八 | 一着 川野 |
| | 二着 堀 | 三着 平林 |
| △二百米平泳 | 三分一 九秒八 | 一着 平林 |
| | 二着 中西 | 三着 三木 |
| △五十米 | 三〇秒四 | 一着 岩本 |
| | 二着 平林 | 三着 柴 |
| △二百米 | 二分五〇秒三 | 一着 堀 |

| | |
|-----------|--------------|
| 二着 高木 | 三着 柴 |
| △千五百米 | 二六分三七秒九 一着 堀 |
| 二着 荒木 | 三着 山崎 |
| △四百米リレー二分 | 五秒 一着 奉天タイム |
| 二着 撫順タイム | |

以上の如くで大會と云ふも參加者少く香ばしい成績も見る事が出来なかつた。

全満洲中等學校水泳大會

満洲體育協會主催の全満洲中等學校對抗水泳大會は八月十七日午後一時から大連運動場プールに於て舉行された成績次の如し

△三百米メドレーリレー決勝

| | |
|---|----------|
| 一着 大連商業タイム(松本、金光、水田) | 四分四秒四 |
| 二着 大連二中タイム | 三着 育成タイム |
| 大連二中最初リードして居たが最後に大連商業水田力泳して二中の荒木を抜き約一米の差で勝つ | |

△千五百米自由型決勝

| | |
|-------------|-------------|
| 一着 山上幸彦(育成) | 二四分二一秒六 |
| 二着 渡部良男(育成) | 三着 馬場春雄(大商) |
| 四着 有満一男(大商) | |

五百米では渡部、山上、馬場、有満、相原の順酒本は五十米遅れ六百米では山上、渡部を二米を抜き酒本棄權、相原約百米遅れる以後變化なく山上、渡部を約二十五米離して勝ち、馬場、山上に遅れること四十五米相原は百三十米遅れて等外となる。

| | | |
|----------|--------------|-------------|
| △背泳 百米決勝 | 一着 木内四郎(大二中) | 一分二八秒四 |
| | 二着 松本一(大商) | 三着 松本忠公(育成) |
| | 四着 澤井祥二(旅一中) | |

五十米では松本一、松本、木内を僅かに抜いてターンしたが七十米邊で木内、兩松本を抜いて約一米の差で勝つ

| | | |
|------------|-------------|-------------|
| △四百米 自由型決勝 | 一着 水田 勉(大商) | 五分五八秒二 |
| | 二着 山上幸彦(育成) | 三着 馬場春雄(大商) |
| | 四着 渡部良男(育成) | |

百米では水田他の選手より一米先んじ山上、渡部、馬場同時にターンし相原約七米遅れる三百米では水田五米先んじ山上、渡部、馬場を距して水田に迫る以後渡部、馬場接戦を續けたが、馬場タッチで破る。

| | | |
|------------|--------------|-------------|
| △五十米 自由型決勝 | 一着 井上吉朗(育成) | 二九秒四 |
| | 二着 橋本末喜(育成) | 三着 木村元一(大商) |
| | 四着 唐澤 茂(大一中) | |

| | | |
|----------|-------------|-------|
| △平泳二百米決勝 | 一着 金光 弘(大商) | 三分一四秒 |
|----------|-------------|-------|

二 二着 關原武彦(大商) 三着 中西好治(撫順中學) 四着 野田太郎(大二中)

△百米 自由型決勝 一着 井上吉朗(育成) 一分一秒二 二着 橋本末喜(育成) 三着 篠 忠夫(旅一中) 四着 唐澤 茂(大一中)

△二百米自由型決勝 一着 水田勉(大商) 二分四秒二 四 二着久保田開太郎(大商) 三着 佐藤二郎(大一中) 四着 小林和秋(育成)

△八百米リレー決勝 一着 育成タイム(山上、渡部、橋本、井上) 一分一七秒六 二着 大商タイム 三着 大一中タイム

育成、大商、大連二中の接戦、大連一中、旅順一中共に第一泳者より、すでに十米遅る、大連二中第二泳者渡部疲れて大連一中旅一中に抜かれ、育成第三泳者橋本、大商の馬場を抜くこと約十米にして、ラスト泳者に代る大商第四泳者水田、育成の第四泳者井上を追い其差をぐんぐん縮めたがタッチの差で敗る。

斯くて本年度の優勝校は三十六點で大連商業に決定、育成學校は三十四點で第二位以下大連二中八點大連一中五點旅順一中三點撫中二點の得點で本大會を終つた。

州内州外對抗水上競技會

八月二十四日午後一時から奉天プールで開催州内即ち旅順、大連側優勢にて二十九點對十六點で州内軍大勝した。

△五十米自由型 一着 柳井(州内) 三〇秒二 二着 岩本(州外) 三着 川野(州外)

△四百米自由型 一着 黒木(州内) 五分五八秒 二着 水田(州内) 三着 堀(州内)

△背泳百米 一着 岩本(州外) 一分二三秒 二着 荻(州内) 三着 木内(州内)

△二百米自由型 一着 水田(州内) 三分三八秒三 二着 川野(州外) 三着 黒木(州内)

△千五百米自由型 一着 山上(州内) 二四分五七秒一 二着 渡部(州内) 三着 加藤(州外)

△平泳二百米 一着 金光(州内) 三分一六秒六 二着 大竹(州外) 三着 岩本(州外)

△百米自由型 一着 川野(州外) 一分六秒九 二着 水田(州内) 三着 井上(州内)

△二百米リレー 一着 州内タイム(小里、水田、荻、柳井) 二分〇秒一 二着 州外タイム(岩本、柴、堀、川

野)

全滿洲水上競技選手權大會

滿洲體育協會主催全滿を網羅するもの八月三十一日午後二時から大連運動場プールで開催絶好の天氣に恵まれ観衆スタンドを埋め選手の意氣揚る。

△四百米決勝 一着 史 興 隆 五分五二秒二 二着 堀 和 泉 三着 黒木重 三

△五十米決勝 一着 柳井 巖 二九秒 二着 井上 吉 郎 三着 柴 庄一

△女子五十米豫選

A組 一着 越智美智子 三八秒二 二着 松岡 雪 三着 風口一枝

B組 一着 杉山春那子 三七秒二 二着 下村久子 三着 川岸幾久代

△平泳二百米決勝 一着 金光 弘 三分一四秒四 二着 大竹 功 三着 關原武彦

△百米決勝 一着 水田 勉 一分五秒六 二着 川野 末男 三着 篠 忠夫

△女子百米決勝 一着 下村久子 一分三一秒六 二着 川岸幾久代 三着 風口一枝

△背泳百米決勝 一着 荻 清 一分二二秒二 二着 木内四郎 三着 小里四郎

△二百米決勝 一着 水田 勉 二分三五秒二 二着 堀 和 泉 三着 馬場春夫

△女子五十米決勝 一着 杉山春那子 三七秒四 二着 越智美智子 三着 川岸幾久代

△千五百米決勝 一着 史 興 隆 二三分一八秒六 二着 山上幸彦 三着 史 興 隆

△女子二百リレー 一着 神明高女 二分五三秒八(獨泳)

△八百米リレー 一着 赤陽クラブ 一分八秒六 二着 大連商業 三着 育成學校

右の如く極めて簡單なる歩みを辿り、選手權大會終了後九月に入りて大連に於て水上レコード會を開きたるも、寒さの爲め参加者少く問題にならず、平凡なる昭和五年度を送つたが、目下學校生徒中に將來ある者續出しつゝあれば茲數年後には必ずや日本選手權會に参加し得る選手の輩出するものと期待し、今日の衰も其伸びんが爲めの緊縮なりと自ら慰めてコツコツとして牛歩を辿る外はない。

九州に於ける水上競技

大 村 收

當地で行はれた大會の簡單な報告を致します。

5月25日 九大プール開き

5月27日 日本海海戦記念大會

6月 日より當協會主催 市内高専リーグ戦

九大優勝 (九大四勝 福高三勝一敗 西南 一敗三敗九
齒全敗)

市内中等学校リーグ戦 修莊優勝

7月 日 柳川日々主催

全九州中等学校大会 中學傳習館プール 熊本鹿
本中學優勝

7月29—30日 九州帝大専科大会水泳部主催第三回全
國高等学校水上競技大会西部豫選

8月5日 三帝大水上競技聯盟主催 全國高等學
校水上競技決勝大会

8月26日 福岡縣主催中等学校南部大会

場所 八女工業プール 優勝 傳習館

8月28日 福岡縣主催中等学校中部大会

場所 福岡市大濠プール 優勝 修莊館

8月30日 福岡縣主催中等学校北部大会

場所 小倉中學プール 優勝 豊津中學

8月31日 福岡縣主催中等学校女子大会

場所 大濠プール 優勝 久留米高女

9月 7日 九州日報主催西日本中等学校

場所 大濠プール 優勝 佐賀中學

9月14日 福岡縣主催、水泳大会 大濠プール

(一般中等學生を除く)

9月20日—21日 北九州中等学校水泳大会(福高主催)

場所 大濠プール 優勝 傳習館

以上の外、佐高主催(鹿兒島、福山中學優勝)7月26—27日

五高主催(熊本、鹿本優勝) 9月14日

鹿兒島 7月3日

其他の試合が行はれてゐます。

北陸に於ける昨年度の水上競技界

堀 井 榮 藏

我北陸水上聯盟の一九三〇年度に於ける主なる行事は左
の如く記録上より見たる時は一般にレベルの向上せるを知
るなり。

一、第二回北陸中等学校永上選手権大会

イ、期日 七月二十六、二十七日

ロ、場所 長岡市悠久山プール(五十米)

大会参加校は新潟縣内のみにて長岡商業、村上中學、高
田中學、長岡工業、新潟中學、新潟商業、柏崎中學、長岡
中學、三條中學、柏崎商業の十ヶ校以下各種目の一着のみ
を記せば次の如し

二百米リレー 二分 四秒五 長岡工業チーム

百米バック 一分廿二秒 (長岡工業) 布施 正隆

二百米自由型 二分卅三秒四 (柏崎中學) 吉川源太郎

五十米自由型 二十八秒五 (長岡工業) 杉浦 久彌

八百米自由型 十二分廿五秒五(柏崎中學) 吉川源太郎

二百米平泳 三分卅一秒四(長岡商業) 小林 莊六

百米自由型 一分 七秒 (長岡工業) 杉浦 久彌

四百米自由型 五分五十九秒(長岡商業) 久保 孝吉

二百米バック 三分 一秒九(長岡商業) 角田 賢三

百米平泳 一分三十三秒五(高田中學) 卷 芳二

八百米リレー 十分五十三秒五(柏崎中學)

而して長岡工業の優勝となり、新潟縣體育協會、北陸聯
盟盃を個人百米自由型の優勝者杉浦久彌が新潟高等學校杯
を獲得した。

二、第二回北陸水上選手権大会

イ、主催 新潟縣體育協會、北陸水上聯盟合同主催

ロ、期日 八月十六、十七兩日

ハ、場所 高田中學校プール(廿五日)

此の大会は全日本水上競技選手権大会の北陸地方豫選並
びに新潟縣水上競技選手権尚第二回新潟縣下小學校、高等
科、水上競技選手権をも兼ねて新設の高田中學プールにて
プール開きの意見で盛大に舉行。成績左の如し。

一般男子の部

百米自由型 一分 五秒 (長岡工業) 杉浦 久彌

八百米自由型 十一分十三秒五(柏崎中學) 吉川源太郎

二百米胸泳 三分十二秒二(新潟水上聯盟)南部 久市

二百米自由型 二分廿九秒(新潟水上聯盟)五十嵐力英

百米胸泳 一分廿六秒三(新潟水上聯盟)南部 久市

五十米背泳 卅六秒八 (高田青年會) 前田誠以智

四百米自由型 五分廿八秒(新潟水上聯盟)渡邊 盛一

百米背泳 一分十九秒 (長岡商業) 角田 賢三

二百米リレー 一分五十九秒(新潟水上聯盟)渡邊、長

谷川、立川、五十嵐

八百米リレー 十分二十秒六(新潟水上聯盟)渡邊、吉

田、立川、五十嵐

女子の部

五十米自由型 五十秒(高田高女) 小籠 ミヨ

五十米胸泳 全部オミット

百米背泳 三分十五秒(直江津實女) 三原 ツマ

百米自由型 二分一秒(高田高女) 小籠 ミヨ

(以下十六頁へ)

水 泳 通 信

昨 年 度 の 米 國 水 泳 界

飯 田 光 太 郎

昨年 of 全米選手権大會は、男子室内はシカゴ市、女子室内はマイアミ・ビーチ、戸外は男子女子同時にカリフォルニア州のロング・ビーチで開催されました。

全體を通じて最も活躍したのはヘレン・マヂソン嬢でした。米國記録を破ること二十五、世界記録を破ること實に十二と云ふ物凄い大奮闘振りは驚嘆の外はありません。現在の記録に對比して彼女の作った記録は何れも劃時代的のもので、總べての運動競技に於て其例を見ない處です。カリフォルニア州のロング・ビーチで開催された全米選手権大會に於て當時十七年であつた彼女は百碼から一哩に至る迄の總べての世界記録を破つてしまひました。一週日に亘る此競技會で、過去十年間にガートルード・イデー、イセル・ラツキー、マーサ・ノレリアス及びジョセフィン・マツキム等の諸嬢が作った世界記録は一掃されてしまひました。

其次に特記すべきは背泳のエリナー・ホルム嬢です。同嬢も記録破りを大分やりました。

男子は女子に比較すると華々しさが大分少なくなりました、クラレンス・クラブとジョージ・コージヤツクの二人が記録破りの隊長です。

女子競泳では多年覇權を握つて居たニューヨーク女子水泳協會がロサンデエレス・アスレチック・クラブのチームに覇權を奪はれてしまひました。

男子の室内覇權はホリウツド・アスレチック・クラブ、戸外はロサンデエレス・アスレチック・クラブが取りました。

戸外選手権の男子女子を合併したのは昨年が最初の試みでありまして、ロングビーチ商業會議所の青年部が之を擔當しましたが大成功でした。四日間に亘る競技會の觀衆は總計十萬以上でしたが、最高は一日三萬人でした。之は水上競技の觀客の新記録です。

昨年 of 全米選手権保持者を次に列記しませう。

男子 (戸外)

100米 自由 コージヤツク 0:59.0

440碼 同 マイオラ・カリリ 4:56.4
 880碼 同 クラブ 10:20.4
 1哩 同 クラブ 21:27.0
 220碼 背泳 コージヤツク 2:35.4
 440碼 平泳 レオナード・スペンス 6:12.6
 300米個人メドレー クラブ 4:06.8
 880碼 リレー ニューヨーク・アスレチッククラブ (ゾリラ、フィスラー、ラツデー、コージヤツク) 9:27.0
 高飛込 シマイカ
 スプリングボード飛込 スミス
 長距離 レーモンド・ラツデー
 水球 ニューヨーク・アスレチック・クラブ

男子 (室内)

100碼 自由 ラウフアー
 220碼 同 クラブ
 500碼 同 クラブ
 150碼 背泳 ラウフアー
 220碼 平泳 ブランケンバーク
 1米飛板飛込 スミス
 3米飛板飛込 ライリー
 300米個人メドレー クラブ
 300碼メドレー・リレー ホリウツド・アスレチック・クラブ
 400碼リレー シカゴ・アスレチック・クラブ
 水球 イリノイ・アスレチック・クラブ

女子 (戸外)

100米 自由 マヂソン 1:08.2
 440碼 同 マヂソン 5:39.4
 880碼 同 マヂソン 11:41.2
 1哩 同 マヂソン 24:34.2
 220碼 背泳 ホルム 3:05.0
 220碼 平泳 ホフマン 3:20.0
 300米メドレー ホルム 4:57.2
 高飛込 コールマン
 スプリングボード飛込 コールマン
 長距離 リンドストローム

女子（室内）

| | |
|----------|--------------|
| 100碼 自由 | マデソン |
| 220碼 | マデソン |
| 500碼 | マデソン |
| 100碼 背泳 | ホルム |
| 100碼 平泳 | ゲラーチー |
| 300碼メドレー | ホルム |
| 1米飛板飛込 | フオーンツ |
| 3米飛板飛込 | コールマン |
| 400碼 リレー | ニューヨーク女子水泳協會 |

平泳リレーの新記録

昨年十二月十日米國メトロポリタンA.A.U 室内水泳大會でニューヨーク・アスレチック・クラブのチームが、四百碼平泳リレーの新記録を作りました。其チームはオーガスト・ハームスとスペンス三人兄弟（フレース、レオナード及びフルター）でした。記録は 10:16.6 各二百碼の個人タイムはハームス 2:39.0 フレース 2:39.0 レオナード 2:26.8 フルター 2:31.8 でレオナードのタイムは長兄フルターの公記録 2:31.8 を非公式乍らも遙に破つて居ります。（フルター・スペンスは先年ハワイで鶴田氏を破り、オリムピックでラーデマツヘルかスペンスか鶴田かと評判されましたが、武運拙なく破れました）

同じ競技會で一五〇碼背泳ではコージャツクが優勝しました。二等はフィスラー、三等はフレース・スペンス。コージャツクのタイムは 1:38.6 で一寸の處で彼自身の保持して居る世界記録 1:38.4 は破れませんでした。

米國ラトガー大學チームの活躍

米國の水泳インターカリヂは室内水泳のリーグ戦で冬季に行はれます。今季のラトガー大學の勢ひは凄じいもので、同大學の二十五碼プールで行はれた八八〇碼リレーで 9:15.6 の記録を出しました。第一に泳いだのが、ジョージ・コージャツクで二二〇碼を 2:12.0 で泳いでインターカリヂ記録 2:16.6（昨年ノースウエスタン大學のアルバート・シュワーツが作ったもの）を破りました。続く泳者はフィリップ・クレマー、及びフルター・スペンスで平均二二〇碼が 2:18.4 でした。

ハーバード大學はバウドインカリヂを五一對一で破りました。

プリンストンはレーハイを五〇對一二で、士官學校はニューヨーク大學を五二對一九で破りました。

フ ラ ン ス

パリーの新進ジャツク・カルトンネは百米平泳のフランス記録 1:19.0 を 1:17.2 で破りました。

パリーのセヌ川で行はれる例年の冬季競泳でイタリのガンビが優勝しました。距離は約二百碼、時間は 2:10.6 二着フランスのカルトンネで二碼後れ三着はベルギーのマルフェーで二着との差四碼でした。ガンビは此競泳の後で競泳界から永久に退隱して今後は自轉車競走に専心すると聲明しました。

一九三一年の水泳界の展望

米國水泳界の長老ハンドレー氏は次の様に語つて居ます。

米國の水泳界に取つて新年は輝かしい豫想に満ちて居る。我國の泳手の絶へざる進歩は本年も澤山な世界記録、米國記録、インターカリヂ記録等が破られることを表はして居る。全米選手權大會は猛烈な覇權の争奪戦があることを豫想されます。十二名の最強の米國水泳選手が今夏日本を訪問することは世界的意味に於て重要な事件です。それは日本水泳選手は多年米國人が保有して居た水泳の王座を怖かす

に足る迄に發達して來ましたからです。

レコード更新に關して考察して見ると、一九三〇年に於て世界記録を破つた泳手達は總べて若い人達であるのみならず、大學及びハイスクールの選手に依つて大進歩がなされたことが非常に喜ばしい事でありました。例へばジョージ・コージャツク、クラレンス・クラブ、マイオラ及びマニユエラ・カリリ、レーモンド・ラツデー、レオナード・スペンス等の諸氏及び女子ではヘレン・マデソン、キャスリン・エイムス、エリナー・ホルム及びジョアン・マクシーヒー

の諸嬢等、昨年の新記録作成者は皆十六年から二十一年迄の年齢であるので今後二三年で其能力の極限に達しさうにもありません。又新進の方ではフランク・ウォールトン、アルバート・シュワーツ、ブラットフォード・バトラーの諸氏及びヘレン・ジョーンズ、ベープ・ギルソン、ヘレン・ヘンドリーの諸嬢は非常な發達を示して居るので本年の終り以前に第一流の内に入るでませう。

全米選手権大會に於てチームの得點に依る覇權争いは、男女子共に非常な興味を以て見られて居ります。昨年はニューヨーク・アスレチック・クラブとロサンジェレス・アスレチック・クラブが室内及戶外の首位を占めたが、本年はハリウツド・アスレチック・クラブにカリリ兄弟及びジョニー・ウツド(一九二六年に來朝した)の三人のハワイ人が加つたので、三者何れか覇權を握るか頗る見物であります。

女子の方では一九三〇年にはニューヨーク女子水泳協會とロサンジェレス・アスレチック・クラブとは室内、戶外の覇權を握りましたが、一九三一年に於ては水の女王ヘレン・マヂソンを首將として速い水流選手の集つたシアトルのウオシントン・アスレチック・クラブを打破るのは中々困難と見られて居り

ます。

米國選手が招待されて居る日本の競技會は明治天皇の記念の爲めに東京に作られた新水泳スタヂーム開きの爲めで、其プログラムは正式のオリムピック種目を全部網羅して居る外其以外の種目もあるので水泳全體に、互る大試金石であります。日本水上聯盟は米國以外に歐洲、濠洲及び南米の著名選手をも招待して居るので(此邊は誤謬ですが我國の招待が米國の水泳界に非常に重大な反響を示して居る例ともなりませう)我がアングル・サムの代表選手は日本及び之等諸國の一流選手と一大争覇戰を演ずる筈であります。

五百米平泳の世界記録

ベルギーのヴァン・パライスは一時歐洲の平泳界の一流であつたが、長い間スラムプに陥つて居ました處が最近ゲントで行はれた五百米平泳競泳に7:37.8で優勝してラーデマツヘルの世界記録7:40.0を破りました。水路の長さは二十五米。

(十四頁より)

二百米リレー 三分五十秒(高田高女チーム)白川、藤本、高澤、小熊

尙尋常科は佐渡の金泉小學校、高等科は同じく佐渡の金泉高等科の優勝する所となる。

一、北陸都市對抗水上競技戦

イ、期日 九月七日

ロ、場所 新潟市村山氏記念プール(五十米)

参加團體は新潟、長岡、高田の三團體のみ。

三百米メドレーリレー 四分一秒二(長岡)角田、星野、杉浦

二百米胸泳 三分十八秒(新潟)南部 久市

四百米自由型 五分四十三秒(新潟)吉田 一雄

百米背泳 一分二十秒(長岡)角田 賢三

二百米自由型 二分卅七秒四(新潟)渡邊 盛一

千五百米自由型 二十三分五秒四(新潟)吉田 一雄

百米自由型 一分七秒(長岡)杉浦 久彌

八百米リレー 十分五十三秒(新潟)渡邊、吉田、田邊、北村

ファン及び選手の欄——新設

進み行く我水泳界の爲、ファン及び選手の眞摯な聲を、聞くことは尤も必要なことである本誌では次號より此欄を設ける振つて投稿あらんことを、但し字數は五百字以内とし、採否は編輯部に一任ありたし。

お斷り——聯盟マーク懸賞募集の發表を本號に於てする様豫告してありましたが、審査に足るだけ應募なく、他の事務多端の爲孰れとも決定するに到つて居りません第五號に於て孰れとも發表することゝ致します。

正誤——前號に於ける誤り次の通り訂正致して置きます。

26頁と27頁とは入れ替へ

10頁7行目「轉サイ」は「参照」の誤

アメリカンクロール泳法 其二

ジョニー・ワイスマユラー原著

祇戸商業大學水泳部譯

白山源三郎校

第四章 試合上の諸注意(完譯)

私がストローク泳法に私の知識の最善を集中すると言つたとて、私の言はうとする所は私が全距離を通して最大速度で力の限りを費してゐるといふのではない。水泳では他の運動競技とは違つて、筋肉を弛めることが必要である。水泳では筋肉を弛めることは單に力を節約するに必要なのみならず、完全なストロークをする爲にも必要なのである。此の技術については然るべき時に説明しやう。

大概の若い選手が疑問とする所は、全速力を出すのは、試合の始めか、中程か、或は最後の何れにするのが一番良いかといふことである。私の精神によると試合をするに一番良い方法は、決して全速力を出さず、與へられた全距離を通じて維持し得る最大の速度を發見して、此の速度で始めから終り迄泳ぎ通すに在る。かう言つても私は決して力の有るだけを出して泳ぐといふのではない。何故なら前に述べたやうに、之では筋肉を弛めることが出来ないからである。最も早い速度で然も幾分力の餘裕を残して泳ぐといふのが一番有效な泳法を成就する唯一の道である。

かうすると、試合の終りになつて、力を増して勝つ必要のある時には此の餘力を使ふことが出来る。全力を出さず餘力を残して泳ぐといふこと、最後の數碼迄力を抑へておいてそれから全速力を出すといふ事の間には微妙な差異がある。微妙ではあるが此の差異は實際に存するのであつて明に理解しておく必要がある。

多くの泳手は速度調整の判斷が甚だ拙いので、自分の力を全距離に均等に配分することが殆んど出来ないものだから、最後の數碼に来ると既に力が盡きてしまふことになる。此の人々は全速力を餘り早く出し過ぎて自滅するか、或は、最後で頑張らねばならぬと考へて早く使へばよい力を無理に残しておい

たりする。泳手にして、もし力を残したと思つたときには、稍早い目に全速力を出すやうに、即ち、十碼出す所を二十乃至三十碼位全速力をかけるやうに私はお勧めする。

最後の所で猛烈に頑張る時に都合の悪い事は、頑張らうとして餘計に費された力に相應する結果が得られないといふことである。言ひ換へると骨折損をするといふことである。そこでやゝ長距離に亘つて全速力を出すことにすると必ずや、方を無茶に出すことがなくなり、筋肉は休められ従つて効果は増大するに相違ない。

私はコヂヤツクとの競泳の話をした時に、スタートについて泳手は皆同時に跳び込んだと言つた。(水泳第三號二十四頁右欄参照)けれども。此の競技に於ても他の殆んど凡ての場合と同様に私は一番後から跳び込んだのだから、私を除いておくべきであつた私は特に目立つといふ程ではないけれども、常に跳臺を離れるのが遅い。之が私の性癖であることはよく知つてゐるが、之には、フライングを避け得る他に別な利益がある。コーチは私の反應が鈍いのだといふ。彼が反應と言つたのは、合圖を受けてから私の爲す動作といふ意味である。之は私が減多に號砲に先んじないでいつも一番後から跳込む一つの理由である。尙此の上に私は準備を整へてゐるのである。相手が一刻も早く跳込まうと焦るの餘り跳込のフォームもかまはず身體を屈める爲に必要な時間さへも犠牲にしてゐるのに對して私は必要な時間を費すのである。私の學んだ所によると、怎んなに早くても早く水に入るといふ事は重要でなく、水に正しく入ることが肝膏なのである。私は適當に準備をする爲にやゝ多くの時間を費して、フライングを避けるのみならず、跳伸によつて遠く身體を進ませる。私は他人よりも跳躍に力を入れよく之を利かすのであるそこで、私より早く跳び出しても準備の少ない敵は私が跳伸び終つた時には私と並行してゐるか、或は

却つて私の方が先に出てゐるといふ結果になる。

私が跳伸びた時には私の身體は十分に伸びた姿勢をしてゐる、即ち腕を前に伸ばし、足を真直ぐ後に伸ばして、出来るだけ矢の形に似るやうにするのである。私は體を殆んど水面と平行にして、水に淺く入る様にする。

私のスタートの跳伸法はもう少し詳しく研究する價值がある。私の觀た所によると、之は他の何れの泳手とも違つたやり方である。先づ私の手の位置に御注目下さい高く頭の上に擧つて居ります。私が頭を下げて目を開いて水面を見てゐる所。又片足が他方の足よりも高く上つてゐる所にも御注意願ひたい。之等の諸點は偶然斯うなつたのではなくて、皆、深い意味が籠つてゐる。

私は水面に落ちる時に、腕を下に叩くと同時に上げてゐる足を下して水面を強く打つ。私は水面を見つゝ時間を計つてゐて、丁度身體が水に入る瞬間に腕と足を叩きつけるやうにする。私はこのやうに腕と片足とで水面を打つから、私の身體は水面上に高く出るが之に反して他の泳手は深く水中を潜る。だから此の人達は水面上に上つて來る迄に時間がかかるから前進運動を始めるのが遅れる。

跳伸びを淺くし、片足と腕とで水を叩いて身體を水面上に置くものだから、私は敵よりも早く泳ぎに移る準備が出来てゐるわけである。

プールの端に於てターニングを上手にすることは競泳に於ては誠に重要である。六十呎或は七十五呎のプールで試合をする時には二百二十碼若くは四百四十碼を泳ぐには多くのターニングをしなければならぬ。

そこでターンが遅かつたり不細工であつたりして折返し毎に一呎か一碼も損をすると、泳ぎ切る迄には随分大きい損失になる、例へば四百四十碼を六十呎のプールで泳ぐには、片道二十二回と、折返しを二十回しなければならぬ、それでターン毎に一碼損すれば二十碼も失ふことになつて、敵に恐ろしい利益を與へることになる。

長らくの間私はターニングが拙かつた。遅かつた上に滑つたりもがいたりして、蹴出しによつて十分な距離に出ることが出来なかつた。下手とは言ふものの、相當な経験家でも殆んど氣付かない程度であつた、然し私は損をしてゐることを自覺してゐたし同じチームの中でも氣の付いてゐた人もあつた。

百碼競泳では有効にターンすることは長距離競泳に於けるよりも却つて重要である。長距離では遅くターンをして息を繼ぐと有利な時があるけれども、百碼では耐久力は問題にならないから、有効にターンする爲には全力を盡すだけの値打ちがある。

嘗つて、最大の水泳選手であつたペリイ・マクデリズレイは、私の見た中で短距離のターンが一番上手であつた。ペリイは私がターニングを改良すればタイムを上げ得る可能性のあることを見取つたので私に彼の方法をするやうにと勧めて呉れた。彼の言ふ所によると私は水の表面に平たくターンしやうと努めてゐるが之は短距離では全くいけない。彼は私に次の様に折返せと教へてくれた。

「泳いで行つて、右手でプールの端にタッチした時に、左耳を下に廻して深く水を潜れ。左手でプールの端にタッチしてはならない、左耳を軸として身體を廻すのを助ける爲に水中で擡の様に左手を用ふるがよい。水に深く潜つてから蹴出さなくてはならない。水面に揚る時には平たく出てきて、水面に達した時には、丁度腕の運動を始めるに適當な姿勢をしてゐなければならぬ。此の出方はスタートとは違つてゐるスタートの跳伸は淺いが、蹴出しは深く始めなければならぬ。」

「百碼競泳では、ターンと蹴出しの間には息をつぐ必要はない。ターンを早くして、呼吸の間隔に何等變化のないやうにすればよい。」

百碼を泳ぐときに右手を壁にピッタリとつけてはならない。之は速力を止める。速度を利用すれば自然に身體が廻るから、ターンの爲には壁はいらぬ壁に近付いて來た時に、右腕は直ちにターンを始め指と手首と前腕の横倒とで壁を撫でれば十分であるかうすれば、壁は決して速度を妨げ身體を止めはしない。そして壁にタッチするのは、調子を整へ、全距離を一時も抜かりなく泳いだことを證明する爲である。

かくて私は此のターニングを會得した。そして之によつて實際進歩をした。之は恰も私が從來の記録を破ることが難くなつてきた時に起つたのであつて、私が其後作つた新記録の何分の一秒かは之を用ひたお蔭である事は疑ひもない。

第五章 他の選手の泳法 (完譯)

私は完全なアメリカンクロール泳法を述べ終つた

から、私が述べた諸點を強調すると同時に、他の新しい諸點を十分に明にする爲には、他の短距離選手の泳法に言及する必要がある。

競泳で私の見た所によると、凡ての選手の泳法は各自一二の點について相違があり、中には多くの諸點について異なるものがある。

泳法が違ふと言ふのは、各選手特有の天稟に適するといふ理由から長所があるのだ、さうでないとするれば、彼等はその泳法の缺點にも拘らず速力を得てゐるのである。私の考へによるとアルネボルグは技術上の缺點あるにも拘らず素晴らしい成績を擧げている著しい例である。此の他に、ウォルター・ラウフアー、ノルマン・ロス等が之である。彼等は、泳法に缺點あるにも拘らずその偉大な力量によつて好結果を得てゐる力量といふのは組織的な力を指すので單に力の大きさを言つたのではない。

私は顔を浸けてゐる時に鼻から息を吐き、顔を横に向けた時に口から息を吸つて、一ストローク毎に呼吸をしてゐるが、之には怎んな理由があるか、大概の短距離の選手は三乃至四ストローク即ち兩腕が三四回廻轉する毎に呼吸を一回するのみである。例へば六十呎のプールで四十碼を泳ぐ時には、彼等は往路一回復路二回位しか呼吸をしない。六十呎を十ストロークで行くペリイ・マクヂリヅレイは此の間に三回呼吸するだけであつたから、三ストローク一回しか呼吸しないのである。此の人々の言ふ所によると、之より多く呼吸すると、時間を浪費し、善き姿勢を崩し、ストロークの調子が亂れるといふことである。然し、彼等の泳法によるとかうなるのであつて、私の泳法ではこんな事にならない。

先づ第一に、私はストローク毎に呼吸しても時間を浪費してゐない。呼吸回数の少い選手は、次の息をする迄息を保つ爲には深く胸一杯吸はねばならないので長い間口を出しておく必要があるから、息を吸ふときには殆んど流して泳いでゐる。之に反して私は次の呼吸を直ぐするから肺に息をつめる必要がないので短い息を素早くする。第二に私は顔を横に向けて呼吸するのを私のストロークの調子に織込んでゐる。呼吸回数の少い人こそ却つて調子を亂してゐるに相違ない。

泳手が水中で強くなる爲には、空気を多く吸ふだけでなく、息を出来るだけ自然に吸ふ必要がある。

陸上競技のトラックで、百碼のスプリンターが、

ほんの稀に息を吸ふだけで、あとは息をとめてゐるか或はゆるく吐き出しつゝ走つてゐるとしたらどうだらう。

こんな人はきつと決勝點に着く迄に落伍してしまふたらう。

扱、自然な呼吸といふのは常に絶えず息をし続けることである。即ち吸ひ終つた瞬間から吐き始めて呼氣と吸氣を交互に續けて行くのである。空気はいつも速かに出入してゐなければならぬ。若しクロールを泳ぐ時に、一ストローク毎には息をしないとすれば、息をつめなければならぬ、息をつめると、筋肉を弛めるわけには行かない、然るに筋肉を弛める事は水泳では一番根本的なのである。その上に、血液から酸素を奪ひ、心臓を壓迫することになる。空気が肺に入つて酸素を取られた後に残るものは凡て二酸化炭素であつて、肺は之を燃やすことは出来ない。私はストローク毎に呼吸して酸素を取り、常に強さを保つたのである。

又、呼吸回数がストロークの回数よりも少い者は頭を上げる爲に、身體を振ぢなければならぬ。身體を振ぢると姿勢が崩れて不必要な抵抗を受け、前進に役立たない無駄な努力をすることになる。

技術上、他の一般の選手と私の違つてゐる今一つの點は、一定距離を泳ぐに要するストロークの數である。

例へば、六十呎のプールに於て、私は片道を、兩腕の廻轉數五乃至六を以て泳ぎ切るに對して他の泳手は七乃至十を要する。

プールの長さに對するストロークの數について、私は尙他の諸條件を書き加へたい。私が百碼を六十呎のプールで凡そ五十五秒で泳がうとする時には、片道につき五ストローク用ひるのみである、之は折返しので強く蹴出すから五回で足るのである。蹴出して出る長さの間は私は水中に居る。それで蹴出して出る距離が長ければ長い程、肺に新しい空気を入れずに辛棒してゐる時間が長くなる。然し百碼の競泳は直ぐに濟むから、私は長く蹴出すと速度が得られるからこの辛棒を甘んじて堪えることが出来るのである。

然し乍ら、百碼を稍遅く、或は、二百二十碼を、泳ぐ時には、片道約六回ストロークする。之は息を吸ふ爲に早く上つてくる必要があるので、蹴出しの力を抜いた事を示してゐる五百碼以上の競技では、

尙一層蹴出しを短くしてストローク数を七つに増す蓋し、長距離競泳にあつては、一層筋肉を弛め、より頻繁に呼吸する必要があるからで、通常呼吸回数が多ければ多い程力と耐久力とを維持することが出来るものである。

ストローク数を減ずることは、單に力を節約するのみならず別の利益がある。私のストローク回数の少い一つの理由は、肩の筋肉が強く、腕が長いので力がよくはいることにある。然し私のストロークの少いには、尙もつと重要な理由がある。私が此の要素を尊重することを痛感するに至つたのは一にコーチの御蔭である。

水は前述の様に形を變へ易いが固い物質である。一定距離に於てストロークを多くするとすれば、ストロークに際しては、同距離を少いストローク数で行くよりも腕が水中では早く動いてゐるわけである。若し、餘り早く手を搔くと水の中に穴を穿つに過ぎず、穴からは前進力を得ることが出来ない、腕を猛烈に引く時はきつと腕が利かずキャッチした水は前腕から逃げ手首から洩れてしまふ。

ストロークの回数を減ずる秘訣は、ストロークを緩く始めて、水に乗つて來たと思ふに従つて次第に力を加へるにある。この搔き方をすると手を搔く丁度中程になつて始めて手のストロークに全力がかかるやうになつてくる。ストロークの中間を過ぎると直ぐに、腕の動作は引き搔き（プル）から押しやり（プッシュ）に變る。かくて、キャッチした水に乗つて進むのである。このプルからプッシュに變る所は十分心に止めておく必要がある。

尙、も一つ記憶すべきことがある、此の點については私は敢て他の一流選手と意見を異にしてゐるといふのでない。それは手を伸ばしてキャッチを初めた時には格別な力が入つてゐないといふことである。上述の理由よりして餘り前に手を伸ばすのは誤つた考へである。私は腕を一杯に伸ばし切つてはゐない。最も前に伸ばした時でも肘を少し曲げて腕が伸び切らないやうにする。かうすると、前に伸ばし過ぎないから時間を空費しないのみならず、餘り利かない所へ力を浪費することを避けることが出来る

私はアルネボルグがその水泳論文中に於て、腕を前に一杯に伸ばせと力説して居るのを見たが、之については彼は間違つてゐると思ふ。ボルグ自身の寫真を見ると腕を曲げて手の伸びを少くしてゐる。こ

れこそは手の正しい伸ばし方なのだ。ボルグは一定距離に於て私よりもストローク数が多い。其の原因は彼が手で十分にストロークしてゐない所にある。彼は水煙りを立てつつ斜に搔いてゐて、殆んど半分しかストロークしてゐない。彼の手は外から内に搔いてゐて私の様に肩から眞直ぐに下りてプルしてから後へプッシュして水面に出すのではない。

ノルマンロスも腕を前に伸ばす時に右手を少し内側に入れる。即ち彼は肩幅の線の左側に右手を伸ばすのである。又彼は肩と肘とを手首より先に水に入れてゐる、手を内側に入れる事と肩と肘とが先に浸ることとは、前腕、肘及び肩に大きい抵抗を作る。私は此の抵抗を避ける爲に、肩の眞直ぐ前でキャッチをして手首を肩や肘より先に入れることにしてゐる。ロスの左手については此の缺點は右程大きくはない。

ウォルター・ラウファアの腕の動作は一段と變つてゐる。彼も亦右手を内側に入れてゐるが、彼の重なる弱點は片腕が一方より強いことである。彼は前進力の負擔を兩腕に均等分せず、右腕で恐ろしいプルをして左腕では少くしかやらない。それで彼の進み方はトラデオンに於けるが如く段がついてゐる。彼は又私程には高い位置で泳がないで少し肩を浸けてゐる。然るに、彼は之等の缺點あるにも拘らず素晴らしい成績を擧げてゐる。もし彼が之等の缺點を除くことが出来ればもつと良くなるだらう。

私は前章に於てバタ足の話をした。惟うに、バタ足はクロールストロークに關する最も難しい問題であつて、既に果しもない論争を惹起してゐる。バタ足はアメリカンクロールとオーストラリアンクロールの主な相違點をなすものである數年來アメリカンクロールのバタ足がオーストラリアンクロールのそれよりも優れてゐることが一般に認めらるに至つたが、然もアメリカンクロールのバタ足には色々違つた型があつて十人十色、その種類は泳手の數と相匹敵してゐる。

オーストラリアンクロールのバタ足はトラデオンストロークの煽り足を伸ばしたものである。ドイツケイヴェルはクロールによつて征服せらるる迄は最も速い泳法だとせられてゐたトラデオンをクロール迄發達せしめた人であると認められてゐる。大概のオーストラリア人は足を眞直ぐにしばくけれども膝で蹴るのである。之に反して、アメリカンクロール

ルのバタ足では膝からでなくて腰から動かすのである。脚は膝に力を入れなくても足指から腰迄を一つの単位として用ひる。かうすると力のはいる長さが二倍になる。

又この様にすれば腿の筋肉から優秀な力を得ることが出来る。この事は力の入る長さを二倍するのに比して優るとも劣らぬ程の重要性をもつてゐる。そして膝からバタ打をする時には足が水の上に上り易くなる、その結果オーストラリアンクロールをする者は常に足で水を叩き破つてゐる。足で水を破るのは足の利いてゐないことを示してゐる。

以上の理由により、腰から足を動かす時には力のはいる長さを増し力が良く利くのみならず、足が適度に沈んで十分に利くやうになり、水面を足で叩き破ることがなくなる。

今度典型的なオーストラリアンクロールを御覧になつた時には、泳手が足でその跡に大きい波を残して行くのを御注目下さい。之は彼が水の表面を叩いて足を打つ毎に大抵利き足を破つてゐることに基くのである。

勿論オーストラリア人は、私が前章で詳説した難しい踏足運動をしてはゐない、即ち脚を鞭の様にしはいてゐない。それで結局、このしばき方が、アメリカンクロールのバタ足に於ける優秀な前進力の眞の秘訣であることになる。之を表現することは至難であり、之を習得するのは無数の失敗を重ねて後始めて可能となる。

ロス特殊な足の使ひ方をしてゐる。彼は數回狭く足を打つてから、右手を搔きつつ右側にロールする時に非常に廣いバタ足を入れる。このバタ足は煽り足のように見えるけれども、足を眞直ぐにして前後に開くのであつて斜に外側に出して蹴合すのではないから煽り足ではない。このバタ足は水面に垂直にせられるのでなく平行になされ、普通のクロールに於けるよりも幅が非常に廣いので煽り足のように見える

アメリカンクロールのバタ足に就いて、兩腕を一回廻す間に幾回足を打つべきかに關し多くの議論がある。

眞直ぐな六ビート、眞直ぐな八ビート、トラジョンの二ビート等凡ゆる組合せが考へられる。

誰でもコーチ、バックラッチを「兩腕を一回廻すうちに足を幾回打つか」といふ議論に引入れやうとすると彼は笑つて議論をそらしてしまふ。彼は私にク

ロールストロークでは足は従たるべきもので腕が主なる前進力を作るのであると教へた。バタ足には確かに力はある、十分な力があるから私は密に、敵に勝ち得る差のつくのは恐らくは此の部分にあるのではないかと思つてゐる。けれども此の足の力は主として身體を高い位置に保つ爲であつて従つて第二次的であるから、腕の動作を顧みずに足に専ら注意を集中するやうなことがあつてはならない。

私は鹽水か淡水かによつて足のビート數を變へると効果が有ることを發見した。鹽水は浮揚性があるからクロールストロークに適する高い姿勢を保つ爲には足の必要が少い。私は嘗つて、ホノルルに於て之を試みたが百碼以上の長距離には非常に満足な結果を得た。

イリノイ アスレティック クラブのプールで練習する時に、空氣の入れたゴム管に足を入れて、足を少しも用ひずに手のみで泳ぐときには幾ら泳いでも疲れずに行けることを發見した。此の場合に若し足を使つたとすれば必ず疲れてしまつたに相違ないのである。

私はホノルルに行つてあの異常な浮揚性のある鹽水で泳いだときに、足を早く打つと足が高く上り過ぎて水を叩くことに氣がついた。そこで私は足のビートを六つから二つに減じて片腕に一回打つことにした。水中で高い姿勢を取るには之で十分なことが明になつた。

私は二百二十碼競泳の世界記録を破り、四百四十碼並びに八百八十碼の國際選手權に於て世界記録を作つたのである。

そこで私は之を百碼の選手權に對する練習に應用してみた。けれどもあまりうまく行かないことを發見した。短距離競泳では速度を増す爲に力のよく這入るやうに腕を廣く使ふものだから、二ビートでは足の幅が開き過ぎるのである。之がわかつたので私はもとの早打ち即ち六ビート片腕につき三ビートに戻らなければならなかつた。

結局、凡ての人が足のビート數を調節する時に求めて居るものは腕と足とが適當に協働することである。足は高い姿勢を保つ事と前進を絶えずすることとを助けるものであつて、之はクロールストロークをする人の進み方とトラジョンや平泳をする人の進み方とが違ふ點であるトラジョンや平泳では、進み方に段がついてゐて斷續する。

水 泳 と 呼 吸 作 用

醫 學 博 士 太 田 正 隆

一、水泳とは水上で呼吸することである。

人體の浮力は肺臓内の空気の量に大なる関係があるので、身體の割合に肺が大きくて空気の量が多い人は浮身が上手に出来るし（勿論骨組織等の比重も関係するが）又板子を使用せずに浪乗をする時、身體がよく浪の前に出て完全に岸迄乗つて來ることがらくに出来るものである。水泳では水の抵抗の大小が前進に重大なる関係があつて、其の水の抵抗は身體が水に接する表面積に正比例するのであるから、身體が浮けば浮く程前進が樂に成るのである。此の浮力に密接な関係を持つ肺臓内空気の分量を左右する呼吸、尙身體諸筋肉の勞作によつて生じた諸種有害物質を酸化するのに必要なる酸素の供給を一手に引受けて居る呼吸は水泳にとつて極めて重要なる問題である。其故或る意味では「水泳とは水上で呼吸する事である」とも云へるので、水上の呼吸が巧に行はれねば、如何程四肢を動かしても泳ぎは上達せぬのである。

二、水上運動呼吸の特異點

水泳では立體、平體及横體何れの游法でも胸腹部に非常に大きな水壓が加はつて居る事及平體游法では胸が身體を浮かす役目を演じて居ること、が陸上運動の呼吸と大變相違するので、之が爲め呼吸作用が陸上と違つて骨が折れるのである。従つて僅かの水泳も呼吸筋にとつては可成の體操となるのである。一般に水泳では腹式呼吸が多いのであるが、殊に平體游法中浮きの必要なるもの、例へばクロールストローク、プレストストローク、水府流早拔手及平伸等は胸で浮力を助ける爲め、胸廓を廣く張て所謂上部肺臓充實法を用ふる必要があるから腹式呼吸が多く行はれるのである。其れ故腹筋の弱い人が長距離を速かに泳ぐ場合時々下腹部の疼痛を訴へる事がある。之は殊に女子に見らるゝ事である。又上手な泳ぎを見ると靜泳ぎでは浮身、四足搦、平伸、競泳ではクロールストローク、プレストストローク等何れに於ても泳手は自分では意識せず知らず識らずの中に肺臓の上部に常に成可く多量の空気を充實させて浮きをとつて居るのである。

三、水泳の呼吸の種類

泳者の呼吸は水泳の種類及其の場所に由て種々異なるもので、之を大別すれば

- (一) 空中で充分呼吸し得る場合
- (二) 不規則なる呼吸をする場合
- (三) 無呼吸の場合

(一) 空中で充分呼吸し得る場合

空中に口を出して比較的靜かに呼吸し得る場合は、プール、池、波なき海、湖、流れ緩かなる川等で非競泳用游法（假りに今靜泳ぎと名ける）を行ふ時である。競泳用游法（假りに速泳ぎと名ける）とはクロールストローク、プレストストローク、バツクストローク、水府流早拔手、片拔手一重伸及小拔手等で之以外のものを非競泳用游法又は靜泳とするのである。而して最も靜かに呼吸し得るものは立體泳法で次は平體泳法、次が横體泳法である。

種々の靜泳で、如何なる時に呼氣を行ひ、どんな時に吸氣を爲すかと云ふに、之は水泳の種類及其の泳手によつて種々の違があるやうだが、今は私自身の泳ぎに就いて記す事とする。一般に水泳では吸氣は大きく深くして（但し競泳では大きく深くは出来ぬが）呼氣は淺く小さくするのである。之は浮きをとるのに必要である爲である。

(イ) 立體泳法

立體泳法では鼻及口が常に空氣中に在るから呼吸は自由であつて、従つて游泳中言語を用ふる必要のある時は最も適當なる泳法である。

(ロ) 平體泳法

水府流に就いて云ふが、他流の場合もおそらく之と同様の事と思ふ。

大體の方針は伸の充分強い時は浮きが良い時であつて、此の間に吸氣を行ひ伸が止つて身體が沈みかちの時に呼氣を行ふのである。

先づ平伸では第二動及第三動を爲す間に吸氣を行ひ、伸が盡きんとして次の泳ぎの第一動に移る頃呼氣を行ふべきである。

兩輪伸では第一動の時呼氣を爲し、第二動で伸の強い時に吸氣を行ふのであるが、然し此の泳ぎの第

一動と第二動とは通常間が極く少いのであるから、理論通りには行かぬ。

殊に此の泳ぎでは第二動の時が最も良く伸びるのであるが、此の際左右兩上肢は眞直に先方に伸びて居るので、従つて胸廓は狭くなつて居る時であるから、此の際吸氣を行ふのは生理的でないと思ふ。大體此の泳ぎは浪がなければ、伸の少ない第一動の時でも鼻口は常に空中に出て居るのであるから、左右上肢が半圓形を畫いて、胸廓を擴張した時に吸氣を行ふ方がよいと思ふ。

大拔手では右下の人は左手を抜く時、吸氣を行ひ右手を抜く時呼氣を行ふのがよい様である。

(一) 横體泳法

一重伸では第一動の終りから第二動の始め頃までの間に呼氣を行ひ、第二動の終りから第三動を経て第一動の始めに移る伸の最も強く浮きの良い時に吸氣を行ふのがよい様である。

二重伸では浅い小さい呼吸一回と、大きい深い呼吸一回とが一泳ぎの間に行はるので最初小さい扇足をした時に小さい呼氣を行ひ、

第二回目こ大きい扇足をすると、其の第一動の時小さい吸氣を行ひ、扇足第二動で大きく扇り納めた時に大きな呼氣をなし、最後に先手をかき納めんとする、最も伸の大きい時に大きな深い吸氣を行ふのである。

片拔手は受手を後方に抜き上げた時に下肢は扇足第一動をして居るから伸の最も少い時で、此の時呼氣を行ひ、受手を空中で前方に運びつゝ先手をかき納め扇足第二動をする時に吸氣を行ふのである。

拔手伸は扇足第二動をなし、受手を後方に抜き出す時吸氣を行ひ、扇足第一動と共に受手を空中にて前方にはこぶ時呼氣を行ふのである。

最後に日本古來の競泳用游法として長距離に用ひられた片拔手一重伸を靜水で靜かに行ふ時には餘り不規則ではないから今茲に記せば第二動で扇足第二動を爲すと同時に先手を先方に伸ばし、受手は腹を摩る位にして左外股の上に搔き抜き、而して第三動で先手を右下方に大半圓形に扇ると同時に受手は水上を前方に運ぶのであるが、此の第二動の終りから第三動の中頃迄に充分吸氣を行ひ、次ぎの泳ぎの第一動及第二動の始め頃即ち伸の盡きんとする頃に、小さい呼氣を行ふのである。

次ぎに横體泳法では、右下の泳手では右肺の方が

左肺よりも伸縮が大きく、左下の泳手では之に反して左肺の方が右肺よりも空氣の入りが多い。其故横體泳法を行ふ場合は、左右兩側を下にする事、即神傳流では左下の眞も右下の眞も出来るやうに、又水府流では右下の一重伸も左下の一重伸も出来るやうに初めから練習させるのが理想的である。

さて此の非競泳用游方即余の所謂靜泳を靜水で行ふ事は呼吸筋を餘りはげしく使用せず、而して少しも無理のない軽い深呼吸及腹式呼吸を行ふのであるから健康な少青年はもとより、然らざる少青年にもよい影響を及ぼすものである。此の點から見ても體育醫學上日本在來の游泳は中々捨て難いものである。

(二) 不規則なる呼吸をする場合

次ぎに不規則な急速の呼吸運動をする場合は、競泳用游法を行ふ時、波のある海、出水の大河を泳ぐ時、流水を溯る時等である。

之等の泳法は非常に烈しき筋勞作の結果心臓の打ち方も早く、呼吸も速かになる他に口や鼻が常に空中に在るわけに行かぬため呼吸が不規則に成るのである。

勿論競泳用游法と雖も靜水で力を抜いて泳げば呼吸は樂であるが、之は意味を爲さぬ事と思ふ。なぜならば水府流の早拔手片拔手一重伸、小拔手等はともとも流水を溯り又は出水の大河を遮るのに用ひらるゝ游法であるし、又クロールストロークはスピードが他泳法より大きくて始めて其の價値があるから、常に其の心で強く泳ぐべきである。其故呼吸も亦急速に成るべきである。

さて此の競泳用游法は現今では總て外國から來た游方を用ひて居るが、之等は日本在來のものとフォームに於ても、スピードに於ても相違するばかりでなく、其の呼吸法にも相違がある。但し五十メートル位の短距離の自由型競泳では水府流の小拔手でも、クロールストロークでも呼吸數は少くて、無呼吸状態があるから、兩者とも息を殺して居る事に於て類似するが、百メートル以上、殊に中長距離になれば昔の競泳用游法の呼吸と今のものとは相違がある。元來クロールストロークでは必ず呼氣を水中で水底に向つて行ふが、水府流の早拔手や片拔手一重伸は水中の呼氣は少いので、多くは空中か又は水面で側方に向つて行ふのである。

今茲では現今の競泳用游方の呼吸に就て二三の事

を述べれば、クロールストロークでもブレストストロークでも口を空中に出す時間は極めて短時間であつて、其の短い時間の中に出来るだけ多くの空気を吸入せねばならぬのである。而して肺の上部は浮力を助ける爲に成る可く擴張して空気を充實させて置く必要があるから呼吸は僅かばかり水中で行ふのである。而して其れは鼻で行ふのがよい様である。此の最短時間に出来るだけ多くの空気を吸入して、然かも極めて僅かの水中呼吸をしながら、早い調子で筋肉及關節の運動を続け得る人は肺及心臟が非常に強い人であつて、斯かる人こそ五十メートルの調子を百メートル、二百メートルに持つて行ける人であり、百メートル、二百メートルの調子を四百メートル、八百メートルに持つて行ける人であると思ふ。而して此の呼吸法で八百、千五百メートルを行ふ際に所謂セコンドウィンドが來た時には水中の呼吸を口で大きくして充分息を吐き出せばよろしいのである。

次に競泳以外で不規則な呼吸をする場合は波のある海中で泳ぐ時であつて、之は波が頭部にかゝり又思はざる時鼻及口腔から水を飲む爲めに呼吸が亂れて來るのである。

さて競泳、波高き海などを泳ぐのは上記の如く呼吸筋は非常に不規則で、過劇なる運動をするのであるから、弱體の少青年には出来ぬ事であるが、健康少青年には是非之を行はせて呼吸筋の鍛練に資すべきである。

(三) 無呼吸の場合

之はダイビングと潜泳とであるが今茲では潜泳に就て簡単に述べる。

潜水は少青年を水になれしむるのに是非とも行ふべき事で、之によつて水を恐れる少年を強くすべきである。温い湯の中で潜りつけて居た小兒が川に落ちたら、案外あはてなかつた例がある位である。

茲で述べたいのは潜泳者が水中で口腔内の空気と肺臓内の空気とを混和して呼吸器内の酸素の配分を人爲的に變化させる事である。之は潜泳者が息が苦しくなつた時に行ふもので、私は水中兩輪仲をして一掻き毎に行つて二三回はやつたものであるが、練習のつんだ人では五六回位出来るものである。

此の法には二つあつて、一は頬を膨脹させて肺の小胞中の空気を口中に呼出し、次に頬を縮めて口腔中の空気を肺中に送り込み、斯くて比較的清

潔な空気と、小氣胞中の不潔な空気との自然的循環を促進させて、酸素の配分を變化せしめ、肺小氣胞中に少しでも酸素を供給する法である。第二の法は少量の水を口中に含み、之を飲み下す時、此の嚥下動が呼吸中樞を刺戟して、極めて僅かではあるが肺臓内の空気と口腔内の空気との自然の循環を促進させるのである。

潜泳は泳者を水に強くし、又呼吸筋の鍛練によいけれども、稍々ともすると長時間を取行せんとして急性酸素缺乏症を來して泳者の腦細胞の働を鈍らし泳者をして病識を缺いたオイフオリイの状態に陥れ遂に潜泳者の氣絶を見る事があるから、弱體者又は少年には無理強いをしてはならぬ事であるし、健康なる青年と雖も充分注意を要する事である。

編輯部より希望

本誌は聯盟の今日の實力に於て絶対に必要な機關であるとの見地から、損益を離れて發行して居ますし、如何なることがあつても繼續する覺悟であります。然し乍ら可なりの負擔であります。一號に就き既に凡そ三百圓の支出をして居ますがそれに對する収入は20%足らずであります。聯盟としては利益を擧げようとは思つて居ませんが、將來收支の相償ふ程度にしたいのであります、其爲には手數や危険の伴ふ販賣主義を採らず、定期購讀會員本位で進む方針を始から取つて居ます。それで我邦水泳に多少とも關心を持つて居られる方々は、此聯盟の事業を援助する意味に於て、定期購讀會員として御購讀下さらん事を希望致します。

御申込は極めて簡単です。神宮プールに事務所を設ける迄の間は下記へ端書で御住所御氏名をお報せ下さい。そして何號から送る様に御指定下さい。早速御送りします。

東京市外代々木山谷三〇〇 日本水上競技聯盟
又は 横濱市西戸部境谷一七〇九 日本水上競技聯盟編輯事務所

○

何分本職をもつた者が集つて其かたわらすの仕事ですから、今迄は特に之からも亦不行届があらうと思ひます。協力する意味に於て御注意を下さい。營利業者に對するが如き態度はお止め下さい。

神宮プール第二期工事完成后ノ偉觀

神宮プール第二期工事

完成后ノ諸要項

1. メインスタンド

長サ 80 米

高サ 14 米 (塔ノ高サ 19 米)

建坪 647 坪

室數 2 (貴賓室ヲ含ム)

内譯 男女別更衣室、浴場、事務室、貴賓室、醫務室、食堂
其他

觀覽席 面積 385 坪

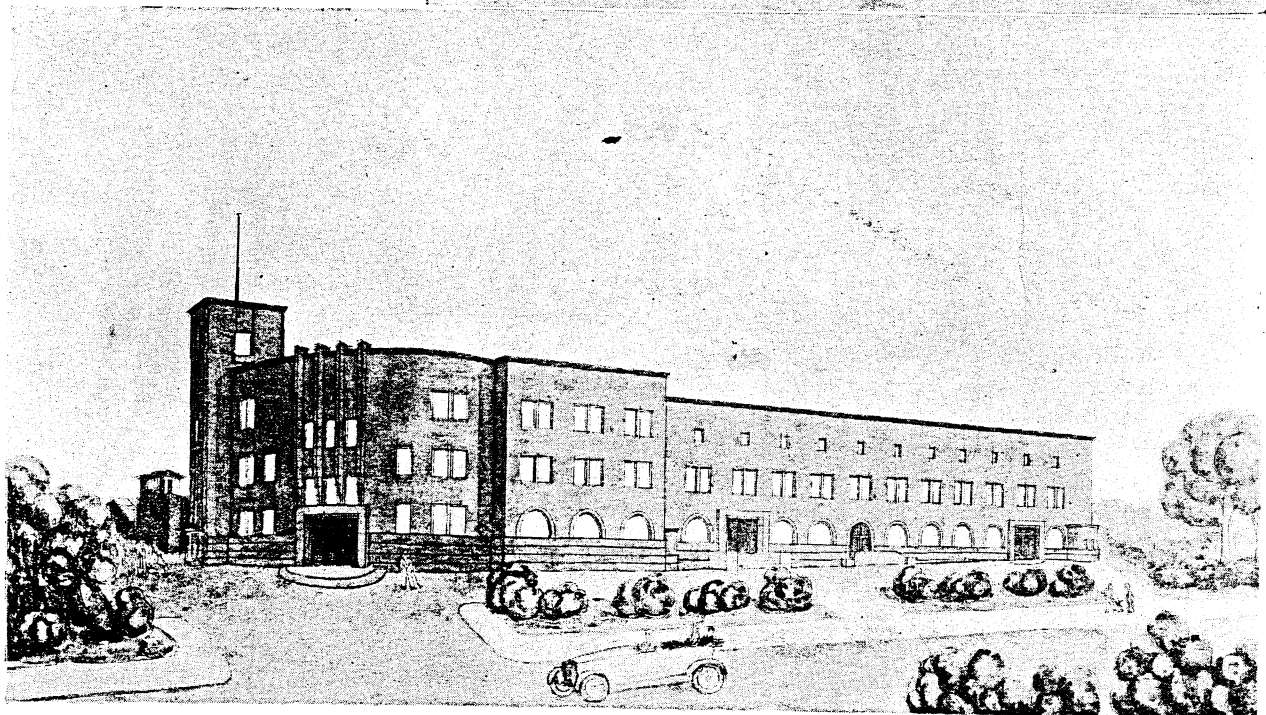
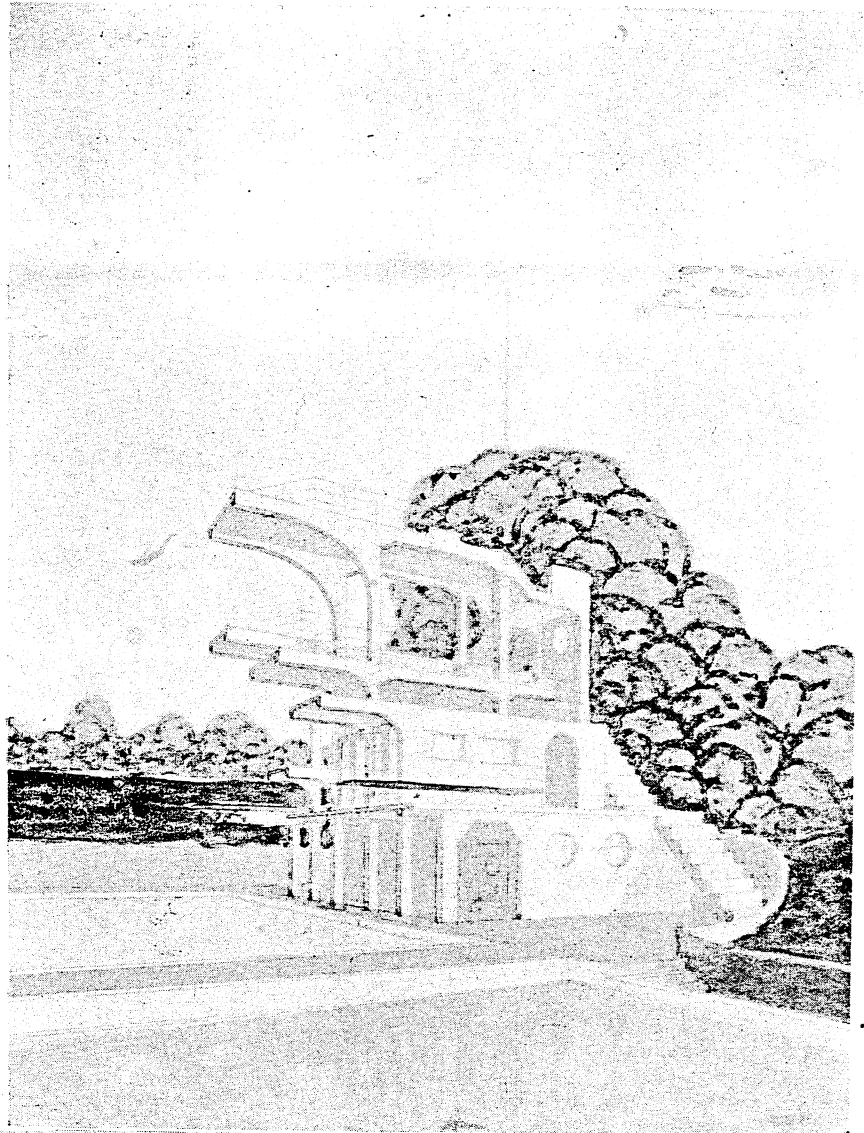
同 階段數 86 段

2. スタンド總坪數 96 坪

3. 收容人員定數 15,000 人

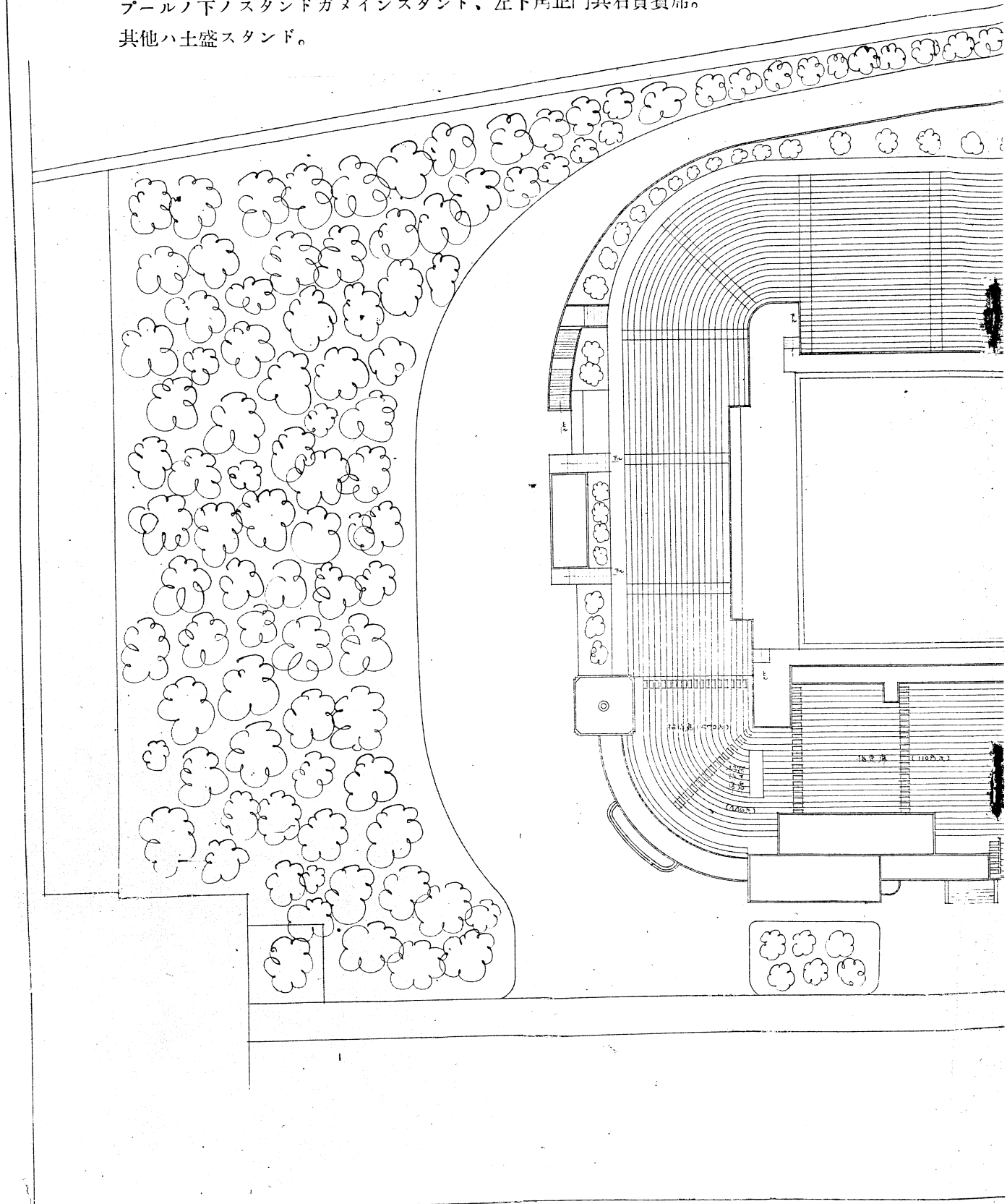
完成后ノ飛込臺→

完成后ノメイン
スタンド前景
↓

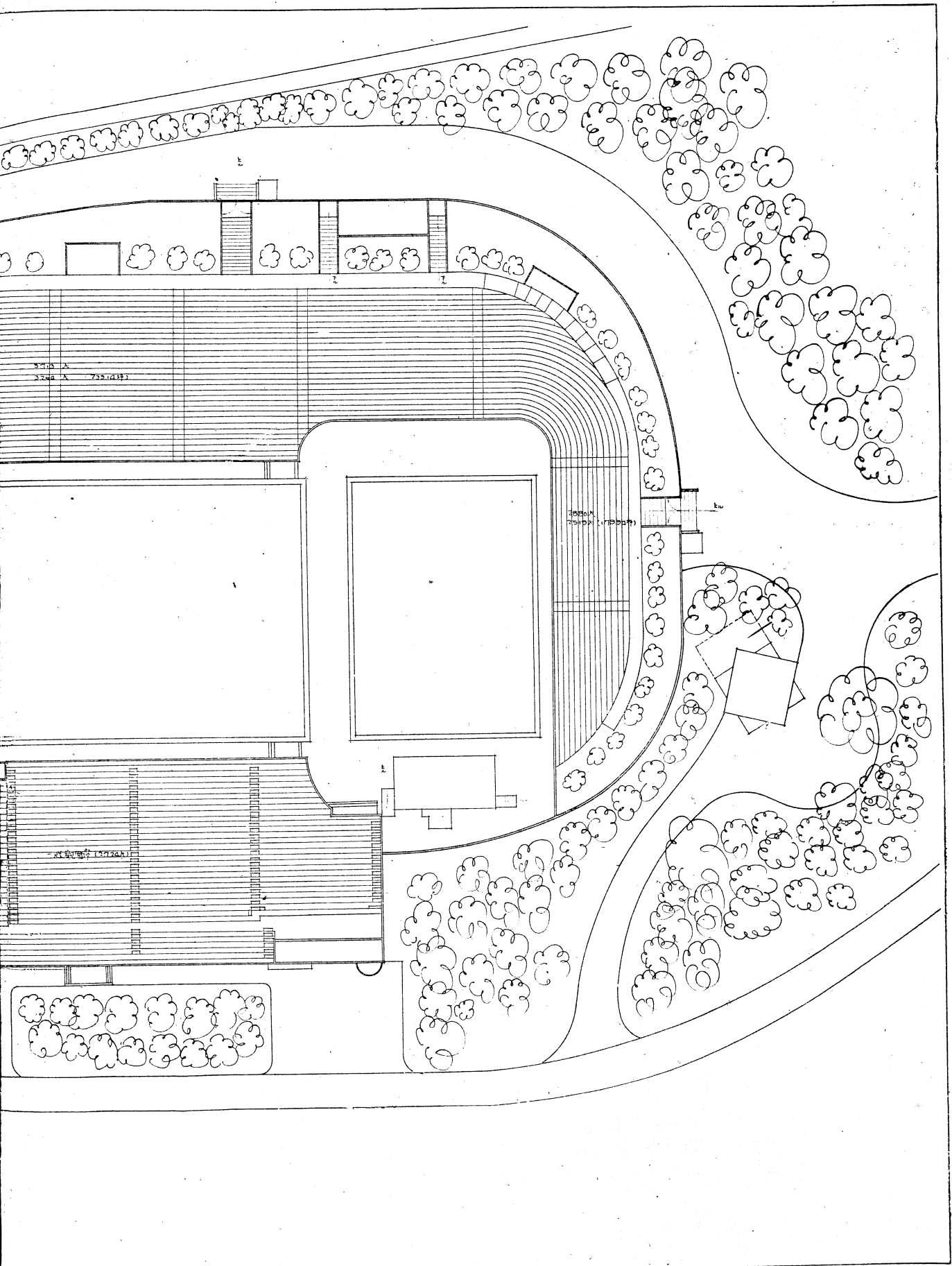


完成后ノ神宮プー

中央大プール 50米×25米、其右飛込ウォーターボロ専用プール 25米×18米其下飛込臺。
プールノ下ノスタンドガメインスタンド、左下角正門其右貴賓席。
其他ハ土盛スタンド。

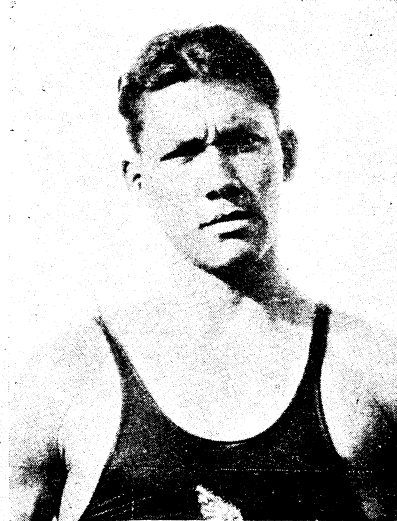


一儿全景鳥瞰圖



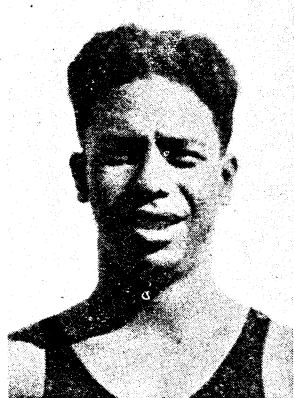
來襲を期待さるる 米軍の主力

(中央) 100 米背泳世界記録(1:8.2)保持者
デー・コーヂヤック。米軍の中心にして吾
等の最期待する選手である。



(右上) レオナード・
スペンス平泳の新進
兄のウォルター。スペ
ンスを既に破つて居る
200米平泳2:53.8

(右下) 昨夏來朝した
ハワイのカリ、兄。短
距離及び背泳



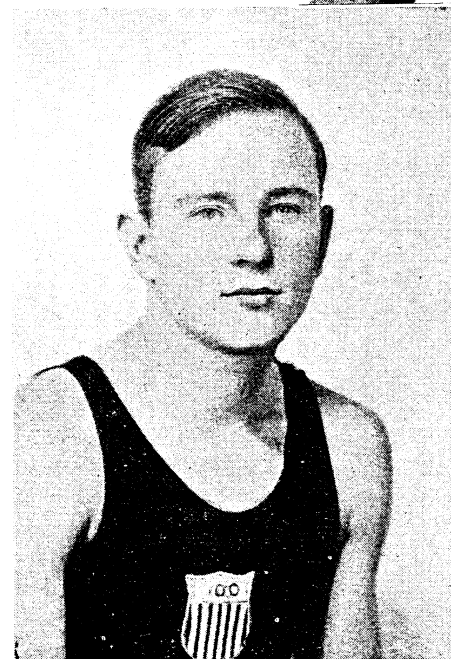
(左上肩) 今度來れば
三度目の來朝である。
お馴染のC.クラブ中。
長距離の米軍第一人者
(其下) 昨年來朝した
カリ、弟。目下ローサ
ンゼルスで磨をかけて
居るから昨年の雪辱に
炎えて捲土重來するだ
らう。



(中央左下) 是亦今度來れば三度
目の W. ラウファー背泳及び短距
離の選手である。

(左ト) 第九回オリンピックで四
百米3着 5:0.8)となつたオーステ
ン。クラブ選手。

(右下) R.ラデー短水路に於ける
440yds 世界記録保持者(4:55.6)で
ある。



明治神宮 水術奉納拜觀記

滋賀縣立大津商業學校教諭

石川 芳雄

○水溫十五度

菊薫る十一月三日、明治神宮鎮座十年祭古武道奉納水術大會の盛儀は神宮プールで華々しくも催された。此日午前十時といふに、今日を晴れの全国各地より集つたる各流各派游士の面々は緊張の意氣と燃ゆるが如き熱とを以て續々として繰込んで來た。

夜來の雨は漸く霽れて、稍や膚寒い薄曇り。程なく、今日の盛儀の前座とも見らるべき、日本游泳競技大會はアナウンサーの明朗な通告に仍て開始された。

○古武道水術奉納

珍らしくも古典味たつぷりな各種の競泳が終つて愈々各流各派の粹を競ふ古武道水術奉納大會はアナウンサーの一聲叫ぶた通告によつて開始せられることとなつた。さしも廣い神宮プールのスタンドは早や立錫の餘地もなく、觀衆を以て埋められる。此頃から、今迄曇り勝だつた雲間からは、午に違ひ晩秋の日ざしか、なごやかにさし出で上げにも快い奉納日和とはなつたのである。私は水府流游士の付添として行つたのであるが、水府流の出場は、プログラムに隨へば、大分後の方であるので、悠り落付いて拜見することが出來たのは幸せであつた。

上つて來る選手の膚は、伊勢蝦も三舎を避くるばかりに、眞赤になつて湯氣をあげてゐる。

○觀海流の群雀

劈頭第一奉納の榮を擔ひしは、神都は伊勢の觀海流。嘉永年間、武藏の住人、宮發太郎信徳に據て創始せられ、觀海如陸の語にそむかず、五里、七里の遠泳を以て誇りとする流儀である。該技者は此流の家元谷川、鈴木の兩先生を始めとして、白地の水着に身を固め後鉢巻物々しき若武者六七人。赤き陣笠を載きたる二人こそ、谷川鈴木の兩師範。一同打揃つて神宮に向ひ最敬禮を爲したる後、先づ鈴木新吉郎先生、陣笠飛を以て、ザンブとばかり水に飛入り二三の型を示して上る。次は大將谷川廉夫先生を擁して、同流敵陣打入群雀の構へ、先頭、介添、殿りと、各自分を守つて悠々平泳型を以て遊び來り、敵

陣と見做せるゴール直前「オーツ」と一齊に喚き一度に抜手を切り、飛沫をあげて突進したるは、勇しななどいふばかりないことであつた。

○紀州の岩倉、江戸の向井。

次は紀州の岩倉流、元和年間、岩倉重昌に依て創始せられ、明和七年、川上傳五左衛門、岩倉家より斯術を承繼ぎ、代々同家に相傳へて今日に及んだ流儀である。川上家第五世の宗家、川上傳の亟先生、老體乍ら壯者を凌ぐ元氣を以て、自ら陣頭に立ち、二三の型を示さるれば、續く若手游士の面々は、或は鱗飛、二つ搔、各々得意の業に觀衆の目を瞠らしめる。續いて東京の向井流江戸幕府御船手奉行向井兵庫頭正綱に仍て創始されたと稱せらるゝも、その大成されたのは、八代將軍吉宗公の嘆賞を賜つたといふ向井將監正員の頃であらう。游士は斯界に名ある岩本忠次郎、京田武男、仲野秀治の諸先生外數名の人々である。肩指抜手、斜泳等鮮やかなる敵前泳法の數々、一極美事な水車の妙技、殊に萬緑叢中紅一點の女游士の出場はさても華やかな事であつた。

○太田派と小堀流

水戸藩士今村市太郎後改めて太田捨藏先生が水戸傳來の水府流水術を基として、幾多の變化を編出せる水府流太田派の出演は、斯界の元老本田存、宇田川五郎先生等に仍て行はれた。何れも六十路に手の届く老體を、勇ましやザンブザンブと飛入らせて、同流特技の游法泳法の數々を次から次へと展開すれば、何でう我も劣るべきと、とつて代りし小堀流。肥後は細川家自慢の水術、村岡伊太に創められ、小堀長順常春の完成したる踏水術、京都武徳會出身の白山源三郎氏が抜手游に火蓋を切れれば、續く在京同流の游士、畏多くも高貴に御指南の榮を擔ふ小堀平七先生直傳の田代煌、猿木恭經、稻垣優の諸氏各々秘術の數々。或は水書、錨揚げ、發砲、揃御前游と目も覺むるばかりの美技を、息もつかせず演出する

○小池流譽の業

代つて出でたる小池流外城田派加藤石雄氏とその一統、何れも正規の黒の水着に、揃ひの白布頭に捲

いて、演技は最も派手やかな扇子の業。紀伊南龍公の臣、小池水右衛門に依て創始せられ、昨年高齢を以て物故されし老蛙先生加藤竹雄氏の大成せる流儀一統を率ゆる加藤石雄氏は、老蛙先生の嫡男、自ら發明せる夏の山路の至藝をばいとも鮮に演技される片手に日傘を持つて、脚先に軍扇を挿み、前に後に轉回する有様は人か魚かと疑ふばかり。更に五名の游士が各々兩手に銀日の丸の軍扇を持つて静々と並び遊ぶ揃ひ鷗の美しさ。嘗て天覽を賜つたといふので、同流では譽の業ともなづけてゐる。

○山ノ内流旗持遊ぎ

所へ、白地に「令」と大書した疊二疊敷程の大旗かざして進み來つたのは、これなん九州臼杵に本部を構ふる山ノ内流の面々なり。文政年間山内久馬勝重が臼杵城主稻葉侯の家臣稲川清記冬吉に傳へて完成したと傳へらるゝ流儀である。紺地に白く山ノ内流と染抜いたる水着を着込み、白の鉢巻甲斐甲斐しく、槍、弓、鐵砲を擔いで物々しくも現れ出で、最初は二間柄の大槍を眞直に立てゝ遊ぎ渡る槍持、次は天弓、プールの眞中まで出でゝ、徐ろに引しぼつたる重籐の弓、天に向つて兵ツと放つた鷹の白羽の鏑矢は雲間遙に舞ひ上つて、暫くにして水中に落ちる。續いて番へた二の矢をば再び空に向つて射放し悠々として遊ぎ渡る。續くは前記の大旗である。擔いで遊ぐだけでも一骨なのに、眞中まで遊ぎ出でゝエイツエイツのかけ聲諸共、二度三度と振りに振つたは目覺しかりける次第であつた。

○神傳流の秘術競べ

神傳流は伊豫大洲の藩士、加藤主馬藤原光尙が寛永年間創始した流儀、伊東祐根に依て松山へ、植原六郎左衛門に依て津山へ、其子銃郎に依て江戸へといふやうに各地に傳へられた流儀であるが、今回は東京の同流門下と、作州津山の同流游泳協會の一統とが出陣した。兩者別々に行つたのは、恰も江戸と津山の秘術比への觀があり、眞、行、草の基本業から、片手拔、諸手拔等の美しい型、扱は手足搦めの妙技等何れも美事な出來榮えであつた。

○水府流の游士

秋晴れの神宮外苑の空を震はせて、透徹したアナウンサーの聲は響く。「水府流水術。水戸の水府流は上市と下市と二系統御座いまして、始めの二人の方は上市、後の二人の方は下市であります」水戸よりの代表者は人數に於て最も少ないが何れも

一水泳場を代表して一名宛の出演であるから、責任は最も多い。上市の武田政義先生は水戸水泳會の師範、五十四歳、同じく今井五郎先生、上市常磐水戸水泳會支部の師範で歳も同じく五十四、下市小松崎三次氏は下市水泳場指南免許で若年乍ら腕前は達者現に早大水泳部のマネージャー、同じく下市の津川公治氏は水府流水術協會指南免許で、宗家荒川捨三郎先生が、秘藏弟子出藍の譽の高い游士である。

○古典味たつぶり

先づ左衛門先生、流祖島村孫左衛門先生以來、指南遊ぎとして傳はる替手遊、踵より上を水より出さず軽く足撃して從容迫らず落付と氣品を見せて遊ぎ渡れば、續く今井五郎先生、霜鬢ながら若人を負かず元氣を以て、水府流の本技たる一重伸をば、水龍の躍るが如く煽るかと思れば、湖水に月の映るが如く靜に伸し、一動一靜、美事に遊ぎ終る。次は下市の二游士。何れも同流由緒の水星の手拭を二つ折して頭に載き、流祖小松軍藏に仍て傳へられ、三代阿部伊左衛門が發明せる二重熨斗遊の格法をば小松崎三次氏典雅優麗、夜蛇の川を渡るが如くに遊ぎ。殿りとして津川公治氏は、其昔荒川戸田衛門信吉が藩主烈公の激賞を賜はつた大拔手をば壯重優雅、餘裕を見せて遊ぎ終る。

○野島流秘法の煙幕

古典味たつぶりの澁い味を見せた水府流の後を承けて、紀州に名ある野島流、弘安元年、藤原秀時に仍て創始せられた我國最古の流派である。元來八幡船の海賊より傳はり、紀伊南龍公の水藝奨勵に仍て大成せられたと云はるゝだけ水軍戰術として發達したものであるから、他流に見ざる戰術としての味がある。秘法と云はるゝ煙幕を演ぜられたは同流十二代宗家、多田一郎良直翁、本年とつて七十有五歳、鏗鏘として壯者を凌ぐ元氣を以て徐ろに水に入れば臆て取出したる一管の竹筒を足に挿むと見る見る筒の中より濛々として煙を吹出し、遊ぎ乍ら煙の中に身を隠したる、古の忍術と、現代の戰術との一脉の關聯を眼の當り見るを得たのは嬉しかつた。次に多田先生門下數名に仍て、二三の游泳型より、特技の浮身業、筏流し等を見せて水任流と代る。

○高松の水任流

抑も水任流は、寛永十二年、松平英公、水戸より高松へ入城の際隨伴したる藩士今泉八太夫に仍て創始せられた流儀で、高松では當所流とも稱してゐる

幕末、中興の名師星野平次郎翁に仍て、水府流水任游泳術と名付けられたが、水戸の水府流とは全然系傳を異にするものなる故、水任流と稱することゝなつた流儀である。游士は高橋先生始め数名の人々、水府流と逆の煽りを用ふる鬘斗泳ぎや、棒拔手等、珍しい業を見せたが就中高橋先生の肱拔手泳ぎの如きは最も至難の藝と見受けられた。

○競泳と格法

斯くて我國水術界空前の盛儀、水術奉納の大會は目出度くも滞りなく終了した。游ぎと云へば、世を擧げて、クロウル、ブレスト、バツクの世の中、競

泳界の花形が直に水泳の達人と讃はるゝ時代に、華々として、世俗的功名を他所に我國古來の水術の研究に盡して來た幾多の人々が、此奉納の盛儀に多年練磨の腕の冴えを見せたことは、游士自身の喜悅もさることながら、當日觀覽した數千の觀衆の胸に定めて強い印象を與へたことゝ思ふ。勿論、競泳に仍て、國際的に我國水泳界の地位を高めて行くことは飽迄必要なことであるが、一方、數百年の歴史を有し、幾多の秘術奥儀を傳へらるゝ我國古來の格法を後世に残し行くといふことも、我々斯道研究家として重大な使命ではなからうか。

水 泳 ゴシップ

鶏が家鴨を案じた話

今から十數年前の或年の冬、丁度神戸港に觀艦式のあつた時、折柄の雨風を衝いて拜觀者を滿載した舢舨がひつきりなしに軍艦と波止場の間を往復してゐたが其内で、とある一艘の舢舨に品の好い一紳士が多くの人に混つて吹きつける雨風にズブ濡れになり乍ら乗合してゐた。

見ればその好紳士は履いてゐる靴が真新しい品と見え、夫れが雨に濡れてツル／＼迂り其上片手に洋傘をさし片手には何か書類を大事そうに抱へてゐた爲め、何處にも縋りようもなく波に揺られるまゝ右にツルリ左にツルリと頗る足場具合の悪るような様子であつたが、果然、押し寄せた大波に舢舨が大きくぐらりと揺れた途端、右の紳士は物の見事にツルリと迂つて浪立ち狂ふ海中にはまり込んだ。

「溺死する!!溺死する!!」と叫び乍ら右往左往するけれども不幸にも金佛の彼は救助に飛込む事もならず、上衣は脱いだものゝ唯ハラハラと勇敢なる救主の出現を希つてゐた。

その中に水中の紳士は段々に沈んで來るし騒ぎは益々大きくなつたので、一中學生が之を見兼ねて「あの人は水泳の先生ですよ。」と云つて呉れた爲め人々もホツとはしたもののゝ何分此頃のやうに寒い折柄でもあり、其上波も荒い事とて其の成行を案じてゐる内に、艦の紳士は悠々迫らざる氣配を示して船に泳ぎ着きやつとの事である。この大きな事件は無事幕を閉ぢた。

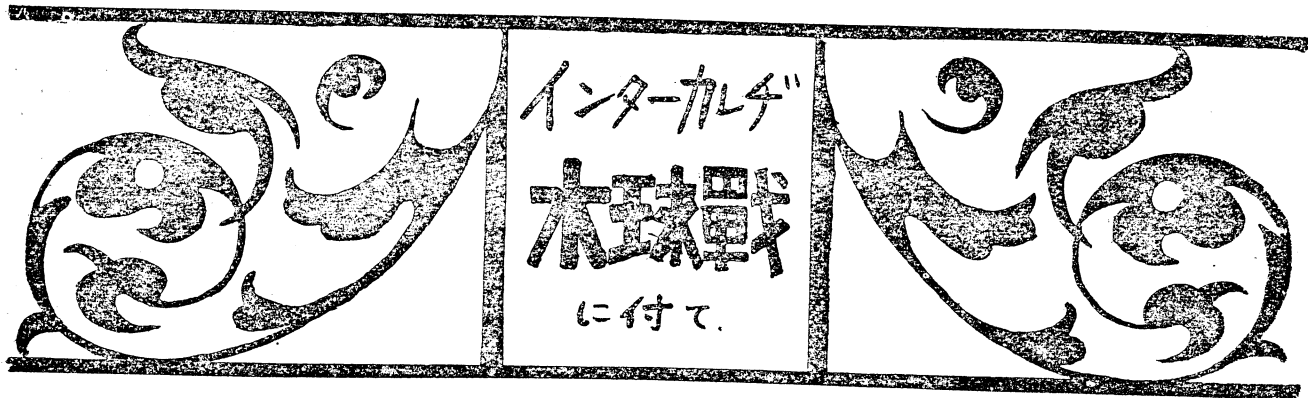
この命拾ひをした好紳士とは誰か。人も知る關西水泳界の重鎮、藤井正太郎先生その人であつた。さればこそ、此の珍事件は恰も家鴨の水中に入るを見て之を救はんと鶏が大騒ぎを演じるにさも似たりとは、さても皮肉な警話ではある。

尙、突飛な事には當の御本人にその際の感想を敲けば「ナア、あの時は洋服に籠つた空氣の爲め體がとても浮上つて胸までも出る程だつたので、どれ位で空氣が出て仕舞ふか驗してゐたんだ、それよりもはまつた時に慌はてた事は時計財布等携帶品の安否であつて、先づ大急ぎで夫々紛失しなかつたかを確かめ、時計と書類は素速く濡れ切らないやうに持ち上げて泳いだ」と。

命よりも先づ持物の安否を氣遣つたとはさても／＼百二十パーセント落着き拂つた態度ではないか。若し其時、財希が紛失してゐたら直ぐさま海底に潜り込んで探がされたかも知れない。そうなるに船上の騒ぎはもつと／＼深刻化した事であらうがそんな手数の要らなかつた事は、水陸兩方の登場人物にとつて不幸中の幸であつたと云ひ得よう。

何と、皆様、水泳は重寶なものではございませんか。

(深山杲)



杉 田 忠 治

永らく問題になつていた Inter-College 水球戦を始めて
今秋 League 戦式に依り行はれる事になりました。

早、慶、帝の各 Team の如く極東大會に既に参加して
いる Team を除いては大部分の人は、吾 Team は Rule
を読むやら Ball の掴み方を習ふやらの騒ぎで兎に角馳せ
参じた数は 5 校の多きに達し、日本初めての 9 日間に渡る
34 回の試合が行われたわけです。

恐らく此の試合を境に吾が水球界は搖籃期を脱したと云
つても過言では無いでせう。

或る一部の人々や選手にのみ許されていたかの如く思は
れていた Polo が人衆化されたわけで、競泳とは別な興味
を持つ團體 Game の面白さが遺憾なく大衆の前に展開さ
れました。

夏の名残を占める強い秋の日に照されて蒼く澄みきつた
Pool の中に赤銅色の身體を投げ込み、飛沫を上げて球を奪
ひ合ふ肉弾戦は見るからに嬉しき限りのものです。

League 戦の結果は別記の如く早、慶、明、帝、日、法、一、
立、拓の順位となりましたが数多い試合中から所謂手に汗
を握る 2、3 の試合の経過を述べて私の感じた各 Team の長
短を書いてみたいと思ひます。

申すまでもなく、此は私個人の考へを只述べるだけです
から、誤つた見方や間違つた気分、感じもある事と思ひま
す。若し、そうでしたら御勘辨下さい。

其の前に各校の連日の得點數合計を見るのも面白いでせ
う。

| | |
|-------------|------|
| 早 稲 田 大 學 | 98 點 |
| 慶 應 義 塾 大 學 | 67 點 |
| 明 治 大 學 | 34 點 |
| 帝 國 大 學 | 41 點 |
| 日 本 大 學 | 2 點 |
| 法 政 大 學 | 22 點 |
| 第 一 高 等 學 校 | 5 點 |
| 立 教 大 學 | 5 點 |

| | |
|-------------|--------|
| 拓 殖 大 學 | (點) |
| 9月3日 慶應對明大戦 | |
| (慶應) | (明治) |
| 澤 海 | LF 武 村 |
| 磯 部 | CF 小 川 |
| 清 水 | RF 牧 田 |
| 坂 倉 | HB 榎 本 |
| 大 原 | LB 藤 田 |
| 平 岡 | RB 伊 澤 |
| 井 出 | GK 秋 山 |

| | | |
|------|--------|------|
| 20 | F.T. | 13 |
| 前半 0 | } 3 得點 | 前半 2 |
| 後半 3 | | 後半 0 |

退水 坂倉(慶) 牧田(明)各 1回

Referee 片岡君によつて 2時41分開戦

新興 Team の明大がかくも老巧な慶應 Team に肉薄戦
を演ずるとは誰しも考へていなかった事と思ひます。

慶應に多少の油断のあつた事は争えぬ事でした。

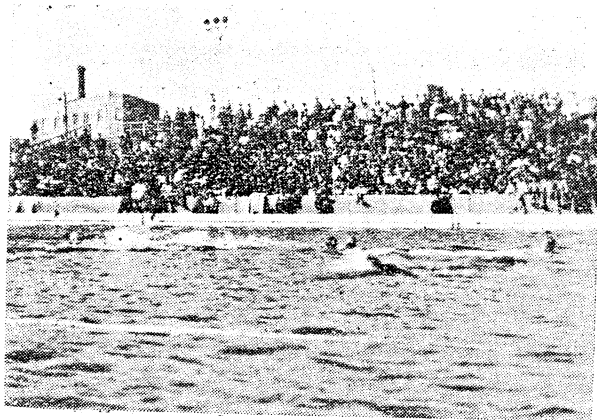
C. F. の木村君を新進磯部君に替へた事からいつも For-
ward の澤海、木村、清水、君の鮮かな連絡 Pass に見る
人を酔わす其の連絡が缺けた爲、試合開始するや明大に
此處を突かれ、明大 F. B. の壓倒的な奮闘に慶應 Forward 線
は攪亂され慶應の Goal 前の混戦中 2分23秒、坂倉君(慶)
が退水され、小川君(明)の Penalty throw により明大先づ
1點を上げ、ついで武村君(明)13分 9秒 Goal して合計
明大 3點を Lead して終始攻撃中に Half-time となりま
した。

後半、慶應は戦法を一新し Speed にのみ頼り dribble 専
問の他、技のない突進主義の明大軍を巧みな Pass により
避けて敵の無暗に泳ぎ過ぎて疲れたるに乘じ 11秒 磯部君
(慶)19秒と2分 秒とに坂倉君(慶) Goal して辛くも難關を
突破して終りました。

明大は試合なれのせぬ爲後半、慶應の猛烈なる逆襲に際

して氣はかりあせつて堅くなり返つて犯則を重ね敵にChance を與へてしまつたのは眞に惜しい氣がします。

此の試合に於て慶應の坂倉、澤海兩君と明治の武村、藤野二君が良く Chance を掴み味方を好き攻撃状態に導きつつ戦つていたのが目立つてみえました。



早大對慶大優勝戦
(早大高橋センターボールを取るところ)

10月2日 帝大對明大戦

| | | |
|------|----|------|
| (帝大) | | (明大) |
| 大 島 | LF | 武 村 |
| 大 木 | CF | 小 川 |
| 橋 爪 | RF | 牧 田 |
| 植 田 | HB | 榎 本 |
| 荒 木 | LB | 藤 野 |
| 村 井 | RB | 伊 澤 |
| 小 林 | GK | 秋 山 |

| | | |
|----|------|--------------------|
| 19 | F.T. | 26 |
| 1 | C.T. | 0 |
| 0 | 得點 | 前半 1 } 2 後半 1 } |

Speed の點に於ては明、やゝ利があるかも知れませんが帝大には老巧な人が多いので帝大の勝の様に豫期されていたのですが帝大の F.B. として良く球を投げ、明大の武村君の Speed に對し少しも引けを取らず良く追ひ廻すであらう所の井澤君が病氣不出場の爲、戦前全く勝敗の豫想を許さず、廣瀬君の審判のもとにて2時試合は開始されました

明大、武村、小川兩君交互に良く最切の Ball を得ますが Pass の不十分なるに乗じて帝大逆に球を奪つて良くせめ壓迫を續けました。

然し Forward の Pass が悪くシバシバ極を逸し分3秒明大小川君自陣の10碼邊から球を得て Mark のはづれたのを幸ひ Dribble して帝大 Goal 左に攻め Shoot 1點を上げました。

後半も一進一退互に良く球を奪つては敵陣近くせめます

が Fullback の好防に球を取られ兩軍の Point-getter 武村君(明)は村井君(帝)に大木君(帝)は藤野君(明)に好 Mark されて少しも動きが取れません。

只 Dribble 戦を繰返すのみでしたが遂に(分33秒榎本君(明)の再度の得點に明大合計 2點を取つて辛くも勝利を得ました。

10月4日 帝大對慶應戦

| | | |
|------|----|------|
| (帝大) | | (慶應) |
| 大 島 | LF | 澤 海 |
| 大 木 | CF | 木 村 |
| 橋 爪 | RF | 清 水 |
| 植 田 | HB | 坂 倉 |
| 荒 木 | LB | 大 原 |
| 村 井 | RB | 平 岡 |
| 小 林 | GK | 井 出 |

| | | |
|----|------|---|
| 11 | F.T. | 9 |
| 6 | G.T. | 2 |

| | | |
|----------|----|--------------------|
| 前半 1 } 2 | 得點 | 前半 5 } 4 後半 2 } |
|----------|----|--------------------|

審判片岡君によつて 1時15分開始されました。

慶應は G.K. の井出君が笹島君に替つている他 Best member で其の井出君も數度の試合に笹島君に劣らず自他共に其の技を認めている名 Goal-keeper です。

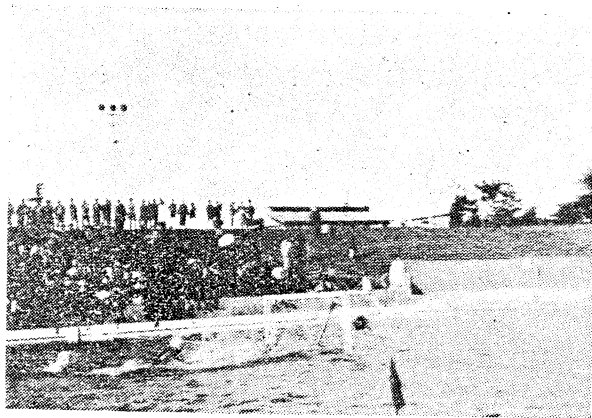
帝大は對明大戦と同様 Full-back に井澤君を欠いてゐるだけ苦戦はまぬかれませんでした。

開始25秒、村井君(帝)の Foul で澤海君(慶) Freethrow を得、坂倉に Pass 大島君(帝)此を奪わんとして Referee Ball となり帝大たゞちに纏を掴み橋爪君、植田君、慶應 Goal に殺到しましたが井出君の好防に形勢逆變、慶應澤海君帝大 Goal に肉薄して、木村、清水兩君良く連絡を取り Shoot を繰返しましたが遂にものになりません。小林君(帝) Goal を固く守り、混戦中より荒木君(帝)球を得て、手早く、大島君(帝)に送り又中央で競る内 2分58秒、慶應坂倉の Goalshoot 決り、つゞいて 3分30秒、清水君(慶)よりの球を澤海君(慶)受けて Goal へ、慶應先づ 2點を上げました。

其の頃より兩軍盛んに Dribble 戦を開始し Foul がやゝ多くなりましたが、6分38秒、村井君(帝)わづかの Chance を掴み Fullback 線上より長驅 Dribble して Goal 對 前半を終りました。

後半は帝大の Goal getter 大木君は坂倉に好く Mark されて纏なく、2分24秒、荒木君(帝)の疲れたのに乗じて清水君(慶)良く逃げて Goal に入れたつゞいて坂倉君(慶)3分17秒に Goal shoot をして成り、これで 3點 Lead された帝大はやゝあせり氣味になりましたが敵の Foul を利し良く逆襲して(分32秒遂に木村君(慶)の犯則により植田君

(帝)の得たる球を大島君に Pass 大島君 Goal して一點を上げ合計慶應 4 點、帝大 2 點にて 2 時 30 分閉戦しました。



早大對慶大優勝戦
(早大坂上決勝の一點を入れた瞬間)

10月4日 立教大學拓殖大學戦

| (立教) | | (拓殖) | |
|------|----|------|--|
| 中村 | LF | 植田 | |
| 松浦 | GF | 本田 | |
| 殿井 | RF | 高村 | |
| 關口 | HB | 奥山 | |
| 遠藤 | LB | 松本 | |
| 根上 | RB | 岡田 | |
| 光成 | GK | 淺野 | |

16 F.T. 17
 前半 2 } 4 得點 前半 2 } 3
 後半 2 }

審判廣瀬君

兩軍共に Goal getter を持たぬ Team で立教軍の方が泳ぎに強い結果が 1 點の差で Lead した事になりました。然し犯則は實に多く立教は犯則 15、退水 12、拓殖は犯則 16 技倆伯仲せる好試合でした。

要するに Dribble 戦で終始し球を得ても遠く投げられぬ爲に敵陣深く喰ひ込るとあせるから飛沫を上げて強引に泳ぎ廻つた結果だらうと思ひます。

試合開始するや兩軍中央に接戦中 1分36秒中村君(立)どう考へたか颯爽と二碼線中に入り退水され、此に依つて高村君(拓) 1分53秒先づ Goal へ投げて 1 點を差上げました立教殿井君關口君奮戦して松本君(拓)のマークのはづれたのを幸ひに 2分31秒殿井君 Goal して 1 對 1 ついて 3分21秒拓大奥山君の犯則により松浦君(立)Free throw を得て殿井君(立)に送り、殿井君又々松本君(拓)より逃げて Goal shoot 此で立教は合計 2 點となりました。然るに中村君(立) 3分56秒に再び 碼線中に入つて退水され、よつて立教軍懸命に防戦すれど及ばず、遂に 5分12秒、本田君(拓)

ゴールの中央右に Shoot して 1 點を返し、同點で前半を終りました。

後半は、始るや 29 秒に殿井君(立)松本君(拓)の犯則により球を得、此を Fullback 線上より、突進して來た遠藤君に送つて 35 秒 Goal へ。

其の頃から、拓大の Back と立教の Forward との間に犯則が多くなりましたが拓大やゝ攻撃に出て奥山君 4分15秒に Goal-shoot して又々同點となりました。

其の後、勢に乗じて拓大の寄るのを立教根上君、遠藤君良く防いで止め 5分27秒遠藤君敵の泳ぎ疲れたのを見て長驅 Dribble Forward 線上に出て Shoot 貴重なる一點を上げました。

拓大は必死とあせつて攻撃しましたが Chance 無く遂に 3時、3對4にて拓大は惜しく破れました。これで立教は 8 位に拓大は 9 位になつたのでした。

10月5日 早慶戦

| (慶應) | | (早稻田) | |
|------|----|-------|--|
| 澤海 | LF | 坂上 | |
| 木村 | CF | 高橋 | |
| 清水 | RF | 木村 | |
| 坂倉 | HB | 藤田 | |
| 大原 | LB | 時任 | |
| 平岡 | RB | 土井 | |
| 笹島 | GK | 松本 | |

14 F.T. 13
 5 G.T. 3
 0 C.T. 1

前半 0 } 2 得點 前半 2 } 3
 後半 2 }

審判杉田、気温 2 度、水温、22.5 度、

5月の極東大會では早稻田勝ち、6月の早慶戦では慶應が勝つています、昨年一昨年を顧ても、兩軍 1 對 1 に終つて技倆まさに伯仲戦前少しも豫測を許しません。

又た例へば一方が弱い様に見えても急に強くなつて互角の勝負をするのが早慶戦であり、評判、世評を裏切つて戦ふのが早慶戦であります、

此の日の兩軍の顔振れを見るに云ふまでもなく Best member で水ももらさぬ配陣ぶりです。3時30分、試合開始するや早稻田の Speed を利して Dribble で Mark を外し、攻撃せんとするに對し慶應は巧みな Pass と素早き球の扱ひに此を防いで逆襲し對明大戦、帝大戦とは別人の如き勢にて早稻田の陣に肉薄し 1分13秒、澤海君(慶)先づ Goal shoot を試みましたが横にそれて Goal throw となりました。早大 Goal keeper 松本君、藤田君に球を送れば木村君(慶)此を奪はんとして競り遂に藤田君 foul して 1分1(秒)、木村君 Free throw 球を澤海君(慶)に送り澤海君再

び Goal に投げましたが高くして Goal throw 早稲田其の頃より漸く連絡づき、慶應を壓して 2分40秒、坂上君慶應 Goal 前混戦中より Goal に投球しましたが横にそれて Goal throw 4分早稲田再び中央混戦中より球を得て慶應 Goal を襲ひ4分23秒、高橋君(早)Goal 左前よりShootigoal せずして失したるを坂上君(早)直ちに球を取り右より送りて先づ 1點を上げました。

慶應の C.F. 木村君、早稲田の C.F. 高橋君共に兩軍の H.B. 藤田君(早)坂倉君(慶)に好 mark されて動けず、爲にシバシバ犯則を重ねて兩軍の攻防が其の爲に一變し全々豫測を許しません。

6分53秒平岡君(慶)の Mark がはづれたのを利し木村君(早) Goal して早大 2點 lead のうちに前半を終りました。

後半は慶應澤海君、土井君(早)が元來 Goal-keeper で Fullback に慣れない點を觀破し、少し前に出過ぎて Mark していた時、球を得て後方に逃げ Back-shoot を試みて 48秒に先づ 1點を返しました。

其より早稲田の攻撃物凄く大部分の人が中央線より慶應側に攻め込みGoalに殺到しました。其の時突然早大Goal近くに居残つた、澤海君(慶)に球が戻り 2分21秒、第 2回の Back-shoot 決つて又 1點此で兩軍 2對2 の同點となりました。

其の後一進一退兩軍の Goal keeper も良く球を止めて守りを深くし、早稲田の Full back も陣様を新めたので澤海君も乗すべき道を斷られた事になりました。

此の間高橋君(早)と坂倉君(慶)との間に競り合ひあつてお互に犯則を繰り返して居りましたが、5分52秒、中央線よりやゝ慶應より於て坂倉君(慶)の犯則により木村君(早)球を得、坂上君(早)に Pass 坂上君素早く平岡君(慶)より逃げて 5分54秒 Shoot して Goal なり。

其の後兩軍乗ずる Chance 無く 4時 6分に閉戦しました此の最後の坂上君の Shoot が早稲田の貴重なる得點となつたのです。

終りに望んでかくも兩軍の實力伯仲した Game を吾々は見た事がありません、其の技、其の意氣共に早慶戦の名に恥ぢず、リーグ戦最後を飾るに最も相應しい試合であつた事を大いに喜びます。

9日間の試合を通じて嬉しく感じた事は各 Team の技術が、日に洗練され殊に新興 Team に於いて著しく目立つた事と、水の中にあつては喧嘩腰に球を奪ひ合つた、敵味方の兩 Team Time up の笛を聞くや、勝つ者は誇らず、破るゝ者も元氣良く、互に相手方の爲に三唱して眞に Sportsmen たるの奥ゆかしさを示し、終始朗らかなる態度を持つて戦を終つた事であります。

此は只見る者を喜び感ぜしめるのみならず、水球競技の

發展進歩の上から、私は特に讃辭を呈し、來る Season に各自一層の精進を乞ふ次第であります。

次に各 Team に付いて私の思ふまゝを述べるならば 拓殖大學 Team

拓大は奥山君が Back にいる爲攻撃良く Shoot して得點する人がなく、球扱ひに慣れぬ爲に本田君、高村君共に良く泳ぎ得ても常に Chance を失ひ、味方に球が渡つても人々の動きが殆どなく返つて敵に乗ぜられる場合が多かつた様な氣がします。

League 戦前半に於て小松君が疲弊せる味方を鼓舞し遠く赤い夕陽の燃ゆる滿洲で叫ぶ、蕃聲を張り上げて學校氣分をよく發揮して奮戦していたのは人氣がありました。

立教大學 Team

Polo のやり方を知らずに参加したらしかつた様ですが試合が日一日とたつて従つて各自の連絡が良くなり元來泳ぎに強い連中ですから League 戦以外の10月 4日の對東京 O.B. 戦や 10月5日の對慶應競泳部との試合には別人の様な動きを見せて居りました。

只一言述べたいのは松浦君と中村君で共に競泳で光つて居るだけ誰にも眼を付くと見えますが至つて球の扱ひは上手ではありません。

特に中村君は League 戦第一日對早稲田戦に於て Goal keeper をやり、敵の Shoot を受け止めて球を投げる時に味方の Goal に落し込み League 戦最初の失敗を演じました。又、對拓殖戦の時右の Forward を務めて悠々二度も敵の二碼線中に入つて退水され味方を不利な状態によく落して居ります。此は餘り感心しません。

L.F. 殿井君は對一高戦あたりまでは敵の F.B. も時には此を Cover する 必要のある事を知らずに居た様でしたが先輩の注意を受けてからは良く戦ひ H.B. 關口君と連絡とつて有利に Game を進めて居りました。

F.B. の遠藤君、根上君は共に良く泳ぎ對一高戦、拓大戦には長驅 Dribble して盛んに敵の Forward 線を亂して居りましたから、要するに此の Team はもつと練習すれば強くなる Team だと思つて居ります。

第一高等學校 Team

一高は狭い帝大 pool で練習したせいでしょうか？ どうも泳ぎが足りない様に思はれました。又球が手に付かない事も事實です。

對日大戦の時よりは對法政戦の方が良く Chance を握り球を得ているだけに、野知君がもう少し早く球を扱つたらといふ感がありました。

對立教戦では野知君良く動き、戸田君、尾ヶ井君も良く球を得て敵陣に喰ひ込みましたが、球が本當に手に

付かぬ悲さに最後で敵の Back に止められ惜しい點を逃がして居りました。

明大戦では對手が Speed があるのでかなり苦戦の様でした。

思ふに一高は敵 Team の如何にかかわらず常に要領よく戦を運んでいたのが目立っていたと同時にもう少し球を投げ得たらと思はれる事がシバシバでした。

法政大學 Team

Speed のある人揃ひで明大同様良く泳ぎますが Forward 弱く落合君が思ひ出した様に飛び出て来て得點するだけでは心細い氣がします。

市村君、丹下君の Dribble と河上君の Goal keeper は目立つてみました。

只此の Team の弱點は犯則が多いのと騒がしい人々が集っているせいか、兎角試合中が煩さい様です賑かなのもいゝですが知らず知らずに試合が不利に傾く恐れがありますから損んでせう。

要するに Forward の人々の投球に物足りなさを感じました。

日本大學 Team

日大は片岡君が一人光る爲、何んでもかんでも球を得たら片岡君に送る癖があります。

然し其が爲に Team-work は良く取れ同君が頑張る限り Team 全體が良く奮戦しますから時には難關を切り抜け強 Team と戦つても最後まで各自皆闘志に燃へている様に思はれます。

早、慶兩 Team に 1 點づゝを得たのも其の爲でせうが、一方荒い Game をするといふ非難も相當ありますから注意の必要があります。

帝國大學 Team

帝大軍は主將大木君と林君とが左ぎきなので如何なる敵も一度は面喰はされて Mark を外して慌てます。Team として此といふ欠點もありますが井澤君、村井君を有する Back に比して Forward が何んだか力足りない氣がしないでせうか。

然し對早大戦に於て 20 秒士井君(早)の犯則に得た大島君(帝)の Free throw を 26 秒大木君に渡し、大木君 Shoot して 1 點を上げたあたり。さすがの早大軍を啞然たらしめて Game の面白き展を思はしめました。が、前後 30 に渡る犯則と村井君の退水に對しの開きをつけたのは残念でした。

此の Game と云ひ高野明大戦、對慶大戦と云ひ、井澤君の出場が無かつたのは物淋しく思はれます、來年度にピカー大木君を失ふ事は大いなる傷手です、然し、5 月關東大會に出場し 9 月始めて京都帝大を破り東西に名を上げた此の Team の將來に吾々は大いに望み

をかけ度いと思ひます。

明治大學 Team

早、慶に立ち遅れて、いさゝか尻り込みの形だつた明治は遂に若手のみで立ち上り球の扱へぬ所を良く泳ぎに於いて誤魔かし、老巧帝大を押し倒して慶應に喰ひ付き土俵際につめて將に割らんとする所まで追ひ込み、早稻田に武者振り付く様は誰も「此の子長じて恐る可し」と思せた事と思ひます。

武村君、藤野君は共に Dribble 長驅して其の Speed のある點で 1 番です

H.B. 覆本君は此夏、神宮 Pool で毎日 O.B. Team に入つて練習していた事とて良く球を取り、小川君又巧みに球を扱つて、共に味方を有利に導いて居りましたが Goal shoot の動作がおそいので機を逃がす事がよくありました。

Team 全體としては味方が球を得ても Forward の人々が少しも動かぬので Pass が出來ず、只 Dribble 一點張りに敵から逃げ、敵方だらうが味方の Goal 側だらうがグルグル泳ぎ、まわつて力を無駄に費して居りました。

此は見るからに損な事です。

Goal keeper の秋山君は良く球を止め早大の松本君等と遜色なく務めて居りましたが主將牧田君が混戦中、今少し早く球を扱ひ得たらと思はれる點が度々あつた様です。

未だ生れたばかりの同 Team に對し兎や角述べるのは甚だ無理かと思ひますが期待されてゐる Team 故一言しました。

慶應義塾大學 Team

慶應は申すまでもなく最も古い Team で、Member は 5,6 年前吾々が神宮競技 Polo 戦に決勝を争つた顔振れと少しも變つていないだけに強味があります。球を扱ふ點にも洗練された奇麗さ、があります。

澤海君の Back shoot は早慶戦に於て二度まで決まつて早大の Good keeper 松本君に防禦の暇を與へませんでした。

坂倉君の half も板に付いています。

只 Forward に Speed の無い事と敵の Fullback に完全に Back された時、木村君、清水君に動きが少ない様に思はれました。

Back の大原君、平岡君は早大の時任君、日大の片岡君と共に代表的 Full Back と思ひますが。

平岡君には時々大きく Mark を外す事があります。然し、球を奪ひ、又良く此を投げる點に於て大原君より一日の長を感じます。

Good keeper 笹島君は恐らく League 戦中で一番秀で

た Keeper でせう。

あの大きな身體と長い腕を、利用して自由に Goalを覆ひ、早大の高橋君、坂上君のつゞけ様に送つた猛烈な Shoot や Dribble の突入を良く止めて味方に球を送つて居りました。

又井出君の Keeper 良く務め笹島君が學校を去つた後も何等の遜色なく後陣を守る事と思ひます。

全日本選手権大會の時ナゼ、此の Team が神戸外人團に破れたか、どう考へ直しても不思議です。

それに付いても早慶戦、慶明戦等に於てに限らず敵の Center の高橋君(早)や武村君(明)なりに最初のBallを取られていましたが、あれは兩軍の技倆が伯仲してゐればそれだけに多少の不利を生ずるのではないでせうか？

欲を云へば此の Team にさらに何人かの Speed ある人々が加つたらと思はれてなりません。

慶應競泳部からなる Polo team も大部強くなつて來ました。第三者の吾々には學校内部の事情は解りませんが、競泳部の野田君、藤野君、市橋君等を加へた慶應 Team を考へた時、早稻田の最も恐る可きTeam の様な氣がします。

早稻田大學 Team

5月の極東大會の時よりさらに締つた Team の様に思はれます。高橋君も League 戦が日を重ねるに従つて球が手に付き、春の早慶戦よりは見違へる程坂上君木村君の連絡が取れて新進の高橋君を良く助けて球を送つて居りました。

坂上君は何と云つても早稻田の華です。

早大の Polo は F.W. で坂上君 H.B. で藤田君、F.B. で時任君、此の三人の動きで試合が運ばれている様なものです。

慶應は良く此を知つて此の3人を Mark して壓えて居りました。

然し老巧木村君を忘れる事は出来ません、早慶戦前半に1點を Goal 又後半に貴重なる點となつた坂上君の Goal shoot は木村君からの Pass ですから。

土井君は早慶戦で述べた通り不狎だつたとはいへ慶應の澤海君に 度も突かれ點を許したのは、確に手落でした、土井君も後から考へると残念だつたでせう。

慶應はうまく早稻田の穴を狙つたとも云へます。

澤海君はやつぱり慶應 Team 中唯一の曲者であつたのでした。

インターカレッジ水球戦成績表

氣 温 23° — 26°
水 温 21° — 22°

| | 試合數 | 早 | 慶 | 明 | 帝 | 日 | 法 | 一 | 立 | 拓 | 勝 |
|---|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 早 | 8 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 8 |
| 慶 | 8 | 0 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 明 | 8 | 0 | 0 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 帝 | 8 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 5 |
| 日 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| 法 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| 一 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 1 | 2 |
| 立 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 1 | 1 |
| 拓 | 8 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 敗 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | |

審判員

杉 田 忠 治
吉 本 祐 一
石 毛 政 信
廣 瀬 秀 俊
植 田 武 夫
奥 山 義 夫
片 岡 忠

得 點 表

| | | | |
|--------------------|--------------|--------------|--------------|
| 9月27日 早大 24 — 0 立大 | 慶大 16 — 2 法大 | 日大 5 — 1 一高 | 拓大 0 — 8 明大 |
| 〳28日 帝大 6 — 3 法大 | 早大 9 — 0 一高 | 慶大 19 — 0 拓大 | 日大 5 — 0 立大 |
| 〳29日 明大 6 — 0 立大 | 早大 17 — 0 法大 | 慶大 10 — 0 一高 | 拓大 0 — 14 帝大 |
| 〳30日 日大 4 — 1 法大 | 早大 21 — 0 拓大 | 慶大 3 — 2 明大 | 一高 0 — 11 帝大 |
| 10月 1日 立大 0 — 8 慶大 | 日大 0 — 3 帝大 | 一高 2 — 4 法大 | 明大 0 — 6 早大 |
| 〳 2日 日大 1 — 5 慶大 | 明大 2 — 0 帝大 | 法大 3 — 1 立大 | 拓大 1 — 2 一高 |
| 〳 3日 早大 5 — 1 帝大 | 明大 6 — 0 日大 | 立大 0 — 4 一高 | 法大 9 — 2 拓大 |
| 〳 4日 明大 2 — 0 法大 | 慶大 4 — 2 帝大 | 立大 4 — 3 拓大 | 早大 13 — 1 日大 |
| 〳 5日 拓大 0 — 8 日大 | 一高 0 — 8 明大 | 立大 0 — 9 帝大 | 慶大 2 — 3 早大 |

昭和五年度
水上競技ベスト・テン
日本水上競技聯盟編

凡 例

1. 男子競泳之部
2. 女子競泳之部
3. 飛込競技之部
4. 其の他の注目すべき結果
5. ベストテンに入り得べき外國人の作れる注目すべき結果

凡 例

1. 各加盟團體より申告せられたる競技會報告に基き編輯す
2. 今年度よりは特に人本位として十人を限りて選擇せり、其の配列方法並に同位者の取捨に就きての一般規則次の如し
 - a. 絶対に時間の順に配列す
 - b. 時間同じき場合
 - 1) 其が同一競泳に於て着順決定せる場合、及、同一競技會のある種目に於て決勝の着順決定せる場合、其の着順に依り配列す
 - 2) 水路長き者を先位とす
 - 3) 上記諸條件にて決し難き時は、各人の次位の結果を比較して順位を決定す、次位の時間無き者は有するものゝ下位とす
 - c. 以上の條件にて尙決定し難きものを同位とす
3. 第十位と同じ時間を有するものは、次位者として参考迄に併記せり
4. 個人の成績の取捨も全く上記の例にならひ、異なる競技會に於て同一成績を出せる場合は聯盟直系或は此に近き競技會に於ける者一つを以て代表せしめたり
5. リレーは同一所屬にてもメンバーの異なるチームは異なるチームとして取扱ひたり
6. 以上の結果は記録委員會に於て認定發表せり、同位者の取捨決定も同様なり
7. 競技者の所屬はなるべく個人に固定的なるものを取り、臨時編成のチーム名はリレーを除きなるべく此をさけたり
8. 飛込競技の順位は N. S. R. の定施せる全日本的競技會の成績に依つて、考慮して順位を決定せり
(本年度は極東大會、豫選、極東大會、及全日本選手權大會)
9. 外國人の本邦領域内にて作りたる記録は加へず、但最後に参考としてベストテンに入り得べきもののみを採録せり
10. ベストテンの今年度平均値は10人のみの平均にして、第十位の次位者の時間は此に加へず
11. 報告の遅れたるものの内、優秀なる結果も参考までに各欄外に記し置きたり、今後、競技者の努力の無にならざる様報告は競技會直後に御提出相成りたし

1. 男子競泳之部

(1) 男子 50 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|------|-----------|-----------|-----|----|------|-------|
| 1 | 26.6 | 高 橋 成 夫 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 |
| 2 | 27.0 | 宮 本 武 夫 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 |
| 3 | 27.2 | 高 石 勝 男 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 5.29 | 極東本競技 |
| 4 | 27.4 | 早 川 貞 正 | (橫 濱 高 工) | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 |
| 5 | 27.6 | 河 石 達 吾 | (慶 大) | 神 宮 | 50 | 9.20 | 全國 學生 |
| 6 | 27.6 | 益 田 佐 武 郎 | (法 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 7 | 27.6 | 熊 野 佐 一 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |
| 8 | 27.8 | 橫 田 弘 一 | (同 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 9 | 27.8 | 坂 本 新 | (北 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 10 | 27.8 | 小 西 小 一 | (天 王 寺 師) | 築 港 | 50 | 7.27 | 大阪 府中 |

次位者

| | | | | | | |
|------|---------|-------|-------|----|------|-------|
| 27.8 | 吉 瀬 武 夫 | (關 學) | 甲 子 園 | 25 | 6.22 | 早關 對抗 |
|------|---------|-------|-------|----|------|-------|

平均 27.44

昨年度 均 28.13

〃 第一位 27.2 高石勝男

〃 第十位 28.6 柳井、松浦、坂本、兒玉、橫田、鈴木

(2) 男子 100 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|---------|-------------|-----|----|------|-------|
| 1 | 1: 0.4 | 高 石 勝 男 | (早 大 O. B.) | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 |
| 2 | 1: 0.4 | 橫 山 隆 志 | (高 知 商) | 神 宮 | 50 | 8.16 | 東西優勝校 |
| 3 | 1: 0.8 | 片 山 兼 吉 | (濱 松 一 中) | 神 宮 | 50 | 8.16 | 東西優勝校 |
| 4 | 1: 1.4 | 佐 田 德 平 | (明 大) | 神 宮 | 50 | 9.20 | 全國 學生 |
| 5 | 1: 1.6 | 宮 本 武 夫 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 9.20 | 全國 學生 |
| 6 | 1: 2.0 | 高 橋 成 夫 | (早 大) | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 |
| 7 | 1: 2.2 | 野 田 一 雄 | (慶 大) | 神 宮 | 50 | 9.20 | 全國 學生 |
| 8 | 1: 2.6 | 伊 藤 英 逸 | (關 學) | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東本競技 |
| 9 | 1: 2.6 | 樋 口 榮 一 | (京 武 德) | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 |
| 10 | 1: 3.0 | 河 石 達 吾 | (慶 大) | 神 宮 | 50 | 9.20 | 全國 學生 |

次位者

| | | | | | | |
|--------|---------|-----------|-----|----|-----|-------|
| 1: 3.0 | 宮 崎 康 二 | (濱 松 一 中) | 神 宮 | 50 | 8.9 | 東部 中等 |
|--------|---------|-----------|-----|----|-----|-------|

| | | | | | | |
|--------|---------|-------|-----|----|------|-------|
| 1: 3.0 | 橫 田 弘 一 | (同 大) | 京 大 | 25 | 6.15 | 京同 對抗 |
|--------|---------|-------|-----|----|------|-------|

平均 1: 1.70

昨年度平均 1: 3.07

〃 第一位 1: 0.2 高石勝男

〃 第十位 1: 4.4 兒玉博、松浦武雄

(3) 男子 200 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|---------|---------|-------|-----|------|-------|
| 1 | 2:17.6 | 橫 山 隆 志 | (高 知 商) | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東西 中等 |
| 2 | 2:17.6 | 武 村 清 | (明 大) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記 錄 會 |
| 3 | 2:18.0 | 佐 田 德 平 | (明 大) | 布 哇 | 100 | 7.17 | 國際 水泳 |
| 4 | 2:18.2 | 米 山 弘 | (早 大) | 甲 子 園 | 25 | 6.22 | 早關 對抗 |

| | | | | | | | |
|----|--------|-------|--------|-----|----|------|------|
| 5 | 2:18.8 | 武村寅雄 | (東市二中) | 早大 | 25 | 6.15 | 關東中等 |
| 6 | 2:21.6 | 牧野正藏 | (見付中) | 神宮 | 50 | 8.17 | 東西中等 |
| 7 | 2:21.8 | 野田一雄 | (慶大) | 神宮 | 50 | 9.21 | 全國學生 |
| 8 | 2:22.0 | 宮崎正二 | (濱松師) | 濱高工 | 25 | 6.22 | 東海中等 |
| 9 | 2:23.0 | 寺田享太郎 | (函館中) | 神宮 | 50 | 8.17 | 東西中等 |
| 10 | 2:23.0 | 西條與修 | (京武德) | 松任 | 50 | 8.21 | 石川全國 |

平均 2:20.16

昨年度平均 2:23.35

〃 第一位 2:17.0 高石勝男

〃 第十位 2:25.7 藤原豊

(4) 男子 400 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場 | 所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|-------|--------|------|----|------|-------|----|
| 1 | 4:55.0 | 武村清 | (明大) | 明大 | 25 | 1.19 | 記錄會 | |
| 2 | 4:56.6 | 牧野正藏 | (見付中) | 神宮 | 50 | 8.24 | 全日本 | |
| 3 | 4:56.6 | 横山隆志 | (高知商) | 神宮 | 50 | 8.24 | 全日本 | |
| 4 | 5: 0.0 | 米山弘 | (早大) | 甲子園 | 25 | 6.22 | 早關對抗 | |
| 5 | 5: 2.4 | 武村寅雄 | (東市二中) | 福島高商 | 25 | 8.31 | 福島中等 | |
| 6 | 5:10.4 | 松本治一 | (關學) | 甲子園 | 25 | 6.22 | 早關對抗 | |
| 7 | 5:12.6 | 田中一夫 | (銚子商) | 神宮 | 50 | 5.31 | 極東本競技 | |
| 8 | 5:14.0 | 青山茂 | (早大) | 神宮 | 50 | 9.20 | 全國學生 | |
| 9 | 5:15.0 | 安田來吉 | (明大) | 神宮 | 50 | 9.20 | 全國學生 | |
| 10 | 5:15.6 | 寺田享太郎 | (函館中) | 神宮 | 50 | 8.13 | 關東部 | |

平均 5: 5.82

昨年度平均 5: 9.58

〃 第一位 4:58.6 佐田德平

〃 第十位 5:13.8 宮崎正二

(5) 男子 800 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場 | 所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|---------|-------|--------|----|----|------|------|----|
| 1 | 10:32.6 | 牧野正藏 | (見付中) | 神宮 | 50 | 8.10 | 東部中等 | |
| 2 | 10:37.8 | 武村寅雄 | (東市二中) | 神宮 | 50 | 8.10 | 東部中等 | |
| 3 | 10:51.2 | 田中一男 | (銚子商) | 神宮 | 50 | 8:17 | 東西中等 | |
| 4 | 10:51.4 | 青山茂 | (早大) | 神宮 | 50 | 9.20 | 全國學生 | |
| 5 | 10:55.4 | 米山弘 | (早大) | 神宮 | 50 | 9.20 | 全國學生 | |
| 6 | 10:56.8 | 石原田愿 | (福山中) | 築港 | 50 | 8.10 | 西部中等 | |
| 7 | 10:57.2 | 安田來吉 | (明大) | 神宮 | 50 | 9.20 | 全國學生 | |
| 8 | 11: 1.0 | 副島良司 | (佐賀中) | 築港 | 50 | 8.10 | 西部中等 | |
| 9 | 11: 4.0 | 片岡虎次郎 | (城東) | 築港 | 50 | 8. 9 | 西部中等 | |
| 10 | 11: 9.0 | 浦木義夫 | (明大) | 神宮 | 50 | 9.20 | 全國學生 | |

次位者

11: 9.0 鳥居一夫 (中泉農) 三保 50 8. 5 静岡中等

平均 10:53.64

昨年度平均 11: 3.66

〃 第一位 11:42.0 牧野正藏

〃 第十位 11:22.0 山本操

(6) 男子 1500 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|-------|---------|--------------|-----------|-----|-----|------|---------|
| 1 | 19:35.2 | 牧 野 正 藏 | (見 付 中) | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 |
| 2 | 20: 34 | 横 山 隆 志 | (高 知 商) | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東本競技 |
| 3 | 20:23.6 | 武 村 寅 雄 | (東 京 二 中) | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 |
| 4 | 20:34.4 | 田 中 一 夫 | (銚 子 商) | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 |
| 5 | 20:43.0 | 武 村 清 | (明 大) | 布 哇 | 100 | 7.18 | 國 際 水 泳 |
| 6 | 21:13.4 | 鈴 木 重 孝 | (明 大) | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東本競技 |
| 7 | 21:36.6 | 安 田 來 吉 | (明 大) | 神 宮 | 50 | 8.12 | 關 東 部 |
| 8 | 21:36.8 | 太 田 武 雄 | (濱 松 一 中) | 清 洲 | 50 | 9. 7 | 愛 知 中 等 |
| 9 | 21:37.0 | 西 條 興 修 | (京 都 武 德) | 松 任 | 50 | 8.21 | 石 川 全 國 |
| 10 | 21:42.6 | 永 見 達 明 | (隅 田 俱) | 芝 | 50 | 5.11 | 極 東 豫 選 |
| 平均 | | 20:54.60 | | | | | |
| 昨年度平均 | | 21:28.64 | | | | | |
| 〃 第一位 | | 20:44.2 牧野正藏 | | | | | |
| 〃 第十位 | | 22:16.4 山本 操 | | | | | |

(7) 男子 50 米 背 泳

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|-----|------|-----------|-------------|-------|----|------|---------|
| 1 | 32.6 | 片 山 兼 吉 | (濱 松 一 中) | 神 宮 | 50 | 8.10 | 東 部 中 等 |
| 2 | 33.0 | 鈴 木 政 雄 | (中 泉 農) | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東 西 中 等 |
| 3 | 33.0 | 河 津 憲 太 郎 | (修 道 中) | 廣 一 中 | 25 | 9.14 | 廣 島 中 等 |
| 4 | 33.2 | 入 江 稔 夫 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 |
| 5 | 33.2 | 高 石 勝 男 | (早 大 O. B.) | 神 宮 | 50 | 8.12 | 關 東 豫 選 |
| 6 | 33.8 | 清 川 正 二 | (名 高 商) | 神 宮 | 50 | 8.24 | 全 日 本 |
| 7 | 34.0 | 大 島 正 夫 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 |
| 8 | 34.0 | 小 西 小 一 | (天 王 寺 師) | 築 港 | 50 | 8.10 | 西 部 中 等 |
| 9 | 34.6 | 木 村 象 雷 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 |
| 10 | 34.8 | 永 廣 宇 之 助 | (第 一 神 港) | 名 高 商 | 25 | 9.29 | 中 部 中 等 |
| 平均 | | 33.62 | | | | | |
| 昨年度 | | 比較ナシ | | | | | |

(8) 男子 100 米 背 泳

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|-------|--------|-------------|-----------|-------|----|------|-----------|
| 1 | 1:12.2 | 入 江 稔 夫 | (早 大) | 京 大 | 25 | 7.27 | 全 國 高 專 |
| 2 | 1:13.3 | 河 津 憲 太 郎 | (修 道 中) | 廣 一 中 | 25 | 9.14 | 廣 島 中 等 |
| 3 | 1:14.0 | 片 山 兼 吉 | (濱 松 一 中) | 濱 高 工 | 25 | 6.22 | 東 海 中 等 |
| 4 | 1:14.0 | 大 木 直 正 | (東 帝 大) | 京 大 | 25 | 9.14 | 東 西 帝 大 |
| 5 | 1:14.4 | 鈴 木 政 雄 | (中 泉 農) | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東 西 中 等 |
| 6 | 1:14.4 | 清 川 正 二 | (名 高 商) | 京 大 | 25 | 7.27 | 全 國 高 專 |
| 7 | 1:15.6 | 松 村 元 義 | (南 泳 俱) | 臺 南 | 25 | 9.14 | 臺 南 支 部 會 |
| 8 | 1:15.8 | 大 島 正 夫 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全 國 學 生 |
| 9 | 1:16.4 | 木 村 象 雷 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全 國 學 生 |
| 10 | 1:16.4 | 上 野 大 藏 | (朝 倉 中 出) | 九 大 | 25 | 8. 5 | 九 州 部 |
| 平均 | | 1:14.65 | | | | | |
| 昨年度平均 | | 1:16.79 | | | | | |
| 〃 第一位 | | 1:13.6 入江稔夫 | | | | | |
| 〃 第十位 | | 1:18.2 鈴木政雄 | | | | | |

(9) 男子 200 米 背 泳

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|--------|-----------|-------|----|------|-------|
| 1 | 2:49.6 | 鈴木 政雄 | (中 泉 農) | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |
| 2 | 2:49.6 | 根來 幸成 | (慶 大) | 神 宮 | 50 | 5.29 | 極東 公開 |
| 3 | 2:50.8 | 伊澤 嘉之助 | (明 大) | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |
| 4 | 2:52.4 | 清政 武夫 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 5.29 | 極東 公開 |
| 5 | 2:52.6 | 河津 憲太郎 | (修 道 中) | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |
| 6 | 2:55.8 | 松村 元義 | (南 泳 俱) | 臺 南 | 25 | 9.14 | 臺南支部會 |
| 7 | 2:56.6 | 上野 克巳 | (早 大) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記 錄 會 |
| 8 | 3: 0.0 | 若山 瀧美 | (廣 島 一 中) | 神 宮 | 50 | 5.29 | 極東 公開 |
| 9 | 3: 1.9 | 角田 賢三 | (長 岡 商 業) | 悠 久 山 | 50 | 7.29 | 北陸 中等 |
| 10 | 3: 3.2 | 小西 小一 | (天 王 寺 師) | 松 任 | 50 | 8.21 | 石川 全國 |

平均 2:55.25

昨年度平均 2:56.54

〃 第一位 2:51.0 武村 清

〃 第十位 3: 3.0 增田勘治

(10) 男子 100 米 平 泳

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|-------|-----------|-------|----|------|-------|
| 1 | 1:17.4 | 鶴田 義行 | (明 大) | 神 宮 | 50 | 8.24 | 全 日 本 |
| 2 | 1:18.8 | 大串 泰造 | (慶 大) | 神 宮 | 50 | 8.12 | 關 東 部 |
| 3 | 1:19.4 | 藤本 賴廣 | (臺 南 中) | 臺 南 | 25 | 9.14 | 臺南支部會 |
| 4 | 1:20.4 | 勝田 忠彌 | (早 大) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記 錄 會 |
| 5 | 1:20.8 | 有方 利和 | (吳 防 備 隊) | 吳 海 兵 | 25 | 7.17 | 吳鎮對廣中 |
| 6 | 1:21.0 | 中村 秀吉 | (立 大) | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 |
| 7 | 1:22.4 | 小池 禮三 | (沼 津 商) | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東西 中等 |
| 8 | 1:22.6 | 關 禮次郎 | (米 子 中) | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東西 中等 |
| 9 | 1:23.0 | 岩倉 利市 | (和 歌 山 師) | 和 中 | 25 | 8.31 | 利歌 中等 |
| 10 | 1:23.6 | 藏 尾 敏 | (山 口 師) | 築 港 | 50 | 8. 9 | 西部 中等 |

次位者

1:23.6 山崎 勝美 (高 知 師) 築 港 50 8. 9 西部 中等

平均 1:20.94

昨年度平均 1:23.88

〃 第一位 1:14.8 鶴田 義行

〃 第十位 1:27.2 佐野三之助

(11) 男子 200 米 平 泳

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|-------|-----------|---------|-----|------|-------|
| 1 | 2:53.0 | 鶴田 義行 | (明 大) | 布 哇 | 100 | 7.18 | 國際 水泳 |
| 2 | 2:54.0 | 中村 秀吉 | (立 大) | 京 大 | 25 | 7.26 | 全國 高專 |
| 3 | 2:54.2 | 塚原 茂樹 | (早 大) | 甲 子 園 | 25 | 6.22 | 早關 對抗 |
| 4 | 2:55.6 | 藤本 賴廣 | (臺 南 中) | 臺 南 | 25 | 9.14 | 臺南支部會 |
| 5 | 2:55.8 | 大串 泰造 | (慶 大) | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 |
| 6 | 2:58.0 | 有方 利和 | (吳 防 備 隊) | 吳 海 兵 | 25 | 9. 5 | 吳鎮 競泳 |
| 7 | 2:59.4 | 松本 隆重 | (早 大) | 京 大 | 25 | 7.26 | 全國 高專 |
| 8 | 3: 0.2 | 馬渡 勇喜 | (明 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東本競技 |
| 9 | 3: 0.4 | 藏 尾 敏 | (山 口 師) | 山 口 高 女 | 25 | 9.14 | 山口 近縣 |

| | | | | | | | | |
|-------------------------|--------|------|-------|-----|----|------|----|----|
| 10 | 3: 0.6 | 小池禮三 | (沼津商) | 江ノ浦 | 50 | 8. 3 | 靜浦 | 水泳 |
| ×切期日後報告の分 | | | | | | | | |
| | 2:58.5 | 藏尾敏 | (山口師) | 山口女 | 25 | 9.13 | 山口 | 近縣 |
| 平均 2:57.12 | | | | | | | | |
| 昨年度平均 2:59.54 | | | | | | | | |
| 〃 第一位 2:45.0 鶴田義行 | | | | | | | | |
| 〃 第十位 3: 3.8 小山賢之助、岩本義男 | | | | | | | | |

(12) 男子 200 米 リレー

| 順位 | 時間 | チーム名 | 姓名 | 場所 | 水路 | 月日 | 會名 | |
|------------------|--------|---------|-----------------------------|-------|----|------|-------|--|
| 1 | 1:46.8 | 日 本 | {宮本 武夫、高橋 成夫 益田佐武郎、高石 勝男 | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東本競技 | |
| 2 | 1:49.0 | 早 大 | {森 好男、阪上安太郎 宮本 武夫、高橋 成夫 | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 | |
| 3 | 1:50.8 | 早 大 | {宮本 武夫、熊野 佐一 森 好男、高橋 成夫 | 甲 子 園 | 25 | 6.22 | 早關 對抗 | |
| 4 | 1:51.0 | 慶 大 | {河石 達吾、山川金之助 林 忠男、野田 一雄 | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 | |
| 5 | 1:52.0 | 關 學 | {伊藤 英逸、野村 弘 松本 治一、吉瀨 智雄 | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 | |
| 6 | 1:52.6 | 西 部 中 等 | {小西 小一、志村 義久 若山 龍美、横山 隆志 | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東西 中等 | |
| 7 | 1:52.6 | 東 部 中 等 | {片山 兼吉、宮崎 康二 田中 一男、飯村 正彦 | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東西 中等 | |
| 8 | 1:52.8 | 明 大 | {兒玉 博、村松 正一 杉野 常雄、佐田 德平 | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 | |
| 9 | 1:53.4 | 早 大 | {阪上安太郎、熊野 佐一 清政 武夫、高橋 成夫 | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 | |
| 10 | 1:53.6 | 法 大 | {竹内 瑞穂、丹下 良一 鈴木 秀男、益田佐武郎 | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 | |
| 平均 1:51.46 | | | | | | | | |
| 昨年度平均 1:52.94 | | | | | | | | |
| 〃 第一位 1:51.8 早 大 | | | | | | | | |
| 〃 第十位 1:54.0 關 學 | | | | | | | | |

(13) 男子 800 米 リレー

| 順位 | 時間 | チーム名 | 姓名 | 場所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|---------|-----------------------------|-------|----|------|-------|
| 1 | 9:30.4 | 早 大 | {宮本 武夫、竹林 隆二 清政 武夫、米山 弘 | 甲 子 園 | 25 | 6.22 | 早關 對抗 |
| 2 | 9:31.4 | 濱 名 水 協 | {宮崎 正二、鳥居 一夫 片山 兼吉、牧野 正藏 | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 |
| 3 | 9:33.4 | 東 部 中 等 | {寺田享太郎、田中 一夫 牧野 正藏、武村 寅雄 | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東西 中等 |
| 4 | 9:36.6 | 西 部 中 等 | {横山 隆志、志村 義久 小野 深、石原田 愿 | 神 宮 | 50 | 8.17 | 東西 中等 |
| 5 | 9:37.4 | 明 大 | {安田 來吉、浦木 義夫 武村 清、佐田 德平 | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 |

| | | | | | | | | |
|----|--------|---------|---|-----------------------------|-------|----|------|-------|
| 6 | 9:42.2 | 早 | 大 | {竹林 隆二、清政 武夫 阪上安太郎、宮本 武夫 | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 |
| 7 | 9:50.0 | 關 | 學 | {野村 弘、安藤 秀信 伊藤 英逸、松本 治一 | 甲 子 園 | 25 | 6.22 | 早關 對抗 |
| 8 | 9:53.6 | 高 知 商 業 | | {荒川真一郎、長尾 三郎 北村 久壽、横山 隆志 | 神 宮 | 50 | 8.16 | 東西優勝校 |
| 9 | 9:57.2 | 早 | 大 | {清政 武夫、阪上安太郎 宮本 武夫、米山 弘 | 築 港 | 50 | 8. 3 | 大阪 豫選 |
| 10 | 9:58.4 | 慶 | 大 | {河石 達吾、谷口 猛政 山本 晴武、野田 一雄 | 神 宮 | 50 | 9.21 | 全國 學生 |

平均 9:43.06

昨年度平均 9:51.46

〃 第一位 9:41.8 早 大

〃 第十位 10: 5.0 慶 大

(14) 男子 300 米 メ ド レ ー リ レ ー

| 順位 | 時間 | チーム名 | 姓 名 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|-------|-----------------------|-----|----|------|-------|
| 1 | 3:36.2 | 早 大 | {入江 稔夫、松本 隆重 高橋 成夫 | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 |
| 2 | 3:38.6 | 明 大 | {武村 清、鶴田 義行 佐田 德平 | 神 宮 | 50 | 8.12 | 關東 豫選 |
| 3 | 3:40.0 | 慶 大 | {根來 幸成、大串 泰造 河石 達吾 | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 |
| 4 | 3:42.6 | 早 大 | {入江 稔夫、松本 隆重 宮本 武夫 | 築 港 | 50 | 8. 3 | 大阪 豫選 |
| 5 | 3:43.8 | 南 泳 俱 | {松村 元義、藤本 頼廣 磯崎 信雄 | 臺 南 | 25 | 9.14 | 臺南支部會 |
| 6 | 3:44.2 | 同 大 | {土井 一生、岡島 武男 横田 弘一 | 京 大 | 25 | 6.22 | 京都 學聯 |
| 7 | 3:47.6 | 慶 大 | {市橋滿之介、大串 泰造 林 忠雄 | 神 宮 | 50 | 8.12 | 關東 豫選 |
| 8 | 3:48.6 | 佐 賀 高 | {大槻 繁、萩 徳一 藤原 豊 | 九 大 | 25 | 7.30 | 西部 高校 |
| 9 | 3:48.8 | 關 學 | {吉類 智雄、野田 正雄 伊藤 英一 | 京 大 | 25 | 7.27 | 全國 高專 |
| 10 | 3:50.4 | 五 高 | {北島 勇雄、栗山 眞次 横尾 清吾 | 九 大 | 25 | 7.30 | 西部 高校 |

平均 3:44.08

比較ナシ

2. 女子競泳之部

(15) 女子 50 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|------|---------|-----------|-----|----|------|-------|
| 1 | 33.6 | 松 澤 初 穂 | (市 岡 高 女) | 築 港 | 50 | 8.21 | 健母 全國 |
| 2 | 33.6 | 神 谷 春 子 | (愛 知 一 女) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 3 | 35.6 | 荒 田 雪 江 | (京 二 條 女) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 4 | 35.8 | 宮 城 清 子 | (京 府 二 女) | 豊 島 | 50 | 8.30 | 全日 女子 |

| | | | | | | | | |
|----|------|------|--------|----|----|------|----|-----|
| 5 | 38.2 | 谷口鏡子 | (同志高女) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 | 全國 |
| 6 | 36.2 | 小島一枝 | (橋本小學) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 | 全國 |
| 7 | 36.4 | 安藤操 | (京都武德) | 神宮 | 50 | 5.30 | 極東 | 公開 |
| 8 | 36.6 | 坂本實枝 | (東府四女) | 神宮 | 50 | 11.3 | 神宮 | 十年祭 |
| 9 | 36.8 | 望月政子 | (巴高女) | 江浦 | 50 | 8.3 | 靜浦 | 水泳 |
| 10 | 37.0 | 戸張ハッ | (愛知淑德) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 | 全國 |

次位者

| | | | | | | | |
|------|-------|--------|----|----|------|----|----|
| 37.0 | 糸井瑠璃子 | (臺南一女) | 臺北 | 50 | 8.24 | 全島 | 大會 |
|------|-------|--------|----|----|------|----|----|

平均 35.78

昨年度平均 36.59

〃 第一位 35.0 松澤初穂

〃 第十位 37.4 南部千賀子、神谷春子

(16) 女子 100 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|-------|--------|------|----|------|-------|
| 1 | 1:19.6 | 神谷春子 | (愛知一女) | 清洲 | 50 | 9.7 | 名古屋中等 |
| 2 | 1:19.6 | 松澤初穂 | (市岡高女) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 中等 |
| 3 | 1:21.4 | 荒田雪江 | (京二條女) | 神宮 | 50 | 5.28 | 極東 公開 |
| 4 | 1:22.4 | 永井峰子 | (豊島俱) | 神宮 | 50 | 8.22 | 全日本 |
| 5 | 1:22.8 | 小島一枝 | (橋本小學) | 和歌山 | 25 | 9.14 | 和歌山學童 |
| 6 | 1:23.4 | 沖原千代子 | (柳井高女) | 山口高女 | 25 | 9.14 | 山口 近縣 |
| 7 | 1:24.0 | 松宮シゲ子 | (臺北二女) | 臺北 | 50 | 9.21 | 高專 公開 |
| 8 | 1:24.2 | 隱岐美根子 | (京二條女) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 中等 |
| 9 | 1:24.4 | 社本田歌子 | (梶山二女) | 豊島園 | 50 | 8.31 | 全日 女子 |
| 10 | 1:24.6 | 戸張ハッ | (愛知淑德) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 中等 |

次位者

| | | | | | | |
|--------|-------|--------|----|----|------|-----|
| 1:24.6 | 宮崎百合惠 | (文華高女) | 神宮 | 50 | 8.22 | 全日本 |
|--------|-------|--------|----|----|------|-----|

| | | | | | | |
|--------|------|--------|----|----|------|-------|
| 1:24.6 | 小澤敏子 | (ヤシマ俱) | 神宮 | 50 | 5.28 | 極東 公開 |
|--------|------|--------|----|----|------|-------|

| | | | | | | |
|--------|------|--------|----|----|------|-------|
| 1:24.6 | 宮城清子 | (京府二女) | 神宮 | 50 | 5.28 | 極東 公開 |
|--------|------|--------|----|----|------|-------|

| | | | | | | |
|--------|-----|--------|----|----|-----|------|
| 1:24.6 | 横田操 | (同志社女) | 八瀬 | 25 | 9.6 | 京女子中 |
|--------|-----|--------|----|----|-----|------|

平均 1:22.64

昨年度平均 1:25.22

〃 第一位 1:20.4 中村由喜惠

〃 第十位 1:28.0 隱岐美根子

(17) 女子 200 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|-------|--------|------|----|------|-------|
| 1 | 2:56.2 | 永井峰子 | (豊島俱) | 豊島園 | 50 | 8.31 | 全日 女子 |
| 2 | 2:57.0 | 鈴木里子 | (京府二女) | 八瀬 | 25 | 9.7 | 京女 中等 |
| 3 | 3:2.6 | 市口房子 | (日女商業) | 神宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |
| 4 | 3:2.8 | 小島一枝 | (橋本小學) | 和歌山 | 25 | 9.14 | 和歌山學童 |
| 5 | 3:8.8 | 宮崎百合惠 | (文華高女) | 神宮 | 50 | 8.24 | 全日本 |
| 6 | 3:10.8 | 神谷春子 | (愛知一女) | 清洲 | 50 | 9.7 | 愛知 中等 |
| 7 | 3:10.8 | 田中光枝 | (妙寺小學) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 8 | 3:12.0 | 沖原千代子 | (柳井高女) | 山口高女 | 25 | 9.14 | 山口 近縣 |
| 9 | 3:12.6 | 隱岐美根子 | (京二條女) | 八瀬 | 25 | 0.6 | 京女 中等 |
| 10 | 3:13.2 | 小澤敏子 | (ヤシマ俱) | 神宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |

平均 3:06.68

昨年度平均 3:13.57

〃 第一位 3: 6.0 鈴木里子

〃 第十位 3:21.4 守岡初子

(18) 女子 400 米 自由型

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|-----------|-----------|-------|----|------|-------|
| 1 | 6:20.8 | 永 井 峰 子 | (豊 島 俱) | 豊 島 園 | 50 | 8.31 | 全日 女子 |
| 2 | 6:27.8 | 鈴 木 里 子 | (京 府 二 女) | 八 瀬 | 25 | 9. 6 | 京女 子中 |
| 3 | 6:30.4 | 市 口 房 子 | (日 女 商 業) | 豊 島 園 | 50 | 8.30 | 全日 女子 |
| 4 | 6:52.6 | 加 藤 好 子 | (愛 知 淑 德) | 七 本 松 | 25 | 9. 6 | 名市 民會 |
| 5 | 6:56.2 | 横 江 照 子 | (愛 知 淑 德) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 中等 |
| 6 | 6:58.8 | 隠 岐 美 根 子 | (京 二 條 女) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 中等 |
| 7 | 7: 6.6 | 横 井 キ ャ 子 | (京 二 條 女) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 中等 |
| 8 | 7:10.2 | 横 田 操 | (同 志 高 女) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 中等 |
| 9 | 7:10.4 | 黒 萩 瑞 枝 | (臺 南 一 女) | 臺 南 | 25 | 8.11 | 臺南 豫選 |
| 10 | 7:11.8 | 田 中 光 枝 | (妙 寺 小 學) | 築 港 | 50 | 8. 3 | 大阪 豫選 |

平均 6:52.56

昨年度平均 7:19.38

〃 第一位 6:27.8 市口房子

〃 第十位 8:29.6 栗村徳子

(19) 女子 50 米 背 泳

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|------|-----------|-----------|-------|----|------|-------|
| 1 | 43.0 | 加 藤 好 子 | (愛 知 淑 德) | 清 洲 | 50 | 9. 1 | 女子 東西 |
| 2 | 46.0 | 松 井 菊 | (京 府 二 女) | 八 瀬 | 25 | 0. 6 | 京女 中等 |
| 3 | 46.2 | 久 原 寛 子 | (同 志 女 出) | 八 瀬 | 25 | 8. 7 | 京女 中等 |
| 4 | 50.6 | 宇 和 野 宗 子 | (同 志 高 女) | 八 瀬 | 25 | 9. 6 | 京女 中等 |
| 5 | | 丸 橋 芳 枝 | (京 府 一 女) | 八 瀬 | 25 | 9. 7 | 京女 中等 |
| 6 | 51.2 | 田 畑 美 澄 | (京 二 條 女) | 八 瀬 | 25 | 9. 6 | 京女 中等 |
| 7 | 51.6 | 竹 田 包 子 | (中 泉 高 女) | 三 保 | 50 | 8. 6 | 静岡 水上 |
| 8 | 52.5 | 和 泉 頼 子 | (小 松 高 女) | 松 任 | 50 | 8. 5 | 石川女中等 |
| 9 | 56.2 | 安 藤 操 | (平 安 高 女) | 八 瀬 | 25 | 9. 7 | 京女 中等 |
| 10 | 58.0 | 石 坂 照 子 | (魚 津 高 女) | 富 山 高 | 25 | 8. 5 | 富山女中等 |

〃 切期日後報告ありたるもの

56.2 木 村 テ ル 子 (山 口 平 川 村) 山 口 女 25 9.21 山口 青年

平均 50.65

昨年度平均 50.40

〃 第一位 46.2 田中光枝

〃 第七位 55.2 門脇マサ

(20) 女子 100 米 背 泳

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|----|--------|-----------|-----------|-----|----|------|-------|
| 1 | 1:32.6 | 加 藤 好 子 | (愛 知 淑 德) | 清 洲 | 50 | 9. 1 | 女東西對抗 |
| 2 | 1:36.0 | 田 中 光 枝 | (妙 寺 小 學) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 3 | 1:36.4 | 高 野 菊 枝 | (愛 知 淑 德) | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 |
| 4 | 1:37.3 | 生 田 美 代 子 | (臺 北 一 女) | 臺 北 | 50 | 8.23 | 臺灣 全島 |
| 5 | 1:38.6 | 守 岡 初 子 | (大 阪 吹 田) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |

| | | | | | | | |
|----|--------|-------|--------|-----|----|------|------|
| 6 | 1:38.8 | 廣中壽恵子 | (柳井高女) | 山口女 | 25 | 9.14 | 山口近縣 |
| 7 | 1:39.8 | 久原寛子 | (京都武徳) | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日女子 |
| 8 | 1:39.8 | 松井菊 | (京府二女) | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日女子 |
| 9 | 1:39.8 | 吉田文子 | (愛知一女) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母全國 |
| 10 | 1:42.6 | 社本田歌子 | (梶山二女) | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日女子 |

平均 1:38.17

昨年度平均 1:42.78

〃 第一位 1:37.6 守岡初子

〃 第十位 1:52.4 中川チエ子

(21) 女子200米背泳

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場 | 所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|-------|--------|-----|----|------|------|----|
| 1 | 3:20.6 | 加藤好子 | (愛知淑徳) | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日女子 | |
| 2 | 3:20.4 | 高野菊枝 | (愛知淑徳) | 豊島園 | 50 | 8.31 | 全日女子 | |
| 3 | 3:30.2 | 久原寛子 | (京都武徳) | 豊島園 | 50 | 8.31 | 全日女子 | |
| 4 | 3:34.2 | 守岡初子 | (大阪吹田) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母全國 | |
| 5 | 3:38.3 | 生田美代子 | (臺北一女) | 臺北 | 50 | 8.24 | 臺灣全島 | |
| 6 | 3:41.0 | 松井菊 | (京府二女) | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日女子 | |
| 7 | 3:45.0 | 南みや子 | (東女水俱) | 神宮 | 50 | 5.31 | 極東公開 | |
| 8 | 3:48.8 | 中川チエ子 | (東女水俱) | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日女子 | |
| 9 | 3:52.4 | 高野満江 | (ヤシマ俱) | 明大 | 25 | 4.19 | 記録會 | |
| 10 | 3:57.8 | 永井チツ子 | (豊島俱) | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日女子 | |

平均 3:39.77

昨年度平均 3:56.27

〃 第一位 3:30.8 守岡初子

〃 第七位 4:17.4 高野満江

(22) 女子50米平泳

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場 | 所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|------|-------|---------|-----|----|------|-------|----|
| 1 | 43.0 | 前畑秀子 | (梶山二女) | 明大 | 25 | 4.19 | 記録會 | |
| 2 | 45.2 | 池口久子 | (清水谷女) | 甲子園 | 25 | 8.2 | 大阪女中等 | |
| 3 | 52.2 | 畑ミサオ | (大阪實科女) | 甲子園 | 25 | 8.2 | 大阪女中等 | |
| 4 | | 島節子 | (堺市高女) | 甲子園 | 25 | 8.2 | 大阪女中等 | |
| 5 | 52.8 | 横山文子 | (中泉高女) | 三保 | 50 | 8.6 | 静岡水上 | |
| 6 | 54.4 | 平尾邦子 | (夕陽丘女) | 甲子園 | 25 | 8.2 | 大阪女中等 | |
| 7 | 54.8 | 山下ヒロエ | (大阪仙水小) | 白杵中 | 50 | 8.15 | 白杵競泳 | |
| 8 | 54.8 | 森田慶子 | (夕陽丘女) | 甲子園 | 25 | 8.2 | 大阪女中等 | |
| 9 | 55.4 | 水掬光子 | (市岡高女) | 甲子園 | 25 | 8.2 | 大阪女中等 | |
| 10 | 55.6 | 白石シメ | (白杵小學) | 白杵中 | 50 | 8.15 | 白杵競泳 | |

平均 52.04

昨年度平均 50.67

〃 第一位 47.4 田畑百子、高木忍み

〃 第六位 58.0 横山まさ子

(23) 女子100米平泳

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場 | 所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|------|--------|----|----|------|------|----|
| 1 | 1:27.6 | 前畑秀子 | (梶山二女) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母全國 | |

| | | | | | | | | | |
|----|--------|-------|--------|-----|---|----|------|----|-----|
| 2 | 1:27.6 | 淺井品子 | (愛知一女) | 築港 | 港 | 50 | 9.21 | 健母 | 全國 |
| 3 | 1:39.0 | 中谷トメ子 | (妙寺小學) | 築港 | 港 | 50 | 9.21 | 健母 | 全國 |
| 4 | 1:39.4 | 吉富エイ子 | (山口高女) | 山口女 | 瀨 | 25 | 9.14 | 山口 | 近縣 |
| 5 | 1:39.6 | 久原菊子 | (同志高女) | 八瀨 | 瀨 | 25 | 9.6 | 京女 | 中等 |
| 6 | 1:40.2 | 田畑百子 | (京都女出) | 八瀨 | 瀨 | 25 | 9.6 | 京女 | 中等 |
| 7 | 1:40.8 | 池田龜代 | (同志高女) | 八瀨 | 瀨 | 25 | 9.6 | 京女 | 中等 |
| 8 | 1:41.4 | 池口久子 | (甲子園) | 築港 | 港 | 50 | 9.21 | 健母 | 全國 |
| 9 | 1:42.2 | 中村テル | (臺南一女) | 臺南 | 南 | 25 | 8.11 | 臺南 | 豫選 |
| 10 | 1:43.0 | 伴菊代 | (臺南一女) | 臺南 | 南 | 25 | 9.14 | 臺南 | 支部會 |

平均 1:38.76

昨年度平均 1:45.88

〳 第一位 1:30.2 前畑秀子

〳 第十位 1:52.4 小原美枝

(24) 女子 200 米 平 泳

| 順位 | 時間 | 姓名 | 所屬 | 場 | 所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|-------|--------|----|----|----|------|-------|
| 1 | 3:12.4 | 前畑秀子 | (栢山二女) | 神宮 | 宮 | 50 | 8.24 | 全日本 |
| 2 | 3:26.4 | 淺井品子 | (愛知一女) | 築港 | 港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 3 | 3:34.6 | 久原菊子 | (同志高女) | 八瀨 | 瀨 | 25 | 9.7 | 京女 中等 |
| 4 | 3:36.4 | 田畑百子 | (京武慶應) | 神宮 | 宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |
| 5 | 3:38.0 | 池田龜代 | (同志高女) | 八瀨 | 瀨 | 25 | 9.7 | 京女 中等 |
| 6 | 3:40.6 | 中谷トメ子 | (妙寺小學) | 築港 | 港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 7 | 3:41.0 | 渡邊やす子 | (伊東水俱) | 神宮 | 宮 | 50 | 5.31 | 極東 公開 |
| 8 | 3:42.6 | 飯村昌子 | (文華高女) | 神宮 | 宮 | 50 | 8.12 | 關東 豫選 |
| 9 | 3:44.4 | 伴菊代 | (臺南一女) | 臺南 | 南 | 25 | 8.11 | 臺南 豫選 |
| 10 | 3:46.6 | 森千枝子 | (京府二女) | 豐島 | 島園 | 50 | 8.30 | 全國 女子 |

平均 3:36.30

昨年度平均 3:58.63

〳 第一位 3:19.8 前畑秀子

〳 第十位 4:47.0 鈴木信子

(25) 女子 200 米 リレー

| 順位 | 時間 | チーム名 | 姓名 | 場 | 所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|--------|------|-----------------------------|-----|---|----|------|-------|
| 1 | 2:28.6 | 京府二女 | { 田畑花子、鈴木里子 栗本好子、宮城清子 | 八瀨 | 瀨 | 50 | 9.7 | 京女 中等 |
| 2 | 2:29.4 | 關東 | { 社本田歌子、戸張ハツ子 市口房子、永井峰子 | 清洲 | 洲 | 50 | 9.1 | 東西 對抗 |
| 3 | 2:30.4 | 愛知一女 | { 神谷富貴子、神谷春子 吉田文子、林千代子 | 清洲 | 洲 | 50 | 9.7 | 名古屋中等 |
| 4 | 2:31.6 | 京二條女 | { 隱岐美根子、乾芳子 横井キヌ子、荒田雪江 | 八瀨 | 瀨 | 25 | 9.7 | 京女 中等 |
| 5 | 2:32.5 | 山口高女 | { 清水コト子、原田千萬子 大木恒子、吉富エイ子 | 山口女 | 女 | 25 | 9.14 | 山口 近縣 |
| 6 | 2:35.3 | 臺南一女 | { 糸井留璃子、芝原ユリ 中村テル、田中牧子 | 臺北 | 北 | 50 | 8.24 | 臺灣 全島 |
| 7 | 2:36.0 | 同志高女 | { 西田、横田操 伊達みそぎ、谷口鏡子 | 八瀨 | 瀨 | 25 | 9.7 | 京女 中等 |

| | | | | | | | |
|--------------------|--------|------|-----------------------------|-----|----|------|-------|
| 8 | 2:36.4 | 愛知淑徳 | {横江 照子、高野 菊枝 加藤 好子、戸張ハツ子 | 豊島園 | 50 | 8.30 | 全日 女子 |
| 9 | 2:36.4 | 愛知一女 | {神谷富貴子、吉田 文子 見田二三子、神谷 春子 | 七本松 | 25 | 7.28 | 名水協全國 |
| 10 | 2:36.6 | 同志高女 | {谷口 鏡子、横田 操 伊達みそき、池田 龜代 | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 平均 2:33.32 | | | | | | | |
| 昨年度平均 2:37.14 | | | | | | | |
| 〳 第一位 2:31.2 京都武徳會 | | | | | | | |
| 〳 第十位 2:44.4 愛知一女 | | | | | | | |

(26) 女子 300 米 メドレー リレー

| 順位 | 時間 | チーム名 | 姓名 | 場所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|------------|--------|---------|-----------------------|-----|----|-------|-------|
| 1 | 4:27.6 | 關東 | {加藤 好子、前畑 秀子 永井 峰子 | 清洲 | 50 | 9. 1 | 女子 東西 |
| 2 | 4:37.8 | 愛知一女 | {吉田 文子、浅井 品子 神谷 春子 | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 3 | 4:38.0 | 和歌山伊都郡協 | {田中 光枝、中谷トメ子 小島 一枝 | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 4 | 4:50.0 | 愛知淑徳 | {加藤 好子、高野 菊枝 戸張ハツ子 | 豊島園 | 50 | 8.31 | 全日 女子 |
| 5 | 4:51.0 | 京府二女 | {松井 菊子、森 千枝子 鈴木 里子 | 八瀬 | 25 | 9. 6 | 京女 中等 |
| 6 | 4:56.2 | 京都武徳 | {久原 寛子、田畑 百子 安藤 操 | 豊島園 | 50 | 8.31 | 全日 女子 |
| 7 | 4:57.0 | 嘉義高女 | {遠藤 キミ、小原 美枝 戸田 禮子 | 嘉義 | 25 | 10. 5 | 嘉義支部會 |
| 8 | 4:58.4 | 同志高女 | {宇和野宗子、久原 菊子 横田 操 | 八瀬 | 25 | 9. 6 | 京女 中等 |
| 9 | 5: 0.4 | 京府二女 | {松井 菊、森 千枝子 宮城 清子 | 豊島園 | 50 | 8.51 | 全日 女子 |
| 10 | 5: 6.4 | 京二條女 | {田端 美澄、高木 めみ 荒田 雪江 | 八瀬 | 25 | 9. 6 | 京女 中等 |
| 平均 4:50.28 | | | | | | | |
| 昨年度比較ナシ | | | | | | | |

2. 飛込競技之部

(1) 男子 スプリングボード 飛込

| | | | |
|---|------------------|----|-------------------|
| 1 | 水谷 泰夫 (F. D. C.) | 2 | 原 西三 (慶 大) |
| 3 | 鈴木 康友 (F. D. C.) | 4 | 岩 切 盛行 (明 大) |
| 5 | 清水 治 (慶 大) | 6 | 山 内 辰雄 (F. D. C.) |
| 7 | 永松 武 (F. D. C.) | 8 | 西 尾 太一 (茨 木 中) |
| 9 | 佐藤 初男 (T. D. C.) | 10 | 野 田 卓夫 (茨 木 中) |

(2) 男子 高逆飛混合競技

| | | | |
|---|-----------------|---|-------------------|
| 1 | 永松 武 (F. D. C.) | 2 | 岩 切 盛行 (明 大) |
| 3 | 石田 英勝 (日本飛行) | 4 | 山 内 辰雄 (F. D. C.) |

| | | | |
|---|------------------|----|------------------|
| 5 | 井上 一郎 (日 大) | 6 | 末次 保 (T. D. C.) |
| 7 | 奥平 俊二 (慶 大) | 8 | 水谷 泰夫 (F. D. C.) |
| 9 | 齋田 季雄 (T. D. C.) | 10 | 原 秀夫 (慶 大) |

(3) 女子スプリングボード飛込

| | | | |
|---|------------------|---|--------|
| 1 | 小澤 芳子 | 2 | 藤田 元子 |
| 3 | 小塚 栽子 | 4 | 御子 柴初子 |
| 5 | 金坂 千代子 | 6 | 黒田 不二子 |
| 7 | 石渡 桂子 (T. D. C.) | | |

4. 女子高逆飛競技

| | | | |
|---|-------|---|------------------|
| 1 | 藤田 元子 | 2 | 石渡 桂子 (T. D. C.) |
|---|-------|---|------------------|

其の他の注目すべき結果

| 順位 | 時間 | 姓 名 | 所 屬 | 場 所 | 水路 | 月日 | 會 名 |
|---------------|---------|------------------------------|--------|-----|-----|------|-------|
| 男子 300 米 自由型 | | | | | | | |
| 1 | 3:40.2 | 牧野 正藏 | (見付中) | 神 宮 | 50 | 8.24 | 全日本 |
| 2 | 3:42.4 | 武村 清 | (明 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 大會 |
| 3 | 3:45.2 | 米山 弘 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 大會 |
| 4 | 4: 6.6 | 松下 昌澄 | (日 大) | 明 大 | 25 | 3.19 | 記録會 |
| 男子 500 米 自由型 | | | | | | | |
| 1 | 6:32.6 | 牧野 正藏 | (見付中) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 2 | 7: 8.0 | 濱田 道男 | (日 大) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記録會 |
| 男子 1000 米 自由型 | | | | | | | |
| 1 | 13:31.4 | 牧野 正藏 | (見付中) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 2 | 14:36.8 | 西條 與修 | (京武德會) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 3 | 14:36.8 | 五十嵐 力英 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 4 | 15: 7.0 | 山本 操 | (慶 大) | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 公開 |
| 男子 50 米 平泳 | | | | | | | |
| 1 | 34.6 | 鶴田 義行 | (明 大) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記録會 |
| 2 | 36.4 | 勝田 忠彌 | (早 大) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記録會 |
| 男子 400 米 平泳 | | | | | | | |
| 1 | 6:29.6 | 鶴田 義行 | (明 大) | 布 哇 | 100 | 7.18 | 國際 水泳 |
| 2 | 6:35.0 | 松本 隆重 | (早 大) | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 公開 |
| 3 | 6:43.4 | 關 禮治郎 | (米子中) | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 公開 |
| 4 | 6:46.2 | 小山 賢之助 | (神商大) | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 公開 |
| 5 | 7: 3.4 | 栗井 義男 | (日 大) | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 公開 |
| 男子 400 米 リレー | | | | | | | |
| 1 | 4:21.2 | 丹下 良一 森好男 清政武夫 早川貞正 | (日 本) | 横 濱 | 50 | 6. 1 | 日比 對抗 |
| 女子 300 米 自由型 | | | | | | | |
| 1 | 4:39.4 | 市口 房子 | (日女商業) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記録會 |
| 女子 500 米 自由型 | | | | | | | |
| 1 | 8: 9.8 | 市口 房子 | (日女商業) | 明 大 | 25 | 4.19 | 記録會 |
| 女子 800 米 自由型 | | | | | | | |
| 1 | 13:57.4 | 鈴木 里子 | (京府二女) | 築 港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |

| 順位 | 時間 | チーム名 | 姓名 | 場所 | 水路 | 月日 | 會名 |
|----|---------|------|---------|----|----|------|-------|
| 2 | 14:45.0 | 横江照子 | (愛知淑子) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 3 | 16:50.8 | 青木清子 | (大阪信愛) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 4 | 17: 2.0 | 山尾未子 | (濱寺水陽會) | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |

女子 400 米 リレー

| | | | | | | | |
|---|--------|----------|-----------------------------|----|----|------|-------|
| 1 | 5:39.6 | 京二條女 | {横井キヌ子、乾 芳子 荒田 雪江、隠岐美根子 | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 2 | 5:40.6 | 和歌山伊都郡體協 | {岩見 正子、守岡 初子 小島 一枝、田中 光枝 | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
| 3 | 7:45.2 | 小松高女 | {米澤 裕紀、和泉 頼子 北川美智子、伊藤 芳子 | 松任 | 50 | 6.21 | 石川 中等 |

メンバー不明にて加ふることを得ざるもの

| | | | | | | |
|--------|--------|---|----|----|------|-------|
| 6:54.4 | 神戸 K 俱 | — | 築港 | 50 | 9.21 | 健母 全國 |
|--------|--------|---|----|----|------|-------|

日本に於て外國人の作りたる注目すべき結果

(ベストテンの中に入り得るもの)

| 種目 | 時間 | 姓名 | 國籍 | 場所 | 水路 | 月日 | 會名 | 比較 |
|---------|---------|-------------------------------------|-----|-----|----|------|-------|--------|
| 男 50自 | 27.0 | Ulka | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 大會 | 第 3 位 |
| 男 50自 | 27.6 | Ali | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 大會 | 第 8 位 |
| 男 100自 | 1: 0.8 | Ma. Kalili (弟) | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.24 | 全 日 本 | 第 3 位 |
| 男 100自 | 1: 2.2 | Ulka | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東 大會 | 第 7 位 |
| 男 100自 | 1: 2.6 | Butler | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 | 第 8 位 |
| 男 200自 | 2:17.8 | Ma. Kalili (弟) | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 | 第 3 位 |
| 男 400自 | 5: 5.8 | Mi. Kalili (兄) | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 | 第 6 位 |
| 男 1500自 | 21:25.6 | Ma. Kalili (弟) | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 | 第 7 位 |
| 男 1500自 | 21:22.8 | Mi. Kalili (兄) | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 | 第 7 位 |
| 男 50背 | 34.8 | Mi. Kalili (兄) | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.22 | 全 日 本 | 第 10 位 |
| 男 100背 | 1:13.2 | Mi. Kalili (兄) | 米 國 | 神 宮 | 50 | 8.23 | 全 日 本 | 第 2 位 |
| 男 100背 | 1:16.0 | Tahil | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 大會 | 第 9 位 |
| 男 200平 | 2:53.2 | Jikirum | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 大會 | 第 2 位 |
| 男 200平 | 2:53.4 | Yldefonso | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.31 | 極東 大會 | 第 2 位 |
| 男 200平 | 2:57.4 | Arasud | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.30 | 極東 大會 | 第 6 位 |
| 男 200リ | 1:51.6 | {Ali. Jakaria San Augustin. Ulka | 比 島 | 神 宮 | 50 | 5.28 | 極東 大會 | 第 5 位 |
| 男 400リ | 4:16.4 | {Ali. Jakaria S. Augustin. Ulka | 比 島 | 横 濱 | 50 | 6. 1 | 日比 對抗 | 第 1 位 |
| 男 300メリ | 3:36.0 | {Tahil. Jikirum 高石勝男 | 國 際 | 横 濱 | 50 | 6. 1 | 日比 對抗 | 第 1 位 |
| 男 300メリ | 3:40.4 | {大島正夫、鶴田義行 Ali | 國 際 | 横 濱 | 50 | 6. 1 | 日比 對抗 | 第 4 位 |

日本記録及日本國際記録

昭和六年一月一日

日本水上競技聯盟

男子競泳

| 種目 | 氏名 | 所屬 | 時間 | 場所 | 水路 | 日附 |
|------------|-------|----------|---------|-------|----|-------------|
| 50 米自 | 高橋成夫 | (早稻田大學) | 26.6 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 9. 21 |
| 100 米自 | 高石勝男 | (早稻田大學) | 59.4 | 東京芝公園 | 50 | 大 14. 9. 20 |
| 200 米自 | 高石勝男 | (早稻田大學) | 2:16.8 | 東京玉川 | 50 | 大 15. 9. 8 |
| 300 米自 | 牧野正藏 | (濱名灣游協) | 3:40.2 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 8. 24 |
| 400 米自 | 武村清 | (明治大學) | 4:55.0 | 明治大學 | 25 | 昭 5. 4. 19 |
| 500 米自 | 牧野正藏 | (日本) | 6:32.6 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 5. 30 |
| 800 米自 | 牧野正藏 | (見付中學) | 10:32.6 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 8. 10 |
| 1000 米自 | 牧野正藏 | (日本) | 13:31.4 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 5. 30 |
| 1500 米自 | 牧野正藏 | (濱名灣游神) | 19:35.2 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 8. 23 |
| 50 米背 | 片山兼吉 | (濱松一中) | 32.6 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 8. 10 |
| 100 米背 | 入江稔夫 | (早稻田大學) | 1:12.2 | 京都帝大 | 25 | 昭 5. 7. 27 |
| *200 米背 | 入江稔夫 | (茨木中學) | 2:37.8 | 東京玉川 | 50 | 昭 3. 7. 27 |
| *400 米背 | 入江稔夫 | (茨木中學) | 5:42.0 | 和歌山中學 | 25 | 昭 3. 9. 30 |
| 50 米平 | 鶴田義行 | (明治大學) | 34.6 | 明治大學 | 25 | 昭 5. 4. 19 |
| 100 米平 | 鶴田義行 | (明治大學) | 1:14.8 | 京都八瀨 | 25 | 昭 4. 7. 27 |
| *200 米平 | 鶴田義行 | (明治大學) | 2:45.0 | 京都八瀨 | 25 | 昭 4. 7. 27 |
| 400 米平 | 鶴田義行 | (明治大學) | 6:24.4 | 東京玉川 | 50 | 昭 3. 10. 13 |
| 500 米平 | 鶴田義行 | (佐世保鎮守府) | 8:30.8 | 大阪築港 | 50 | 大 15. 9. 12 |
| 300 米メ | ナシ | | | | | |
| * 印ハ世界公認記録 | | | | | | |
| 200 米リ | 宮本武夫 | (日本チーム) | 1:46.8 | 明治神宮 | 50 | 昭 5. 5. 31 |
| | 高橋成夫 | | | | | |
| | 益田佐武郎 | | | | | |
| 400 米リ | 高石勝男 | (日本チーム) | 4:21.2 | 横濱市營 | 50 | 昭 5. 6. 1 |
| | 丹下良一 | | | | | |
| | 森好男 | | | | | |
| 800 米リ | 清政武夫 | (早稻田大學) | 9:30.4 | 大阪甲子園 | 25 | 昭 5. 6. 22 |
| | 早川貞正 | | | | | |
| | 宮本武夫 | | | | | |
| 300 米リ | 竹林隆二 | (日本チーム) | 3:31.4 | 東京玉川 | 50 | 昭 3. 10. 14 |
| | 清米山弘 | | | | | |
| | 入江稔夫 | | | | | |
| | 高石勝男 | | | | | |

女 子 競 泳

| 種 目 | 氏 名 | 所 屬 | 時 間 | 場 所 | 水 路 | 日 附 | | | | | | |
|---------|--|----------|---------|-----------|-----|------------|-----------|-------------------------------|-------------|--------|-----------|----|
| 50 米自 | 松 澤 初 穂 | (大阪市岡高女) | 33.6 | 大 阪 築 港 | 50 | 昭 5. 9. 21 | | | | | | |
| 100 米自 | { 神 谷 春 子 松 澤 初 穂 | (愛知縣立一女) | 1:19.6 | 名 古 屋 清 洲 | 50 | 昭 5. 9. 7 | | | | | | |
| | | (大阪市岡高女) | 1:19.6 | 大 阪 築 港 | 50 | 昭 5. 9. 21 | | | | | | |
| 200 米自 | 永 井 峰 子 | (豊島俱樂部) | 2:56.2 | 東 京 豊 島 園 | 50 | 昭 5. 8. 31 | | | | | | |
| 300 米自 | 市 口 房 子 | (日本女子商業) | 4:39.4 | 明 治 大 學 | 25 | 昭 5. 4. 19 | | | | | | |
| 400 米自 | 永 井 峰 子 | (豊島俱樂部) | 6:20.8 | 東 京 豊 島 園 | 50 | 昭 5. 8. 31 | | | | | | |
| 500 米自 | 市 口 房 子 | (日本女子商業) | 8: 9.8 | 明 治 大 學 | 25 | 昭 5. 4. 19 | | | | | | |
| 800 米自 | 鈴 木 里 子 | (京都府立二女) | 13:57.4 | 大 阪 築 港 | 50 | 昭 5. 9. 21 | | | | | | |
| 1000 米自 | ナ シ | | | | | | | | | | | |
| 1500 米自 | ナ シ | | | | | | | | | | | |
| 50 米背 | 加 藤 好 子 | (關 東) | 43.0 | 名 古 屋 清 洲 | 50 | 昭 5. 9. 1 | | | | | | |
| 100 米背 | 加 藤 好 子 | (關 東) | 1:32.6 | 名 古 屋 清 洲 | 50 | 昭 5. 9. 1 | | | | | | |
| 200 米背 | 加 藤 好 子 | (愛知淑徳高女) | 3:20.6 | 東 京 豊 島 園 | 50 | 昭 5. 8. 30 | | | | | | |
| 400 米背 | ナ シ | | | | | | | | | | | |
| 50 米平 | 前 畑 秀 子 | (椛山第二高女) | 43.0 | 明 治 大 學 | 25 | 昭 5. 4. 19 | | | | | | |
| 100 米平 | 前 畑 秀 子 | (椛山第二高女) | 1:27.6 | 大 阪 築 港 | 50 | 昭 5. 9. 21 | | | | | | |
| 200 米平 | { 前 畑 秀 子 前 畑 秀 子 | (椛山第二高女) | 3:12.4 | 明 治 神 宮 | 50 | 昭 5. 9. 24 | | | | | | |
| | | (椛山第二高女) | 3:12.4 | 大 阪 築 港 | 50 | 昭 5. 9. 21 | | | | | | |
| 400 米平 | ナ シ | | | | | | | | | | | |
| 500 米平 | ナ シ | | | | | | | | | | | |
| 300 米メ | ナ シ | | | | | | | | | | | |
| 種 目 | 氏 名 | 所 屬 | 時 間 | 場 所 | 水 路 | 日 附 | | | | | | |
| 200 米リ | 田 畑 花 子 鈴 木 里 子 栗 本 好 子 | (京都府立二女) | 2:28.6 | 京 都 八 瀨 | 25 | 昭 5. 9. 7 | | | | | | |
| | | | | | | | 宮 城 清 子 | | | | | |
| | | | | | | | 横 井 キ ヌ 子 | | | | | |
| 400 米リ | 横 井 キ ヌ 子 乾 芳 子 荒 田 雪 江 子 隠 岐 美 根 子 | (京都二條高女) | 5:39.6 | 大 阪 築 港 | 50 | 昭 5. 9. 21 | | | | | | |
| | | | | | | | 800 米リ | ナ シ | | | | |
| | | | | | | | 300 米メリ | 加 藤 好 子 前 畑 秀 子 永 井 峰 子 | (關 東 チ ー ム) | 4:27.6 | 名 古 屋 清 洲 | 50 |

日 本 國 際 記 録

| 種 目 | 氏 名 | 國 籍 | 時 間 | 場 所 | 水 路 | 日 附 |
|---------|---------------------------|-------|--------|---------|-----|-------------|
| 男100 米自 | J. Weissmuller ワイスマュラー | (米 國) | 58.8 | 東 京 玉 川 | 50 | 昭 3. 10. 12 |
| 男 50 米背 | P. Wvatt ワイヤット | (米 國) | 31.6 | 東 京 玉 川 | 50 | 昭 3. 10. 17 |
| 男100 米背 | W. Laufer ラウファー | (米 國) | 1:12.2 | 東 京 玉 川 | 50 | 昭 3. 10. 13 |
| | 入 江 稔 夫 | (日 本) | 1:12.2 | 京 都 帝 大 | 25 | 昭 5. 7. 27 |
| 男400 米平 | F. Rademacher ラーデマツヘル | (獨 逸) | 6:22.2 | 東 京 玉 川 | 50 | 昭 3. 10. 13 |
| 男400 米リ | S. Kahanamoku カハナモク | (米 國) | 4:12.4 | 大 阪 築 港 | 50 | 大 15. 9. 11 |
| | E. Crabbe クラツブ | | | | | |
| | C. Crabbe クラツブ | | | | | |
| | J. Wood ウッド | | | | | |
| 女 50 米自 | Mrs. glancy グランシー | (米 國) | 33.6 | 東 京 玉 川 | 50 | 昭 2. 10. 2 |
| | 松 澤 初 穂 | (日 本) | 33.6 | 大 阪 築 港 | 50 | 昭 5. 9. 21 |

注 意 本人が保有せるものは省畧せり。

募 集

原稿——水泳に関する論説、研究、報告等
 寫眞——内外の稀しい水泳についての寫眞
 (採用したのは實費をお支拂ひします)
 漫畫——水泳に関する漫畫

以上を募集します期限に發行前月の十日迄とし採否は編輯部に御一任ありたし

廣告——表紙各面内部頁の廣告面をご利用下さい
 十圓以上三十五圓以内にて御相談に應じます。

編 輯 後 記

何と云つても今年のクライマックスは日米對抗である。年明る共ニ選手の腕は鳴るであらうしファンの眼は輝いて居ることであらう。聯盟の連中は極めて元氣である。

× × ×

本號は二月初旬に出す積りで居た所が正月で少し事務が滞つた所へ、ベストテンの原稿が完璧を期する爲、長引き之の印刷が活字の關係で手間取り、終に又、延引してしまつた、お待ち兼ねの購讀者、諸君に誠に申譯ない、お断りする。

× × ×

小野田君の實驗報告とも云ふべき記事、非常に好い参考である。各地の昨年之の報告は全部集りなかつた残念。神戸商大の譯は益々佳境に入る。杉田君のボロの清算、將來へ

の大きな指標である、石川氏は稀らしい研究家、次にはもつと専門の原稿をお願いする筈、飯田氏のニュースはファンの渴望を醫するに充分であらう、太田博士の研究は吾々の水泳に着々と科學的根據を興へて行く。

× × ×

新記録とベストテン、表は松澤君の心血を注いだもの殊に本號に掲げたものは完璧を期したもの座右に常備する價値充分である。

× × ×

表紙は例の如く杉田忠さんの考案一寸他の雜誌でこううまく行くまい。

猶本誌では吉本君のボロ、及び飛込についての原稿を載せることが出来なかつた残念である。

× × ×

本來本號は極少ない頁數にする積りで居たがこんなに立派なものになつてしまつた不得止であつたのである、それだけ我水泳界が充實して居るのであらう。(G.S.)

昭和六年二月二十五日納本 定價一部三十錢

昭和六年二月二十八日發行

編輯兼發行人 日本水上競技聯盟代表
 白 山 源 三 郎

印 刷 所 合資會社 光 文 社
 東京市外西巢鴨宮仲二七一二(電大塚3918)

發 行 所 日本水上競技聯盟

German Bar
Fledermaus



ドイツバー

フレーテルマウス

京橋南鍋町一〇〇

電話 銀座 4667